

魚沼市行政評価 施策評価 実施結果報告書

令和3年度実施施策

【第二次魚沼市総合計画 後期基本計画 主要施策を構成する施策】

令和4年9月



魚 沼 市

— 目 次 —

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに	1
2 施策評価の概要	2
3 施策評価の方法	6
4 一次評価及び二次評価の結果	8
5 外部評価の結果	14

II 評価結果総括

1 評価結果の概要	26
2 行政評価における今後の取組	28
3 評価結果の活用方法	28

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに

行政評価制度は、行政コストの削減、職員の意識改革、成果重視の行政サービスの確立など、地方行政改革を推進するための有効な手法であり、限られた行政経営資源の中にあって、的確な配分を行いながら、行政が行っている様々な活動が市民の役に立っているかを絶えず点検し改善を図っていく仕組みです。

本市においては、評価作業を通じて従来までの事業プロセスや実行方法を見直すことにより、職員一人ひとりが自己の担当業務への意識を高め、その結果として全庁的な行財政改革や市民サービスの向上につなげていくことを目的として行政評価を実施しています。

本市におけるこれまでの行政評価の取組としては、評価対象を事務事業として平成18年度に試行的に実施し、その後、職員研修や先進地事例等の調査研究を経て、平成21年度に総合計画前期基本計画第2期実施計画に登載している事業のうち55事業を対象として本格導入しました。2年目の平成22年度においても同様に55事業を対象として行政評価を実施し、平成23年度からは、総合計画後期基本計画第1期実施計画に登載している事業全てを対象として実施してきました。

平成28年度から第二次総合計画がスタートしたことを契機として、これまでの事務事業評価よりも一階層上の施策評価を事務事業評価に加え実施することとし、併せて、透明性及び客観性を確保することを目的として、平成29年度からは総合計画審議会による外部評価も実施しています。

本報告書は、令和3年度に実施した62施策の一次評価から二次評価までの結果とそこから抽出した12施策についての外部評価の結果をとりまとめたものです。

2 施策評価の概要

第二次魚沼市総合計画後期基本計画における政策を構成する 62 施策を対象としています。

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ
【第1節】 生活基盤	安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	安心で便利な生活基盤の整備	道路網の整備	1
			道路機能の維持向上	3
			ライフラインの維持向上	5
		快適な暮らしを支える生活環境の整備	公共交通の持続可能な地域交通網の推進	7
			情報通信基盤の整備と活用	9
			住環境の整備	11
		暮らしを守る防災体制の整備	自助・共助・公助の仕組みの充実	13
			自助・共助を支える支援体制の強化	15
			防災基盤の強化	17
			豊かな自然と美しい景観の保全	19
【第2節】 環境衛生・自然	豊かな自然と人が共生するまちづくり	豊かな自然の保全と育成	森林と里山の再生	21
			野生鳥獣との共生	23
			自然環境を活用した地域づくりの推進	25
		自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	森林資源の利活用の推進	27
			環境教育と環境学習の推進	29
		自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	市民協働による環境保全活動の推進	31
			ごみの減量化とリサイクルの推進	33
		循環型社会環境の整備	地球温暖化対策の推進	35
			公害の抑制と生活環境の保全	37

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ
【第3節】 健康・福祉	生涯にわたり健やか かで安心して暮ら せるまちづくり	心身ともに健康で笑顔あ ふれる暮らしの創造	健康づくりの推進	39
			疾病予防と重症化防止対策の推進	41
		安心して産み育てる喜び を感じることができる社会 の構築	子育て支援	43
			子育て環境の充実	47
		市民が安心して暮らせる 仕組みの構築	すべての市民が自立できる環境の構 築	49
			安心して暮らせる公共空間の整備	51
		高齢者が安心して生き生 ぎと暮らせる仕組みの構 築	暮らしの支援体制の推進	53
			高齢者の社会参加の推進	55
		誰もが健康管理ができる 安心で身近な地域医療 の充実	健康管理システムの充実	57
			医療資源の育成	59
【第4節】 産業	豊かな地域資源を 活かした力強い産 業を創るまちづくり	地域資源の活用による産 業の振興	新たな特産品づくり、ブランド化の推 進	61
			新製品開発や新技術の確立に向けた 取組の支援	63
		魅力ある農林業の振興	力強い農業経営の構築と地域農業の 活性化	65
			森林・里山を活用した地域の活性化	69
		商工観光業の競争力強 化	競争力強化に向けた商工業者への支 援	71
			地域資源を最大限に活かした観光の 振興	73
		雇用機会の拡充と地域の 担い手の確保	起業の促進	75
			定住人口確保のための取組の強化	77
			戦略的な人財確保・企業誘致の推進	79

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ
【第5節】 教育・文化	私たちが育む学 びのまちづくり	生涯学び続ける仕組みの 充実	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生 かす仕組みの充実	81
			生涯学習推進体制の充実	83
			効率的・効果的な施設運営	85
		乳幼児期の教育の充実	明るくのびのびとした子育て	87
			乳幼児教育の仕組みづくり	89
			子育て環境の整備	91
		市民が参加する学校づく りの推進	自然や文化を活用し生きる力を育む教 育の推進	93
			市民が参加し世代を越えて交流する 地域に開かれた学校づくり	97
			安全・安心な学校施設の整備	99
		潤いのある地域文化や芸 術の振興と創造	芸術・文化活動の促進	101
			地域文化の振興と発信	103
			文化財の保護と活用	105
		楽しく質の高いスポーツ・ レクリエーションの振興	誰でも楽しく健康づくりができる活動の 推進	107
			スポーツ活動推進のための体制強化	109
			スポーツにおける広域連携の推進	111
【第6節】 市民協働・自治 体運営	市民の想いを活 かした未来へつ なぐまちづくり	市民参画と行政との協働 の推進	まちづくりへの市民参画の推進	113
			協働体制の充実	115
		市民参画による地域づく りの推進	支え合う地域づくりの支援	117
			地域づくりの活性化	119
			地域づくりに向けた移住・定住の促進	121
		市民に信頼される開かれ た行政運営	効率的で効果的な行政運営	123
			わかりやすい行政情報の発信と職員 の能力向上	125
		選択と集中による財政運 営	行政改革の継続とデジタル化の推進	127
			健全な財政運営	129

■評価のサイクル

事前評価は、予算編成に先立つ令和2年度9月から10月にかけて計画策定と同時に、事後評価は、一次評価及び二次評価について、事業が完了した後の令和4年5月から7月にかけて実施しました。

以下に示すスケジュール表のとおり、事前評価から事後評価までの1つの評価サイクルが完結するまでにおよそ24ヶ月を要することとなります。

■令和3年度実施施策の評価スケジュール

【令和2年度】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課		事前評価実施		予算編成				
行政評価会議						事前評価結果報告		

【令和3年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課	事業実施		事業実施									
行政評価会議												

【令和4年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
担当課		一次評価実施				
行政評価会議			二次評価実施		事後評価結果報告書作成	
総合計画審議会				外部評価実施		庁議報告
						HP等により公表

3 施策評価の方法

■一次評価及び二次評価の方法（内部評価）

施策評価では、施策担当部署において、施策を構成する事業の事業費、取組内容や評価、成果指標の達成状況、施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題など、各施策に対する前年度の状況について記載しました。

施策に対する評価については、一次評価（施策担当部署評価）及び二次評価（行政評価会議^{*1}評価）とともに、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から「観点評価」を行った後、それらを含めた「総合評価」を行いました。また、「今後の方向性」では記述式で評価を行いました。

◆評価項目と評価の内容

評価項目	評価内容
観点評価	<p>施策評価では、施策を構成する事務事業の達成状況や貢献度などを見ながら、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から各施策の評価を4段階で行いました。</p> <p>【観点評価】 ア「施策成果の達成度」の観点 施策及び成果指標について、どの程度達成できたかという観点から評価を行いました。 イ「貢献度」の観点 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当か、当該施策の成果が「施策目的」に明確に貢献しているかという観点から評価を行いました。</p> <p>【評価基準】 高い・・・・・・・・ 十分な施策の展開が図られた やや高い・・・・ 概ね施策の展開が図られた やや低い・・・・ あまり施策の展開が図られなかった 低い・・・・・・・・ まったく施策の展開が図られなかった</p>
総合評価	<p>設定した成果指標を達成できるかを念頭に置きながら、総合評価について、最も適当であると判断するものを、次の3段階から選択しました。</p> <p>拡充・・・・・・・・ 新たな事務事業の追加や予算等の投入 現状維持・・・・ 今後も現状のまま継続 改善・見直し・・・・ 事務事業を見直し、内容を変更</p>
今後の方向性	<p>今後の当該施策実施の方向性について記述しました。</p>

*1 **行政評価会議**・・・行政評価会議規程（平成21年訓令第5号）に基づく会議。総務政策部長が主宰し、市の行政評価の推進を図ることを目的とする。会議は、総務政策部長、市民福祉部長、産業経済部長及び教育委員会事務局長で構成する。

■外部評価の方法

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートし、平成 29 年度からは市の施策について透明性及び客観性を確保することを目的として、施策評価の外部評価を実施しています。

令和 3 年度実施施策の外部評価は、総合計画審議会から担っていただき、施策の選定にあたっては、施策大綱の 6 分野から各 2 施策を選定しました。

◆選定した外部評価対象施策

分 野	外部評価対象施策	担当課	関係課
生活基盤	ライフラインの維持向上	ガス水道局	
	自助・共助を支える支援体制の強化	防災安全課	地域創生課
環境衛生・自然	森林と里山の再生	農林整備課	
	ごみの減量化とリサイクルの推進	生活環境課	農政課
健康・福祉	健康づくりの推進	健康増進課	企画政策課 生涯学習課
	暮らしの支援体制の推進	介護福祉課	
産業	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	農政課	農林整備課 学校教育課
	定住人口確保のための取組の強化	商工課	
教育・文化	明るくのびのびとした子育て	子ども課	企画政策課 地域創生課
	市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	学校教育課	生涯学習課
市民協働 ・自治体運営	地域づくりに向けた移住・定住の促進	地域創生課	北部事務所
	健全な財政運営	企画政策課	

4 一次評価及び二次評価の結果

【第1節 生活基盤】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
道路網の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
道路機能の維持向上	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
ライフラインの維持向上	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公共交通の持続可能な地域交通網の推進	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
情報通信基盤の整備と活用	一次評価	やや低い	やや低い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
住環境の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助・公助の仕組みの充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	高い	〃	〃
自助・共助を支える支援体制の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
防災基盤の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃

【第2節 環境衛生・自然】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
豊かな自然と美しい景観の保全	一次評価	高い	高い	拡充
	二次評価	〃	〃	現状維持
森林と里山の再生	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
野生鳥獣との共生	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然環境を活用した地域づくりの推進	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
森林資源の利活用の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
環境教育と環境学習の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民協働による環境保全活動の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	高い	〃	〃
ごみの減量化とリサイクルの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地球温暖化対策の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公害の抑制と生活環境の保全	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第3節 健康・福祉】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
健康づくりの推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
疾病予防と重症化防止対策の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
子育て支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の充実	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
すべての市民が自立できる環境の構築	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
安心して暮らせる公共空間の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
暮らしの支援体制の推進	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
高齢者の社会参加の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
健康管理システムの充実	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
医療資源の育成	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第4節 産業】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
新たな特産品づくり、ブランド化の推進	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
森林・里山を活用した地域の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
競争力強化に向けた商工業者への支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域資源を最大限に活かした観光の振興	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
起業の促進	一次評価	やや高い	やや高い	改善・見直し
	二次評価	やや低い	〃	〃
定住人口確保のための取組の強化	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
戦略的な人財確保・企業誘致の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃

【第5節 教育・文化】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
生涯学習推進体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的・効果的な施設運営	一次評価	やや低い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
明るくのびのびとした子育て	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
乳幼児教育の仕組みづくり	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の整備	一次評価	やや低い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	一次評価	やや低い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
安全・安心な学校施設の整備	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
芸術・文化活動の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域文化の振興と発信	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
文化財の保護と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツ活動推進のための体制強化	一次評価	低い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツにおける広域連携の推進	一次評価	やや低い	やや低い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃

【第6節 市民協働・自治体運営】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
まちづくりへの市民参画の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
協働体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
支え合う地域づくりの支援	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりの活性化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりに向けた移住・定住の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的で効果的な行政運営	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
わかりやすい行政情報の発信と職員 の能力向上	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
行政改革の継続とデジタル化の推進	一次評価	低い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
健全な財政運営	一次評価	高い	やや高い	現状継続
	二次評価	〃	〃	〃

5 外部評価の結果

外部評価は、総合計画審議会から2班体制に分かれていただき、1班6施策、合計12施策の評価を行いました。各施策の総合評価について、二次評価までと同様に3段階で評価し、評価の理由や今後の方向性、施策に対する意見等を筆記式で評価しました。

(1) 施策に対する評価結果

第1節 生活基盤

ライフラインの維持向上

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民生活の維持という面から積極的にスピード感をもって事業を進めていくべきである。 ○地域の安心・安全に不可欠なライフライン事業は高い優先度で取り組むべきである。 ○市が行った内部評価（一次評価、二次評価）はいずれも高く、現状維持で進める必要があると考える。 ○ライフラインとして、水道管の耐震化は大変重要であると思うが、工事を拡充すると住民の負担する水道料金も上がることから、今後も計画的な取組を望む。 ○引き続き災害に強い水道管の耐震化を進め、市民のライフラインを守っていただきたい。 ○先々の予算繰りが不透明な部分もあるとのことだが、必要事業量から割り出した予算確保に向けた努力や合意形成を望む。 ○浄水場の見学や管路を紹介する資料などの作成、宣伝等はできないか。子どもから大人まで見る機会があると考え方も変わるものと思う。

自助・共助を支える支援体制の強化

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○防災対策の理想としては、防災士が自治体ごとに登録され、各地区を担当することが望ましい。防災士登録は現在 80 で、連合自治会は約 150 ある。最終目標値を 105 としているが、変更することも検討が必要と思われる。</p> <p>○危険空き家等の情報や防災士登録の取組など、行政と自治体との連携・情報共有がされており、担当課の評価が適正と判断する。</p> <p>○防災士の登録地区数はまだ不足していると思うが、区長や町内会長、民生委員等補完する人もいることから当面は「現状維持」でよいと考える。</p> <p>○空き家対策も実数と対応できている数は少し物足りない。今後、空き家の数も増えるものと思われるので、その増加に合わせた対応が必要となる。</p> <p>○災害への備え、危険箇所、避難場所、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有は、自助・共助を支える支援体制の強化のためにもとても大切なことだと考える。</p> <p>○地域の防災力強化のために、防災士が 6 名増え、防災士の市内登録地区数も約 150 地区中 88 地区と約 60%に達しようとしており、今後も継続して防災士育成が重要と感じた。</p> <p>○防災士は大部分が消防団員かOBだと聞いたが、女性も増やし、各地区男女 1 名ずつとすると支援もしやすくなると感じた。</p> <p>○空き家対策についても自治会等と情報共有が行われており、地域を守る対応ができていると考え、「現状維持」と判断した。</p> <p>○施策目的に対して成果や評価が防災士と空き家対策に特化されている感があり、防災意識や防災教育にも触れているとよりいいと感じた。</p>

第2節 環境衛生・自然

森林と里山の再生

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○魚沼の森林には大きな可能性があると思っている。里山を整備すると市民が家族で利用するようになる。干溝の大力山は毎日登っている市民がいる。また、トレイルランニング（登山ランニング）が流行しており、県外から魚沼の山に入り、ランニングを楽しむ人々が増え、観光面でも寄与している。森林の整備を進めることで新しい層が興味を持つのではないか。</p> <p>○下刈り、枝落としなど私有林の整備に個人の負担を減少する補助方法はないか。個人の負担額が大きくなるため、なかなか発注できないでいるものと思われる。</p> <p>○里山まつり、チェーンソーの扱い講習等の現在やっている事業も減らさないようにして宣伝してもらいたい。</p> <p>○近年、鳥獣被害が発生しており、人への被害があったことで住民の不安は強くなっている。引き続き里山の整備を進めるよう願う。</p> <p>○子どもたちの林業への関心をもっと高くなるような事業を望む。</p> <p>○市民の方々が自発的に草を刈ってくれるとか、そのようなことが自主的に行われることが最終的な目的なのかなと考える。それが理解されればすばらしいと思う。年月はかかると思うが取組を進めるようお願いしたい。</p> <p>○魚沼木炭は、新しい備長炭にも比較されるような品質のいいブランド木炭で所得確保にもつながるような取組だと思ふ。そういう取組をもっと生産、販売両面で進めてもらいたいと思うし、そうすることで所得も潤い、市民の方の認知も高まるのではないかと考える。「現状維持」というよりは、もう少し取組を拡大してもいいのかなと思っている。そうやっていい循環を作っていくと、森林整備のほうも里山整備のほうもいい方向に回っていくのではないかとと思う。</p>

ごみの減量化とリサイクルの推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>拡充</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所ごみの削減に努める施策の拡充を求める。 ○家庭系一般廃棄物は、人口減などから減少、事業系一般廃棄物が横ばい状態である。市民一人当たりの一般廃棄物排出量は、全国平均や県平均と比較して多い。ごみの減量化という観点から、事業系一般廃棄物の減量のため、事業者に対するごみの減量化の施策が必要と判断する。 ○現状と目標値を見るに、今新たな施策が必要と感じられる。 ○ごみの分別と3Rの啓発活動を積極的に進め、持続可能な循環型社会を構築するため、ごみの減量化とリサイクルの推進は重要であると考える。 ○家庭系一般廃棄物は減少しているものの、事業系一般廃棄物の搬入量が横ばいであり、全国や新潟県の平均値と比べても一般廃棄物排出量もリサイクル率も、あまりよいとは言えない。事業系一般廃棄物の搬入量を抑制する呼びかけを行ったり、新潟県のように事業者がSDGsに取り組むことを認定して、事業者のイメージアップに役立たせたりすれば、もう少しごみの減量化とリサイクルの推進につながるのではないかと考え、「拡充」と判断した。 ○一般廃棄物総量のネックとなっている事業系廃棄物の抑制について多くの意見があり、また課題にも記述されていることから、その具現化を「拡充」と捉えて評価した。

第3節 健康・福祉
健康づくりの推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○人材育成、ネットワークの強化、市報・FM・ホームページ等での普及啓発活動やオンラインを併用した研修など、取組に工夫が見られる。</p> <p>○国や県と比較して自殺死亡数が多いことは懸念されるが、減少傾向にあり、取組に成果があると判断した。</p> <p>○自殺者数が減少傾向にあることはよい傾向である。かつて魚沼地域は自殺率が高く、心を病んでいる人が多い地域とされ、県立小出病院に精神科が設置されていた。原因は雪との戦いだと言われてきたが、現在では克雪、利雪、遊雪が進み、雪国のイメージが変わりつつある。明るく楽しい雪の国を目指してもらいたい。</p> <p>○自殺者数ワースト3位から、最終的に自殺者のいない市を目指してもらいたい。</p> <p>○市民一人ひとりが、自主的に健康づくりに取り組めるように様々な施策に取り組んでいることを知り、「現状維持」と判断した。</p> <p>○自殺死亡人数に関しては、全国で新潟県がワースト5位、その中でも魚沼市はワースト3位であるということを知り驚いた。年齢、性別、自殺原因の分析を再度行えば、施策のヒントになるのではないかと感じた。</p> <p>○今後の方向性として、「SNSを活用した情報提供の方法を世代ごとに工夫していく」とのことであったが、年齢別では高齢者の自殺者が多いと聞いたので、高齢者にも分かりやすい情報提供の方法を検討してもらいたい。</p> <p>○自殺される方というのは、医療機関を受診していないか、治療を途中でやめてしまったという方が多い。目的にあるように医療機関から手を切らないように、周りも見守りができるように進めていってもらいたい。</p>

暮らしの支援体制の推進

一次評価：拡充／二次評価：拡充

総合評価	拡充
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○外出支援サービス事業は、魚沼市内でも地域によっては不足感もまだまだあると思う。タクシー券だけでは不足なため、受診控えとなってしまっているケースもある。乗合タクシーやコミュニティバスの運行をもっと使いやすいものに見直すよう望む。</p> <p>○介護人材確保支援事業については、新規の事業も多く、市としても力を入れていると感じている。欲を言えば、介護系の学校へ進学する学生への補助も行えば、その道を目指す学生も少しは増えるのではないかと考える。</p> <p>○特別養護老人ホームの入居待機者の解消に向けて施策を進めるよう願うとともに、健康であり続けるための施策も必要であると考え。高齢化率が年々増す現実に対しての成果の高い施策を願う。</p> <p>○介護連携推進事業の中で、多職種連携検討会やワーキング会議等は大変有効な事業だと感じる。市民全員が医療資源であり「教育」が一番重要である。このような講座を今後も開いて、受講者数を伸ばしてもらいたい。</p> <p>○多職種連携の仕組みは魚沼独自の取組として、もっと市民にPRするとよいと思う。</p> <p>○高齢化及び出生率減少が避けられない現実であり、要介護者及びそれを支援する体制整備の緊急性は極めて高い。</p> <p>○外国人の受入れをより具体的に検討していくべきである。</p> <p>○高齢化率の上昇の中で、目標が実現できるよう工夫と予算の確保を願う。</p> <p>○ひとり暮らしの成人への支援も必要になる。体の不自由な人や老人に限らず、全体を遠くから見守られるような体制ができればよいと思う。民生委員との協力等も必要である。</p> <p>○介護人材の確保は大変であると思う。外国人（技能実習生）の対応にぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>○生きがい活動支援通所事業は、元気なうちに来てもらえれば、要介護になるまでの年数が大分先送りになるのではないかと考える。どんどん拡充して行ってほしい。</p>

第4節 産業

力強い農業経営の構築と地域農業の活性化

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○持続的な農業の維持・発展のためには、担い手対策が成果を上げていく必要があるため、二次評価の方向で様々な工夫を望む。 ○農業機械等導入経費補助の要件を、まずは小規模の農業者が申請しやすいものへ見直すことで、就農者の増加につながるのではないかと考える。 ○農業者への支援を行うことが、トップブランドである魚沼産コシヒカリの価値を維持することになり、農業だけでなく観光業、商工業への好影響につながると思う。 ○地域の生命を守るために必要不可欠な施策と考え、拡充方向が必要ではないか。 ○農業担い手数について、初年度から目標比大幅未達であり、今後未達幅が拡大していくことが懸念されることから、高齢化を見据えた上での成り行きと、それに対する具体的な策を検討していくべきである。そのためにも、当地の農産物のブランド化や差別化にマスメディア等も利用してPR等も推し進めてもらいたい。 ○施策の目的に「地産地消」という言葉があるが、これは少し前の言葉。今は「国消国産」、国で消費する物は国の中で生産していきましょうという大きな枠になっている。書き換えも検討いただきたい。 ○今時分の世界情勢の中で食に対する関心が非常に高まっていることを実感している。食品に限らず物が動かない。いかに他国に頼っている日本がここに存在するかということを再認識している。自給率を上げていかないと有事の際には日本はもたないというのが明らかになっているが、ぜひとも市民の方々にも食に対する関心を持っていただきたい。 ○コシヒカリの価格というのは施策によって維持されるものではないと思っている。トップブランドということになれば、やはりおいしくなければ生産の多寡に関わらず、価格は変動するものと思う。これに関して個人の生産者が相当努力されていることを理解願いたい。

定住人口確保のための取組の強化

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○定住人口を増やすために、市内企業ガイドブックの発行、ハローワークとの企業説明会をリモートでも実施しているということで「現状維持」と判断した。</p> <p>○U・Iターン者等の受入れ体制の整備の推進、企業への労働条件改善・パワハラ防止など、U・Iターン者にとって働きやすい職場の環境整備の指導を行うよう望む。</p> <p>○U・Iターン者等が市内企業を見つけやすいホームページの改善を進めるよう望む。</p> <p>○現状、市内では多くの企業が人材確保に苦労している。人口減少社会、少子高齢化社会にあって、まちの魅力づくりや成長産業の育成は急務である。成果指標がガイドブック掲載企業の入職者数というのは一つの指針ではあるが、現状を改善する産業構造や将来性の高い新規企業の育成、地域特性を活かした観光振興などに力を入れる必要がある。</p> <p>○定住人口確保は働く場の確保だけではなく、生活圏としての住みやすさ、定住者に対するサービスの充実などで、仕事は長岡市や小千谷市、南魚沼市でも住むのは魚沼市というやり方も考えられる。</p> <p>○移住・定住者への情報提供や外国人労働者の受入れ、空き家の活用などもうまく関連付られれば成果も上がるのではないかと感じた。</p>

第5節 教育・文化

明るくのびのびとした子育て

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○子育ての駅「かたっくり」は、子どもたちが天気を気にせず遊べる場所であり、親同士の交流の場づくりは大変よい取組である。今後も引き続き推進していただきたい。また、これと一緒に地域食堂や子ども食堂といった、子育て世帯への直接の支援になるような取組も行っていくとよいのではないか。</p> <p>○保育士の処遇改善はどのようになっているか。</p> <p>○共働きの世帯が多いと思われる。子どもを預けに行く、引き取りに行く時間を各家庭に合わせられる方法はないか。</p> <p>○保育人材に限った話ではないが、人を連れてくるために待遇面で破格によくするとか、外国人材を取り入れるとか、何かしていかないとこのまま終わりそうな気がする。積極的に取り組んでもらいたい。</p> <p>○ファミリー・サポート・センター事業は大変いい制度だと思う。魚沼市は定年した人が多いが、その人材も活用して教育しなおすと、とても増えるのではないかと思う。県外とか市外の人、サポートセンターが上手いけば入ってくる人もたくさんいると思うので、もう少し宣伝するといいいのではないかと思う。</p> <p>○魚沼市も核家族化が進んでいる。経験を生かして、こういう時期はこういうふうにしたほうがいいよと言ってくれることは非常に参考になるとのこと。若い人に、分からなくても支援してくる方々やそういった場所があるんだということをアピールしていくべきだと思う。</p>

市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○コミュニティ・スクールは、令和3年度にモデル校設置、令和4年度から全校で開始という時点で、内容が十分認識されていない。地域の協力体制が必要不可欠であり、次年度以降成果をPRする必要がある。</p> <p>○コミュニティ・スクールの委員の選定については、公正・公平な運営を目指し、任期を定め一般から公募するなど、幅広く人材を求める必要がある。</p> <p>○コミュニティ・スクールが市内小中学校全てに設置され、地域との関わりが生まれることは歓迎するが、不登校やいじめなど学校内部でしか分からない独特の子ども社会がある。先生に任せるだけでなく、地域住民が積極的に参加できるよう進めてもらいたい。</p> <p>○コミュニティ・スクールの全校導入について、生徒・教職員の皆さんにとってよりよいものに発展していくよう現場目線の支援を望む。</p> <p>○まだ始めたばかりの施策であり、小出小学校のコミュニティ・スクールの制度導入で具体的にどのような成果があったか検証し、他校に水平展開するというところで「現状維持」と判断した。</p> <p>○保護者や地域住民の理解など様々な問題はあると思うが、生徒の教育、育成、学力の向上、防犯等に関しては共通の認識を持っていると思うので、コミュニティ・スクールでの成果の具体的な内容を今後目標として設定すれば、さらによくなるのではないかと考える。</p> <p>○学校運営協議会委員の人選は、一般の人を入れたほうがよいのではないかと。偏った意見にならないよう半分くらいは公募ベースで動くようなことも考えることが必要ではないかと。</p>

第6節 市民協働・自治体運営

地域づくりに向けた移住・定住の促進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由</p> <p>・</p> <p>意見等</p>	<p>○地域おこし協力隊の事業は目標達成できていない。また協力隊員の定住率が他市町村と比較して少ない。他市町村同様に企業や観光協会等が活動拠点になるように設置要綱を改正することを提案する。</p> <p>○人口減少問題は日本の地域社会全体の課題であり、取組は急務である。様々な施策を講じてもなかなか簡単に解決しない。魚沼を移住・定住先として選んでいただける魅力発信が必要である。通り一遍の補助策ではなく、魚沼でしかできないような施策を打ち出す必要がある。</p> <p>○地域おこし協力隊が募集人数を下回る傾向は数年前から顕著である。市のルールで集落からの要請が必要条件だと聞いたが、ルールを見直すことを望む。全国的にも近隣市町村でも観光絡みの協力隊が多く、3年後のビジネスモデルも構築しやすい上、ランドオペレーターや農家民宿などでの成功例も多い。何年も前からお願いしてきたことが未だに取り組めていない理由が理解できない。早急に取り組むことを望む。</p> <p>○人口問題は市の未来を左右する大きな課題である。現行事業の見直しや新規事業の導入など、効果が期待できるものについて弾力的に取り組むことを期待している。</p> <p>○地域づくりに向けた移住・定住の促進として、地域おこし協力隊の受入れを推進しているが、その中での定住者はあまり多くないということで、地域活動に参加しつつ、自立・独立できる方法も検討していく必要があると考える。</p> <p>○一般の移住・定住予定者に興味を持っていただくためにも、IT等を活用して魚沼市の総合的な窓口、サポート窓口をもっと前面に打ち出してもよいのではないかと考える。</p> <p>○予算的に難しいとは思いますが、お試し住宅に古民家を改装してはどうか。リフォームもどうしたらいいか、どれだけかかるか分からないので、お試し住宅をリフォームしてこんなに使いやすくなるということが分かると、やってみようかなという人が出てくるのではないかと考える。</p>

健全な財政運営

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○成果指標の実績値を見ても、十分に努力していると思う。</p> <p>○職員の削減も必要だが、評価制度の見直しにより生産性の高低を処遇に反映させるなど、成果に対するインセンティブを高める策も必要である。</p> <p>○事業承継支援による雇用を守る施策に期待する。</p> <p>○旧庁舎の利活用や、公共施設の解体・譲渡等が計画的に推進されるよう望む。</p> <p>○何をやったほうがいいのか、何が必要か地道に聞き取りを行い、どの分野に投資していくか検討していく必要がある。規模の大きい分野には税金もいっぱい入ってくる余地がある。相乗効果を生み出すように力を入れていってほしい。</p> <p>○将来に向けて若い人たちへの負担軽減はやるべきであると感じている。</p> <p>○人口減少問題などの課題に投資するということだが、都会に行って社会的な役割を果たした人から、市内の空き家を整備して生活の起点にしてもらうというような施策も将来的には有効な手段になるのではないかと思う。東京に行って家庭を持った人が定年して、その家族が帰って来れば、1人ではない。「帰ってこい」条例を作ってはどうか。</p> <p>○市内には4人以上の企業所が2,000社以上あるが、知っている人は少ない。今企業の見学会をやっているが、こういうことを広めていけば魚沼市にはこういう仕事がある、こういう企業がある、見てみよう、やってみようとなると思う。知ってもらおうという活動を地道にやっていってほしい。</p> <p>○人口増につなげていくには外に向けて情報を発信することも必要かと思う。</p> <p>○世の中にいないものはないと思っている。目先のものにとらわれず、じっくりと物事を見ていってほしい。</p>

II 評価結果総括

1 評価結果の概要

(1) 施策に対する総合評価結果

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
拡 充	6	9.7%	5	8.1%
現状維持	53	85.5%	54	87.1%
改善・見直し	3	4.8%	3	4.8%
（ 合 計 ）	62	100.0%	62	100.0%

施策に対する総合評価結果について、一次評価及び二次評価ともに「現状維持」が全体の85%以上を占める結果となりました。一次評価と二次評価を比較すると、「拡充」が1施策減少し、「現状維持」が1施策増加する結果となりました。

(2) 二次評価による総合評価ポジションの変更

評価変更の内容	施 策 名	担当課	関係課
拡充→現状維持	豊かな自然と美しい景観の保全	生活環境課	農政課

行政評価会議による二次評価では、1つの施策が「拡充」から「現状維持」へと変更になりました。

(3) 施策に対する評価結果（達成度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
高い	11	17.8%	10	16.1%
やや高い	33	53.2%	29	46.8%
やや低い	16	25.8%	21	33.9%
低い	2	3.2%	2	3.2%
（合計）	62	100.0%	62	100.0%

施策成果の達成度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の約6割程度という結果となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で過去の評価結果に比べ、達成度が低くなる傾向が見られたものの、おおむね順調に進捗していると考えます。「やや低い」、「低い」という結果となった約4割の施策については、取組内容そのものを再検討するなど、達成度の向上を図る必要があります。

(4) 施策に対する評価結果（貢献度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
高い	14	22.6%	14	22.6%
やや高い	46	74.2%	46	74.2%
やや低い	2	3.2%	2	3.2%
低い	0	0.0%	0	0.0%
（合計）	62	100.0%	62	100.0%

貢献度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の9割以上を占める結果となりました。また、「やや高い」だけでも全体の約7割以上を占めています。

(5) 今後の方向性

各施策の一次評価、二次評価において、令和5年度実施の施策に向けた検討や改善等の考え方が示されており、現在実施している施策の経過と合わせ、令和5年度の実施計画策定の際に、反映させることとします。

2 行政評価における今後の取組

行政評価制度は、行政運営・行政経営の仕組みの一つとして重要な役割を担っています。
今後は、効率的・効果的な施策の推進と改善を図っていくとともに、評価結果を公表し、情報を公開することとします。

(1) 令和4年度実施施策の事後評価に向けて

① 改善の取組

今回の評価結果を担当部署に報告し、施策及び施策を構成する事務事業の改善に取り組みます。

② 評価結果の公表

評価結果については、市議会へ報告し、市のホームページ等により公表します。

(2) 令和5年度の実施計画に向けて

施策を構成する事業の追加と削除の検討

行政評価の実施により、施策及び施策を構成する事務事業とで整合がとれていない施策があるという指摘がありました。今後実施する実施計画のローリング作業において、それらの整合を図る必要があります。必要と思われる事務事業は追加し、関係性が薄い事務事業については施策の構成から外していくことを検討します。

3 評価結果の活用方法

行政評価の結果は、事業担当課において事業実施手法の見直しや改善、目標管理のツールとして活用するとともに、総合計画実施計画の中の進行管理把握のための資料や予算編成資料として活用します。

また、行政評価結果を報告書として取りまとめ、市議会への情報提供、市のホームページへの掲載及び各庁舎において閲覧できるようにします。

魚沼市行政評価

施策評価 実施結果報告書

(令和3年度実施事業)

発行／魚沼市

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地
TEL 025-792-1000(大代表) FAX 025-792-9500

編集／魚沼市行政評価会議

事務局／総務政策部 企画政策課 企画調整係

[URL] <https://www.city.uonuma.niigata.jp>

[e-mail] kikaku@city.uonuma.lg.jp



Uonuma City
Niigata

令和3年度実施 施策評価結果シート

－ 別冊 －

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 	11 住み続けられる まちづくりを
------------------	-------------------------------------	------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	星 和久
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係 課	都市整備課	
施策名	1号 道路網の整備			

2. 施策目的(目指すすがた)

地域発展や産業の振興を図るため、道路利用者の安全・安心を確保し、かつ利便性の高い道路交通ネットワークの強化に努めるとともに、災害時の孤立や交通の途絶を解消するため、雪や災害に強い道路交通ネットワークの形成を効果的にすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価			
		担当課(下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価		
314	○	市道整備事業 建設課		216,300	252,100					やや高い	B		
		事業の 取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。										
329		都市計画策定事業 都市整備課		0	8,300					やや高い	B		
		事業の 取組内容	都市計画マスタープランの更新に向け基礎調査等を行う。										
331		都市再生整備計画事業 都市整備課		2,665	4,024					やや高い	A		
		事業の 取組内容	立地適正化計画に掲げるコンパクトなまちづくりの推進を目指し、都市機能誘導区域に 定めた小出市街地等のまちづくりの検討を行う。										
		事業の 取組内容											
		事業の 取組内容											

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3					R4					最終 目標値	単位
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			
1	道路の整備延長 県・市管理道路のR3~R7の累 計	4,017 (H28~R1累 計)	目標値	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	7,500	m				
			実績値	2,607										
			達成率	173.8%	%	%	%	%						
2	道路整備に対する満足度 総合計画市民アンケートより (今回はR6に実施)	59.6 (R1調査)	目標値	—	—	—	65	—	65	%				
			実績値	—	—	—	—							
			達成率	%	%	%	%							
3			目標値											
			実績値											
			達成率	%	%	%	%							
4			目標値											
			実績値											
			達成率	%	%	%	%							

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

<p>「都市計画マスタープラン」の見直し（平成28年8月改訂） 「立地適正化計画」策定（平成29年3月策定）</p>

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>市道整備事業の実施により、北部いこいの道など市内の交通アクセス向上のための幹線道路の整備や、県道改良事業に合わせた舟山3号線他の整備により、利便性の高い道路交通ネットワークの強化が図られ、地域発展や産業の振興に貢献できました。 また、川島2号線など地域住民の暮らしの基盤である生活道路を整備することで、冬期間の機械除雪が円滑に行われ、また、緊急車両の円滑な移動が確保され、安全で快適な暮らしに貢献できました。 市道等の改良も含めた小出地区都市再生整備計画が策定されました。</p>
課 題	<p>都市機能の充実と中山間地の生活基盤整備を並行し、地域間の均等な発展を図る道路整備を進めていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 達 策 成 成 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	道路の整備延長の目標値1,500mに対し、R3実績では2,607mと、達成率が174%以上となりましたが、一部路線において、予定どおり完了できなかった路線があることから「やや高い」と評価しました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	立地適正化計画に掲げるコンパクトなまちづくりの推進を図るうえで道路整備は重要であることから「やや高い」と評価しました。
総 合 評 価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現 状 維 持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改 善 ・ 見 直 し	
今 後 の 方 向 性	第二次総合計画後期基本計画に合わせ市道改良計画を策定しており、また都市計画マスタープランとの整合を図り、地域からの要望内容の把握と、他の機関や部署の事業を十分確認しながら今後も継続的に市道改良路線を評価・選定し、雪や災害に強い道路交通網整備を進めます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 達 策 成 成 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	課題であった上ノ原27号線の変形五差路解消など、都市再生整備計画に基づく取組が進められていることから「やや高い」と評価する。
総 合 評 価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現 状 維 持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改 善 ・ 見 直 し	
今 後 の 方 向 性	引き続き、都市再生整備計画に基づく事業が計画期間内に進捗するよう取組を進めること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> </div>
------------------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	星 和久
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係 課		
施策名	2号 道路機能の維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の実情に即した道路の機能向上、高齢者や障害のある人が安全に移動できる生活道路を整備するため、ユニバーサルデザイン化を促進します。
 施設の状況や維持管理コストを踏まえたうえで、長寿命化を図りながら効率的な維持管理・更新をすすめます。
 また、冬期間の安全・安心な道路交通を確保するため、効率的な除雪体制の確立及び消融雪施設の整備や除雪計画に基づいた円滑な道路除雪に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
315	○	消融雪施設整備事業 建設課	161,001	200,500					高い	B
		事業の取組内容			消融雪施設の新設・更新を行う。					
316	○	橋梁長寿命化事業 建設課	109,104	102,440					高い	A
		事業の取組内容			計画的に橋梁の点検を行い、適切な時期に補修工事を実施する。					
318	○	道路機械除雪事業 建設課	1,706,336	1,206,379					高い	A
		事業の取組内容			主要市道について機械除雪を行って冬期道路交通の確保を図る。					
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位	
1	歩道整備延長 県・市管理の整備延長	3,384 (H28~R1 累計)	目標値	600	1,200	1,800	2,400	3,000	3,000	m
			実績値	288						
			達成率	48%	%	%	%	%		
2	バリアフリー化に対する満足度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	41.0 (R1調査)	目標値	—	—	—	50	—	50	%
			実績値	—	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

道路機械除雪事業及び消融雪施設整備事業は指標で表されておりませんが、大雪となった昨冬、市民が安全で便利な道路利用をするうえで大きく貢献しました。

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>消融雪施設整備事業においては、老朽化より消雪機能が不全となったものから散送水管の更新（延長2.4km）、消雪用井戸（2か所）の整備工事を行い、消雪機能を回復することができました。橋梁長寿命化事業においては、定期点検で判定の悪い老朽化した橋梁を補修（2橋）することで予防保全型管理を行い、架け替え等の高コスト化を回避することができました。</p> <p>除雪機械の更新や機械の定期整備を適時に行い、常に安全な作業ができる体制を整えることができました。</p>
課題	<p>気候変動により異常豪雪が続くなか、冬期間の交通確保が重要な課題となっていますが、機械除雪のオペレーターが高齢化しており、担い手の確保が急務となっています。また、消雪施設更新を計画的に進めていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 達成 成果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>昨冬は大雪となったが、道路除雪や消雪施設の維持により、市民の日常生活に支障ないレベルで交通を確保できたことから施策に対する評価は高いものとしました。</p>
イ	貢献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>3事業は道路機能の維持向上に大きく貢献するため貢献度は高いものと判断します。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	現状維持	○
今後の 方向性	<p>道路機能の維持・向上は安全で安心できる市民の生活に大きく関わりがあるため、今後も計画的に取組を進める必要があります。</p> <p>消雪施設については、施設の老朽化が著しく更新が追い付かない状況であるため、更新の年次計画を作成し、地域の要望に答えていく必要があります。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 達成 成果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>成果指標については目標値に達していないため「やや高い」と評価した。</p>
イ	貢献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	現状維持	○
今後の 方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G L S	
-----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	ガス水道局 施設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	佐藤 善行
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係 課		
施策名	3号 ライフラインの維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

ガス・上下水道は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新投資の増大などにより、経営環境が厳しくなることを踏まえ、施設の統廃合による効率化を図り、将来を見据えた持続可能な事業運営に努めます。

また、快適な生活環境を維持するために、自然災害に対して強い管路等の耐震化をすすめ、安全・安心な供給体制の維持向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
水道 2		水道管耐震化対策事業 施設課	200,851	204,400					高い	A
		事業の 取組内容	自然災害にも強い水道管への耐震化を進める。							
下水 4		穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業 施設課	79,158	142,700					高い	A
		事業の 取組内容	農業集落排水処理場の施設統合、設備更新を行う。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	下水道施設の統合 現状18か所の施設を統合し 17か所にする	18	目標値	18	18	18	17	17	か所
			実績値	18					
			達成率	0%	%	%	%		
2	水道管の耐震化率	13.2 (R1末)	目標値	14.2	14.6	15.1	15.5	16	%
			実績値	14.3					
			達成率	100.7%	%	%	%		
3			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		
4			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業は、実施設計を行い、翌年度からの工事に向けた準備が整いました。</p> <p>水道管耐震化対策事業は、耐震性に優れた配水用ポリエチレン管等の布設工事を実施（2561.5m）し、水道管耐震化率の目標値を達成することができました。</p>
課題	<p>穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業は、国の補助事業で実施するため、要望額に対し減額されるおそれがあり、計画どおりに進まない可能性があります。</p> <p>水道管耐震化対策事業は、水道管以外の水道施設の更新を優先する場合があることから、計画どおりに進まない可能性があります。</p> <p>いずれの事業も道路・河川管理者等との占用協議が必要になり、時間を要する場合があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	下水道施設の統合は、穴沢・横根地区の実施設計を完了し工事に向けた準備が整ったことで成果指標の達成に向け前進し、また、水道管の耐震化率は、水道管の布設を行い、成果指標を達成することができたことから「高い」と評価しました。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	下水道事業は、効率的な下水道の事業運営に貢献する事業であり、また、水道管耐震化対策事業は、水道管の耐震化率を向上させたことにより供給体制が維持向上したことから「高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	将来を見据えた持続可能な事業運営を行うため、今後も施設の統廃合に向けた事業を実施し、下水道事業の効率化を図ります。また、安心・安全な供給体制の維持向上を図るため、今後も水道管の布設替えを行い、耐震化をすすめます。			改善・見直し

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			改善・見直し

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活基盤の整備	関係 課	地域創生課	北部事務所
施策名	1号 公共交通の持続可能な地域交通網の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

コンパクトなまちづくりを推進する魚沼市立地適正化計画と整合を図りつつ、基幹的な公共交通軸である乗合バスと、拠点と周辺生活圏を連絡する乗合タクシー及びコミュニティバスの運行支援等によって地域交通網を維持し、高齢者をはじめとした日常生活に必要な移動手段の確保を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
39	○	公共交通総合連携事業 生活環境課	114,124	124,087					高い	A
		事業の 取組内容	路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。							
65	○	地域との「絆」推進事業 (入広瀬地域コミバス分) 地域創生課 北部事務所	4,566	6,000					やや高い	C
		事業の 取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
67		交通安全対策事業 生活環境課	15,349	20,008					やや高い	B
		事業の 取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。							
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	住民1人あたりの 乗合タクシー等利用回数 乗合タクシー等利用者数 /住民基本台帳人口	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	0.97	回/年
		実績値	0.79						
		達成率	81.4%	%	%	%	%		
2	(上記1参考) 乗合タクシー利用者数	目標値	—	—	—	—	—	—	人
		実績値	26,949						
		達成率	%	%	%	%	%		
3	(上記1参考) 住民基本台帳人口	目標値	—	—	—	—	—	—	人
		実績値	34,125						
		達成率	%	%	%	%	%		
4		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

運転免許証の自主返納者に乗合タクシー等の共通回数券を交付することにより自主返納制度の認知度が高まり、運転免許証の自主返納者増加に効果を上げています。
 【魚沼市乗合タクシー等回数券交付事業】令和3年度交付件数：206件（前年度：191件）

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	魚沼市地域公共交通計画に基づき、路線バスや乗合タクシーの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで、市民の生活に必要な移動手段が確保され、移動手段を持たない高齢者の通院等の移動目的が達成されました。入広瀬地域においては、コミュニティバスへの運行支援を行うことで、市内全域で公共交通空白地帯が解消されています。加えて、令和3年10月から開始した路線バス「小出一六日町線」の魚沼基幹病院行きの実証運行では、一定多数の通院者等の利便性の向上に寄与しました。 また、交通安全の普及・啓発活動を、交通安全協会や地元警察署と連携して行うことで、交通死亡事故件数は過去最低となり、市民の安心な暮らしを下支えすることができました。
課題	人口減少やコロナ禍における外出控えなどにより、公共交通の利用者が減少傾向にあります。特に、減少率が顕著な郊外での地域公共交通網を維持するためには、より一層の運行率の向上が求められることから、利用者ニーズを反映した運行経路の見直しや新規利用者の開拓に努めていく必要があります。入広瀬地域を運行するコミュニティバスについては、会員の会費等が運行費の原資にもなっていることから、持続可能な交通手段として維持していくためには、会員の確保をはじめ、運転員の高齢化に伴う計画的な担い手の育成が今後の課題となります。 交通事故件数は、前年度から7件増加し、交通死亡事故についても1件発生しました。交通死亡事故件数ゼロを目指し、特に高齢者を対象とした普及・啓発活動を強化していく必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	高い	都市拠点と地域拠点間の公共交通軸を担う「路線バス」と、拠点と周辺的生活圏を連絡する「乗合タクシー」に対して、市が助成を行うことで運行を維持することができました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	デマンド型乗合タクシー及びコミュニティバス（入広瀬地域）の運行によって、少ない移動需要への対応が可能になり、更には交通空白地域の解消によって、高齢者を中心とした生活の足を確保することができました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	「魚沼市地域公共交通計画」に基づき、これまで整備を進めてきた交通資源を土台にして、鉄道及び路線バスを幹線、地域乗合タクシー等を支線として位置づけ、地域公共交通網の構築に努めます。また、これからの高齢化社会に向けた生活交通を確保するため、ドアツードアできめ細かく運行できるデマンド型乗合タクシーの拡充・見直しを図り、利便性の向上を図っていきます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	指標である「住民1人あたりの乗合タクシー等利用回数」は現状値から減少していることから「やや高い」と評価した。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	鉄道路線との共存を図りつつ、路線バスや乗り合いタクシーのPRや周知、利用促進策の取組を進め、利用率向上に努めること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G 関 連	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを
-----------------------	--	---	---

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	五十嵐 央
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活基盤の整備	関係 課		
施策名	2号 情報通信基盤の整備と活用			

2. 施策目的(目指すすがた)

情報通信基盤においては、市内どこでも情報が早く的確に伝わることをめざすとともに、地域に密着した情報を発信できる環境整備及び公共施設や商業施設、観光施設等への公衆無線LANの設置をすすめ、また、情報通信技術を積極的に活用することで関係人口を増やし、利便性の高い地域の実現を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
57		ICT推進事業	423	1,583					やや高い	C
		企画政策課								
	事業の取組内容	市民や来訪者の利便性を向上させるため、観光施設等の無線LAN環境整備の支援を行う。								
60		コミュニティFM難聴取対策事業	0	19,700					低い	C
		企画政策課								
	事業の取組内容	エフエム魚沼の放送を全戸で受信できるように、難聴地域に中継局等を整備する。								
	事業の取組内容									
	事業の取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績			
1	コミュニティFM放送聴取可能世帯の割合	98 (R1実績)	目標値	100	100	100	100	100	%
			実績値	98					
			達成率	98%	%	%	%		
2	メール配信登録者数	7,297 (H28~R1累計)	目標値	9,000	10,500	12,000	13,500	15,000 (H28~R7累計)	人
			実績値	9,480					
			達成率	105.3%	%	%	%		
3	公衆無線LAN設置支援件数	-	目標値	3	6	9	12	15 (R3~R7累計)	件
			実績値	2					
			達成率	66.7%	%	%	%		
4			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>宿泊施設2事業者の公衆無線LAN整備に補助金を交付し整備を行ったことで、利用可能エリアが広がり、市民や観光客の利便性が向上しました。また、コミュニティFM難聴取地域の解消については令和4年度に完了する見込みであり、これにより災害時の情報伝達手段として有効になる見込みです。</p>
課題	<p>公衆無線LAN整備補助金の利用率が低いため、利用件数をあげるための周知方法が課題です。また、公共施設について、避難所機能と併せリモート会議にも対応できるよう効果的な整備を行っていくことが課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	成果指標の目標達成の項目が3項目中1項目だったためです。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	成果指標の目標が達成できなかったことから、情報通信環境の整備が進んだとは言えないと判断したためです。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	多くの建物でWi-Fiを利用できるように、公共施設への整備と民間事業者への整備促進を図ります。また、市民や企業等がデジタル化の恩恵を受けることができるように、デジタル人材の育成を図ります。			改善・見直し	○

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	一次評価のとおり。			改善・見直し	○

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

1
健康を
なくそう

3
すべての人に
健康と福祉を

5
ジェンダー平等を
実現しよう

9
産業と技術革新の
基盤をつくろう

11
住み続けられる
まちづくりを

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	齊藤 嘉文
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活基盤の整備	関係 課	地域創生課	
施策名	3号 住環境の整備			

2. 施策目的(目指すすがた)

屋根雪除雪の安全対策や一般住宅の克雪化、耐震化などをすすめるほか、法令に基づき空き家対策として所有者等に解体・撤去を含めた適正な管理を促すとともに、空き家バンクなどを通じて有効活用を図ります。

また、公営住宅については、計画的な改修による長寿命化を図るとともに、民間活力も視野に入れながら利便性の高い市街地周辺に住民ニーズに対応した再編整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
45	○	移住定住促進事業	地域創生課	1,588	11,831					やや高い	C
		事業の取組内容				移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。					
341		公営住宅等大規模改修事業	都市整備課	10,175	799					やや高い	A
		事業の取組内容				老朽化が進む公営住宅の計画的な大規模改修を実施する。					
342		公営住宅整備事業	都市整備課	6,582	17,360					やや高い	A
		事業の取組内容				建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。					
343		克雪すまいづくり支援事業	都市整備課	8,805	18,620					やや高い	B
		事業の取組内容				克雪住宅の整備を行う者に対し、費用の一部を補助する。					
344		住宅耐震化等支援事業	都市整備課	100	2,760					やや高い	C
		事業の取組内容				木造住宅の耐震診断・改修等を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。					
345		屋根雪除雪安全対策事業	都市整備課	2,312	5,500					やや高い	B
		事業の取組内容				屋根の雪下ろし作業用の命綱を固定するための金具の取付等の費用を助成する。					
346	○	住宅リフォーム支援事業	都市整備課	62,958	70,111					高い	A
		事業の取組内容				個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。					

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績			
1	克雪住宅支援件数		—	目標値	40	80	120	160	200	200 (R3~R7 累計)	件
	克雪すまいづくり支援件数+屋根雪除雪安全対策支援件数			実績値	58						
				達成率	145%	%	%	%	%		
2	空き家バンクの登録件数		21 (H28~R1 累計)	目標値	23	25	30	35	40	40 (R3~R7 累計)	件
	令和3年から令和7年の累計			実績値	21						
				達成率	91.3%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

魚沼市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例の全部改正を行いました。このことにより、特定空家等の定義及び市の責務について明記し、特定空家等の解消に向けて、取組を強化する準備が整いました。（特定空家等：そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態）
 屋根雪除雪の安全対策として行っている克雪住まいづくり支援事業において、令和3年度から居住誘導区域内の新築住宅について助成額の上限を44万円から100万円に増額しました。

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	住環境については屋根雪除雪安全対策事業等の支援により、屋根雪除雪における落下事故防止等、市民の安全を確保することができました。また、住宅リフォーム事業により、市民が住み続けられる住環境の整備を図ることができました。空き家の解消に向けて空き家バンク制度に取り組みましたが、利活用は大きく進展しませんでした。 公営住宅については耐震化工事を行い、安全安心な住環境の確保を図ることができました。
課 題	住環境については一般住宅の耐震化や移住定住に向けた支援制度が十分に活用されていないことから制度の周知を図り、安全安心な住環境を確保するとともに、空き家については増加傾向にあることから、空き家バンク制度や住宅リフォーム事業等により利活用を進める必要があります。 公営住宅については引き続き耐震化工事を進めるとともに、老朽化した住宅が多数あることから、統廃合を進め、適正な状況に応じた住宅整備をしていく必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	空き家バンクの登録件数は目標値に届かなかったものの、住宅の克雪化は目標値を上回りました。公営住宅の耐震化も進めることができたことから「やや高い」と評価しました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一般住宅の克雪化により、屋根雪除雪の落下事故の防止に寄与しました。 公営住宅については年次計画により外壁、給排水、防水等大規模改修を行い長寿命化を図るとともに、老朽化住宅を解体し管理戸数の集約を図りました。 定住促進事業補助金制度を利用することで周辺環境の保全、整備につながることとなるため、「やや高い」評価としました。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	引き続き一般住宅の克雪化や屋根雪除雪の安全対策、耐震化を推進し、安全安心な住環境整備を進めるとともに公営住宅の長寿命化、集約化を行います。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	一次評価記載の内容に加え、空き家対策とともに、今後の住環境の整備については、地球温暖化対策を含めた対応も進めること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)	S D G 連 s	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	-------------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名	富永 勝巳	
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係 課	消防本部	総務課
施策名	1号 自助・共助・公助の仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などで自らがその生命や財産を守り（自助）、地域や企業が助け合い（共助）、市・消防本部・消防団・警察などによる応急・復旧対策活動（公助）の役割を明確にし、連携の仕組みを充実して災害対応を円滑にします。

なお、消防団は、公助と共助の両方の側面があり、指揮統制で活躍する実働部隊であると同時に、公助と共助や自助との「つなぎ役」、住民に対する「情報伝達者」であることから、役割の明確化を図ります。

加えて、災害発生時に備えて適切な公的備蓄と感染症等を考慮した避難所運営を行うとともに、災害時の食料・物資の供給、避難所利用などに関する協定の締結を行い、緊急時の体制を整備します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
355	○	消防団管理運営事業	64,924	72,346					やや高い	B
		消防本部								
		事業の取組内容	報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など							
359	○	防災対策事業	22,286	26,874					やや高い	A
		防災安全課								
		事業の取組内容	防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自主防災組織の加入率	94 (R1実績)	目標値	96	97	98	99	100	%
			実績値	96					
			達成率	100%	%	%	%		
2	防災連携協定の締結数	37 (R1末)	目標値	40	42	45	48	50	団体
			実績値	43					
			達成率	107.5%	%	%	%		
3	消防団協力事業所の数	13 (R1末)	目標値	15	16	16	17	18	団体
			実績値	15					
			達成率	100%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>自主防災組織等が行う防災活動に対し助成制度を創設し地域防災活動の活動支援を行い、自主防災組織の活動の活性化及び防災意識の向上に繋がりました。</p> <p>防災連携協定団体は、協力団体が3団体増加し災害時の防災体制の強化に繋がりました。</p> <p>消防団協力事業所数については2事業所の加入があり目標を達成しています。また、加入推進として消防団を雇用している事業所に制度の概要説明や協力依頼を随時行い、その必要性や重要性について十分理解をいただき、今後の協力事業所へつなげる取組を実施してきました。</p>
課題	<p>防災連携協定につきましては、災害時の人の輸送面等必要に応じ新たな業種との協定も検討していく必要があります。</p> <p>市内事業所側から消防団協力事業所制度の必要性や地域防災力の向上について理解を得ていますが、従業員に消防団員がいない事業所も多く、消防団協力事業所の加入推進とともに消防団員の確保が課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	施策達成度の成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	消防団への入団者は減少傾向にありますが、機能維持に向けた、施設整備及び計画的な車両等資機材の更新については順調に進捗しています。 また、自主防災組織の防災意識向上や協定団体等の増加など、防災体制の強化に繋がっているため「やや高い」と評価しました。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	公助・共助の両面を持つ消防団活動は、地域防災力の強化や地域住民の安心感に繋がっており、自助・共助の充実を図っていくためには、自主防災組織の組織力強化に向けた支援は必要であることから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	<p>地域と今まで以上に「話し合い」の時間を持ちながら、自助、共助の仕組みづくりに向け自主防災組織の体制強化に取り組んでいきます。</p> <p>消防団協力事業所への制度周知を継続して行い、消防団員の確保と併せて地域の事業所より消防団活動への協力をいただきながら、地域防災力の強化に取り組んでいきます。</p>					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	施策達成度の成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	全ての指標が目標値に達していることから「高い」と評価した。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
関係連
S

11
住み続けられるまちづくりを

17
パートナーシップで目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名	富永 勝巳	
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係課	地域創生課	
施策名	2号 自助・共助を支える支援体制の強化			

2. 施策目的（目指すがた）

家庭・学校・職場などでの災害への備え、危険箇所、避難場所や経路などの情報を提供するとともに、自らを守る防災意識の向上や防災教育の充実を図ります。
 また、自主防災会や防災士の育成・支援及び連携体制の整備をすすめ、地域防災力の底上げを図るとともに、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有を図るなど、地域や職場を守る災害対応を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
358		防災対策事業	1,720	6,698					やや高い	B
		地域創生課								
		事業の取組内容	空家の所有者等に対する管理不全の解消に向けた働きかけや空家の有効活用を支援する							
359	○	防災対策事業	22,286	26,874					やや高い	A
		防災安全課								
		事業の取組内容	防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
	指標の説明		実績	実績	実績	実績				
1	防災士の 市内登録地区数	80 (R1末)	目標値	88	90	95	100	105	105	地区
			実績値	88						
			達成率	100%	%	%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

魚沼市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例の全部改正を行いました。このことにより、特定空家等の定義及び市の責務について明記し、特定空家等の解消に向けて、取組を強化する準備が整いました。（特定空家等：そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態）

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>適切な管理が行われず、降雪により倒壊の恐れがある危険空家等について、屋根雪除雪等11件の緊急措置を実施しました。このことにより、道路の交通や通学路の安全確保が図られ、隣接する住宅等への被害を防ぐことができました。</p> <p>また、市内防災士の育成により、6名の防災士が新たに誕生し、地域における防災のリーダー役が増えたことや防災まちづくりによる安全な社会の実現を目的としたNPO法人が設立されたことで、地域の防災力強化に繋げることができました。</p>
課 題	<p>適正な管理が行われない家屋等が増加傾向にあることから、地域を守る災害対応として、自治会等と協力し、空家等の情報共有を図るとともに、危険空家等の解消に向けて取組を進めていく必要があります。</p> <p>防災士の数につきましては年々増加しており、防災士登録地区数も増加傾向にあります。関係機関・関係団体等と連携を図りながら、防災士同士の連携強化に向けた取組を進めていく必要があります。また、自主防災組織の防災力強化に向けた事業を積極的に進めていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自治会等と空き家の危険個所の情報共有が行われており、地域を守る対応ができています。また、防災士登録地区数が増加したことにより、地域防災力の強化に繋がっていることから「やや高い」と評価しました。
イ	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域や職場を守っていくためには、降雪により倒壊の恐れのある空家等の緊急措置や防災士の育成、自主防災組織の活性化に向けた取組は重要であることから、貢献度は「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき市の条例改正を行ったことから、危険空き家に対する施策を総合的に推進します。また、自助、共助による地域防災力の強化も重要であることから、自治会及び地域の防災士との連携も図りながら、安全安心な暮らしやすいまちづくりを目指して事業を進めていきます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
関
D
連
G
S

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	富永 勝巳
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係課	企画政策課	建設課
施策名	3号 防災基盤の強化		消防本部 総務課	

2. 施策目的(目指すがた)

市の防災体制の充実を図るとともに消防団は教育訓練、処遇等の改善を図りながら団員確保に努め、救済活動を効率的で効果的に行うために関係機関との協力関係を強化します。
また、災害・防災情報の確実な伝達を図るため、防災行政無線等の充実を図るとともに、国県と連携し、自然災害の減災対策のための施設整備を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
60		コミュニティFM難聴対策事業	0	19,700					低い	C
		企画政策課								
		事業の取組内容	エフエム魚沼の放送を全戸で受信できるように、難聴地域に中継局等を整備する。							
325	○	内水対策事業	307,604	939,200					高い	A
		建設課								
		事業の取組内容	四日町・袖八川地区の内水対策として、排水機場新設及び排水ポンプ増設を行う。							
356	○	消防団施設整備事業	34,404	31,303					やや高い	B
		消防本部								
		事業の取組内容	小型動力ポンプ、積載車、消防器具庫等を整備する。							
362	○	防災行政無線等整備事業	59,087	35,000					高い	A
		防災安全課								
		事業の取組内容	同報系防災行政無線屋外子局増設工事の実施及び防災情報伝達設備等更新計画の策定を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
	指標の説明								
1	消防団員数 (人口比率2.5%が目標値)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
		実績値	829						
		達成率	97.2%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>消防団の装備の更新は計画どおり進んでおり、地域住民に対して安心感をもたらしています。</p> <p>また、屋外拡声子局の整備や内水対策事業についても計画どおり進んでおり、情報伝達と減災対策の強化が図られました。</p>
課 題	<p>本市は人口減少、少子高齢化が顕著であり、日中の時間帯に消防団員が不在となる地域が少なくなき、配備した消防団の装備が火災等の発生時に即座に使用されないケースもあることから、地域の実情に合わせた消防団の再編成計画が必要となっています。</p> <p>防災基盤の強化に向けた取組のうち、ハード面の取組として、四日町排水ポンプ場の整備を進めていますが、事業完成までに期間を要することから、防災部局や地域住民と連携したソフト面の取組を進めていく必要があります。</p> <p>屋外における情報伝達基盤の整備として、同報系防災行政無線屋外拡声子局の整備を進めておりますが、整備から15年が経過していることから、設備の老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要となっています。また、併せて新たな情報伝達の方法についても検討を進めていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	消防団の施設及び装備の充実、情報伝達設備の拡充、内水対策整備とも計画どおり進捗し、地域防災基盤の強化に繋がっていることから「やや高い」と評価しました。	
イ	貢 献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市の防災体制の充実を図っていくうえで、消防団の装備等や各種設備等の整備などハード面での対策は優先的に取り組んでいく必要がある事業であり、貢献度は「やや高い」と評価しました。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡 充	
					現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の 方向性	一部の地域では消防団員不在の地域もあり、消防団員の処遇改善を図りながら積極的に消防団への入団推進を進める一方、隣接する地域の統合や広域的にカバーする消防団の再編成を進めるとともに、防災体制の強化を図るため、引き続き施設、設備等の整備を進めていきます。					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	消防団員数は令和元年度末から50人の減となっている。令和3年度末の人口（34,125人）で計算しても比率2.42%であり、目標を下回っていることから「やや低い」と評価した。	
イ	貢 献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡 充	
					現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の 方向性	一次評価のとおり。					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	2 脱炭素をゼロに 	6 安全な水とトイレを世界中に 	13 気候変動に具体的な対策を 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
------------------	---	--	---	--	--

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係 課	農政課	
施策名	1号 豊かな自然と美しい景観の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐため、環境意識の啓発を図り、市民一人ひとりの環境保全に対する意識を高めるとともに、市民や関係団体と協働して、貴重・希少な動植物の保護に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
215	○	自然環境保全事業	4,331	5,486					高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。							
253		環境保全型農業直接支払交付金事業	2,415	3,300					やや高い	B
		農政課								
		事業の取組内容	環境保全に資する農業の取組を行う者に対し交付金を支出する。							
285		溪流魚放流・保護事業	900	900					やや高い	B
		農政課								
		事業の取組内容	銀山水系・佐梨川水系への溪流魚（イwana稚魚）の放流を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自然環境保全地域の指定数	3 (R1末)	目標値	5	5	5	5	5	箇所
			実績値	6					
			達成率	120%	%	%	%		
2	豊かな自然の保全と育成の満足度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	39.3 (R1調査)	目標値	—	—	—	50	50	%
			実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>自然環境保全条例に基づく保全地区等の指定「ザゼンソウ群生地」を指定することができました。</p> <p>また、例年実施している生物多様性調査とともに、2011年～2020年の10年分の生物多様性調査報告書が、令和4年度完成に向けて順調に進んでいます。</p> <p>これまでの自然環境保全の取り組みを反映し、広神西小学校やNPO法人スノーパーク小出が新潟県環境賞を受賞し、対外的な成果も表れています。</p>
課 題	<p>継続調査の必要性とともに、携わる方の高齢化等により人材の育成と発掘が課題となっています。</p> <p>保全地域・保護動植物を指定した場合、保全維持管理をどのように図っていくか、将来的な保全体制づくりが課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 達 成 成 果	高い やや高い やや低い 低い	高い	生物多様性調査の実施、標本教室等の開催により、広く市民から魚沼の自然環境保全の必要性を認識していただき、環境意識の啓発を図ることができました。また、自然環境保全地区指定（ザゼンソウ群生地）を、地域や地権者等の理解を得て指定しています。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	高い	市民参加活動による、生物多様性調査、標本教室や標本展など、これまでの啓発活動や環境学習による意識啓発が図られており、着実に成果の積み重ねができていていると考えます。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 ○	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持 改善・見直し	
今後の方向性	引き続き、市、地元NPO法人、市民ボランティアと協働で自然環境保全調査等を進めていくとともに、次世代の人材や団体を育成していく必要があります。また、調査成果を効果的に活用し、環境保全啓発や環境教育の取組へつなげていくこととします。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 達 成 成 果	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 ○	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持 改善・見直し	
今後の方向性	一次評価に記載のある今後の方向性を示すために、具体的な取組内容を検討の上、市民の意識向上に努めていくこと。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	渡辺 一彦
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係課		
施策名	2号 森林と里山の再生			

2. 施策目的(目指すすがた)

森林や里山の持つさまざまな機能を活かすための啓発活動、森林体験学習などの推進を図り、市民1人ひとりの森林保全に対する意識を高めます。
また、森林が循環する「植える・育てる・活用する」の推進を図り、森林の有する多面的機能を保持する健全な森林づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
268		林業振興事業	545	690					やや低い	C
		農林整備課								
		事業の取組内容	林業及び環境保全のPR等を行い、森林・里山に対する意識を高める。							
270	○	森林整備事業	17,828	36,555					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。							
271	○	里山整備事業	22,081	26,000					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
274	○	森林体験・環境学習事業	321	1,141					やや高い	C
		農林整備課								
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	森林整備面積	723 (H16~R1累 計)	目標値	800	840	880	920	960 (H16~R7累 計)	ha
			実績値	789					
			達成率	98.6%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	里山まつりの開催により、市民の森林保全への関心を高めることができました。また、里山整備事業では、新たな団体が活動に取り組むなど市民の森林保全意識の向上が着実に進んでいるものと考えられます。
課題	健全な森づくりには、市民が森林に興味を持つことが重要であり、森林体験及び環境学習の充実を図り、森林・里山整備の促進に向けた意識の醸成を図っていく必要があります。併せて、森林環境譲与税を活用した私有林の未整備人工林の整備促進を進める必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 成果指標である森林整備面積については目標に向かって順調に進展しているため「やや高い」と判断しました。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 市民の森林や里山への関心は徐々に高まりつつあり、森林や里山の整備促進に繋がっているため、健全な森林や里山づくりに貢献しています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	現状維持	○
今後の方向性	市民の里山保全に対する意識が高まりつつあります。今後は整備後のフィールドを活用した森林体験学習に取り組みさらなる意識の醸成に努めます。また、森林環境譲与税を活用し計画的に森林整備を進め、自然災害防止、二酸化炭素吸収、木材活用など森林の有する多面的機能を保持するため、引き続き森林の保全と利活用を推進します。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	 6 安全な水とトイレ を世界中に	 15 陸の豊かさも 守ろう
------------------	--	--

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	渡辺 一彦
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係 課	生活環境課	
施策名	3号 野生鳥獣との共生			

2. 施策目的（目指すすがた）

野生鳥獣による人身及び農作物への被害を防止するため、森林や里山の整備をすすめます。
また、市民に野生鳥獣に関する正確な情報を伝え、被害防止の啓発を図るとともに関係機関と連携を行い、出没・生息状況の把握に努め、人身及び農作物への被害を防止し、多様な動植物との共生を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
215	○	自然環境保全事業	4,331	5,486					高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。							
271	○	里山整備事業	22,081	26,000					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	15	15	15	15	団体
			実績値	17					
			達成率	121.4%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>生物多様性調査においては、調査開始から10年分の報告書及び魚沼市の自然ハンドブックの作成に取り組み、更なる情報発信と環境保全活動の啓発に向けて関係団体とともに準備を進めることで、環境問題や環境保全に興味のある人材の芽吹きを助長しています。また、里山整備の面積は年々増えており、山林と集落との緩衝地帯を作ること野生鳥獣による人身及び農作物への被害等の防止につながっています。</p>
課題	<p>地域の自然を自ら保全するために、現在支援している団体の自立促進と、新たな団体の掘り起こし、支援・育成をする必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成度果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>自然環境活動団体の増加と里山整備面積の増加により、市民が森林・里山への関わりが高まり、多様な動植物との共生に繋がりました。</p>
イ	貢献度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>里山整備事業を活用して居住地に隣接する未整備森林を整備し、その範囲を鳥獣と人間の生息域を分ける緩衝帯として機能させることで、鳥獣の出没や被害の軽減に寄与しているものと考えられます。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>今後も荒廃が進んでいる森林・里山を整備し、野生鳥獣の適切な保護・管理などの生態系を保全しつつ、これまでに確認できた生息状況や生態など野生鳥獣に関する正確な情報発信、被害防止の啓発活動を積極的に行い、野生鳥獣による被害から市民や農地を守るよう取組を進めます。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成度果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢献度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 観光課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	鈴木 智博
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係 課	地域創生課	北部事務所
施策名	1号 自然環境を活用した地域づくりの推進		農林整備課	生涯学習課

2. 施策目的(目指すすがた)

四季折々の美しく豊かな自然を活かした地域の魅力を発信し、四季を通じた体験型観光や友好都市等との交流事業の取組を進めることにより、自然の魅力を伝え、魚沼市から行く尾瀬や雪国体験など、自然の恵みを活かした観光誘客に取り組み、市民や関係団体と協働で地域の活性化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段) 担当課(下段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
			決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
34	○	地域交流推進事業 地域創生課 北部事務所	492	4,577					やや低い	C
		事業の取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。							
42	○	田舎暮らし体験事業 北部事務所	9	1,083					やや低い	C
		事業の取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。							
282		峠のふるさと広場施設運営事業 農林整備課	5,102	5,206					やや高い	B
		事業の取組内容	峠のふるさと広場の施設運営と、施設を活用した自然体験イベント等を実施する。							
301	○	誘客宣伝事業 観光課	93,733	89,455					やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。							
302	○	体験型観光推進事業 観光課	20,521	22,326					やや高い	B
		事業の取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。							
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業 生涯学習課	0	1,090					やや高い	B
		事業の取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。							

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
			実績	実績	実績	実績	実績		
1	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	人/年
			実績値	7,092					
			達成率	72.4%	%	%	%		
2	ふるさと広場利用者数	2,980 (R1実績)	目標値	3,140	3,230	3,320	3,410	3,500	人/年
			実績値	2,990					
			達成率	95.2%	%	%	%		
2	観光客の入込数	1,654,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	人/年
			実績値	1,174,284					
			達成率	71.2%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>峠のふるさと広場施設運営事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により7月下旬から9月末までの間、当該施設利用者を新潟県内在住者に限定した影響もあり、目標を達成することはできませんでしたが過去最多の施設利用者数となりました。また、体験型観光推進事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により、文京区の受入れが中止となったものの、足立区及び江戸川区の受け入れが再開したことにより、目標の7割程度まで回復することができました。</p>
課題	<p>峠のふるさと広場施設運営事業では、全国的なアウトドアブームの影響から自然を活用した体験等へ大きな関心が寄せられており、参加者の多様なニーズに対応するため、引き続き指定管理者と連携して新たな体験メニューの開発や地域資源の有効活用方法を検討していく必要があります。体験型観光推進事業では、繁忙期（田植え・稲刈り時期）の受入れ宿泊施設やスタッフは、飽和状態に近いことから、閑散期（夏休み・11月以降）の家族連れや大人同士の少人数旅行客を狙ったプログラム開発と営業活動が必要です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度 の達成度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	首都圏からの体験型観光の推進や自然を活かした拠点施設での体験イベント等の実施により、施策目標に向けての進展が見られ、コロナ禍で行動制限がある中でも、一定の成果指標が達成できました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	アフターコロナに向けて、グリーンツーリズムやアグリツーリズムのニーズは更に高まっており、各事業の継続実施は、施策目標の達成につながります。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
			現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	当市の豊かな森林資源を生かすためにも、森林環境税の本格実施を見据えた森林プログラムの開発や、首都圏来訪者からもニーズの高い農業プログラムの充実を進めていきます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度 の達成度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
			現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	 8 働きがいも 経済成長も	 17 パートナシップで 目標を達成しよう
------------------	---	---

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	渡辺 一彦
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係 課		
施策名	2号 森林資源の利活用の推進			

2. 施策目的(目指すすがた)

森林や里山づくりにより産出されるさまざまな森林資源の地産地消を促進するとともに、地域の活性化をめざして、木質バイオマスエネルギーの有効活用と新たな利活用の取組をすすめ、森林資源の利活用を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
276	○	魚沼市産材活用促進事業 農林整備課	15,240	22,224					やや高い	B
		事業の取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	森林資源の利用量	2,761 (R1実績)	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	t/年
			実績値	2,381					
			達成率	76.6%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	森林整備による利用間伐の約7割がバイオマス燃料として有効に活用されました。また、地元産材を活用した木製玩具・什器等を保育園や小学校などの公共施設9か所に14点を設置し、魚沼市産材の家づくり事業では11戸の利用があり、森林資源の利活用を図りました。
課題	魚沼市産材の家づくり事業は、コロナ禍の影響で戸数、材積とも前年度より減少しており、今後、市民に事業を浸透させるために広く広報し、地元産材の地産地消を推進していく必要があります。また、地元産材を活用した木製玩具や什器については、市内公共施設に設置していますが、今後は木材の需要拡大を図るため、市外に向けて販路拡大していく必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地元産材の地産地消への取組の推進により素材生産者の意識醸成が図られ、成果指標の目標値に向かって進展しました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	森林資源の地産地消への取組により木材の活用促進が図られ、市民の魚沼市産材への関心が高まっています。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	今後も利用間伐等の素材生産拡大に取り組み、地元産材の地産地消を促進するために川上から川下までの流通体制の構築を図ります。			改善・見直し

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	一次評価のとおり。			改善・見直し

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係課	生活環境課	農林整備課
施策名	1号 環境教育と環境学習の推進		観光課	学校教育課

2. 施策目的(目指すすがた)

市民が自然に触れ合い、ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にすることを育むために、豊かな自然やさまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。
また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
215	○	自然環境保全事業	4,331	5,486					高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。							
274	○	森林体験・環境学習事業	321	1,141					やや低い	C
		農林整備課								
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。							
302	○	体験型観光推進事業	20,521	22,326					やや高い	B
		観光課								
		事業の取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。							
377	○	自然環境学習推進事業	2,774	5,768					高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	小学校5年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。							
456		エコ・ミュージアム運営事業	6,047	8,992					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	環境学習講座等の 参加者数	目標値	2,300	2,600	2,800	3,000	3,000	3,000	人/年
		実績値	1,071						
		達成率	47%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>自然環境保全調査をとおして、多くの市民から魚沼市の生態系に興味を持っていただくことができました。また、環境学習においては、市民ボランティアが欠かせない存在となっており、活動で得た知識を指導者として伝えることで市民の環境学習に役立っています。</p> <p>また、小中学生においては自然観察、炭焼き体験及び尾瀬学習を通じて森林保全や環境保全に対する意識を高めることができました。</p>
課題	<p>体験学習については、市内小中学生の利用が伸び悩んでいるため、参加しやすい事業メニューを構築することが課題です。</p> <p>その他では、エコ・ミュージアムに係るエコセンター、木道及び展示設備等が経年劣化し、改修が必要であると考えますが、どの施設をどのレベルまで改修できるか調整していくことが課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にする心を育むという観点から見ると、各課が連携する中で講習会や体験講座など多様な学習機会が提供され、幅広い年齢層への環境学習の場を提供することができましたが、参加者数は少なかったため「やや低い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	首都圏の小中学生を中心とした、魚沼の自然を活用した環境学習プログラムを実施し、環境学習の推進に貢献しています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	各地区の公民館活動における環境学習講座をはじめ、全市民を対象とした生物多様性セミナーの開催や、市内の小学校5年生が体験する尾瀬学習、森林整備や森林保全に関する講習会を開催し、エコ・ミュージアムでの自然教育など、市民の皆さんへの様々な学習機会の提供とともに学習プログラムの開発も進めながら、各環境学習講座の担い手となる指導者育成に各課が取り組みます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
SDGs
関連

6
安全な水とトイレ
を世界中に

11
住み続けられる
まちづくりを

12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を

14
海の豊かさを
守ろう

15
陸の豊かさも
守ろう

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係 課		
施策名	2号 市民協働による環境保全活動の推進			

2. 施策目的（目指すがた）

市民や関係団体の環境保全活動の活性化と拡大を図るため、環境に関するさまざまな情報を提供するなど啓発活動を行うとともに、その担い手となる人材や団体などの育成をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
214		環境衛生管理事業	3,308	4,522					やや高い	C
		生活環境課								
		事業の取組内容	環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。							
215	○	自然環境保全事業	4,331	5,486					高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	15	15	15	15	団体
			実績値	17					
			達成率	121.4%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>市民からの協力をいただき、春秋の環境美化運動、花いっぱい運動等の環境保全事業を継続して実施し、地域や関係団体から活動報告等をいただきながら、事業の改善に活かしています。また、毎年10月に開催している環境フェアにおいては、環境保全啓発を実施し、多くの市民に興味関心をもっていただいています。</p> <p>生物多様性調査においては、調査結果を報告する市民公開セミナーはコロナの影響で中止となりましたが、実地調査活動にボランティア参加する市民の姿は、環境保護活動や環境問題などに興味関心のある人材の芽吹きを促しています。</p>
課題	<p>地域の自然を自ら保全するために、現在支援している団体の自立促進と、新たな団体の掘り起こし、支援・育成をする必要があります。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、セミナー等の開催や集客を要する環境フェアなどは、規模を縮小又は中止を余儀なくされる場合があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 環境美化運動の参加者、環境フェアへの来場者等の実績から環境に対するPRや環境保全に対する意識の醸成が図られています。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 生物多様セミナーは中止となりましたが、標本教室などには親子で参加していただき、魚沼市の美しい自然環境を次代につないでいく様子が見受けられています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持
今後の方向性	効果的な環境政策を進めるためには市民協働を継続する必要があります。地域や関係団体との連携をさらに深め、環境美化運動や花いっぱい運動を推進します。また、市民協働の自然環境保全調査で得られた成果を基に、希少植物の保全活動等とおした自治会や市民団体との協働に取り組み、市民の意識啓発と環境保全団体の育成を推進していきます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い 成果指標の最終目標値を上回っていることから「高い」と評価した。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持
今後の方向性	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G S 関連	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	14 海の豊かさを 守ろう
-------------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係 課	農政課	
施策名	1号 ごみの減量化とリサイクルの推進			

2. 施策目的(目指すすがた)

家庭や事業所からのごみの発生や排出を抑制し、限りある資源を有効に活用するため、ごみの分別と3Rの啓発活動を積極的にすすめ、引き続きごみを資源に変えるリサイクル意識の醸成を図り、持続可能な循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化と再資源化を推進します。
また、ごみ処理業務における広域的な協力体制の構築をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
255		地域バイオマス施設整備事業	0	40,546					やや高い	B
		農政課								
		事業の取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。							
520		ごみ処理事業	509,359	551,884					高い	A
		生活環境課								
		事業の取組内容	ごみ処理施設の維持管理を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市民一人当たりの一般廃棄物排出量	目標値	997	995	993	991	990	990	g/日
		実績値	1,109						
		達成率	89.9%	%	%	%	%		
2	リサイクル率	目標値	18.3	18.5	18.7	18.9	19.0	19.0	%
		実績値	19.0						
		達成率	103.8%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>小学校の環境学習の受け入れやごみの量を毎月市報に掲載したほか、2市1町で取り組んだ「おいしい食べきり運動」など、ごみの減量化や3R推進の啓発活動を行ったこと及び古着類や食器の回収についても実施したことにより、前年度より資源化物の回収量が増え、リサイクル率が向上しました。</p>
課題	<p>家庭系一般廃棄物は減少しているものの、事業系一般廃棄物の搬入量が横ばいであるため、結果として市民一人当たりの一般廃棄物排出量は増加しています。当該指標の改善には事業系廃棄物の抑制が必要となります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一般廃棄物の排出量は事業系一般廃棄物が減少していないため総量が減っておらず、市民一人当たりの一般廃棄物排出量は結果的に増えたものの、分別排出による資源化量が増えたためリサイクル率については向上しています。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	廃棄物を処理することにより資源化し、最終的に埋立処理するものを減少させ環境負荷を減らすためには妥当と考えられます。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	現在実施しているごみの分別をさらに進めるためには、現状の施設では廃棄物の資源化に限界があるため、今後検討を開始する必要がある新しいごみ処理施設の建設に併せ、廃棄物を資源として活用するための分別種類及び収集方法、または資源化の方法についても検討する必要があります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	2 脱炭素 ゼロに 向けて	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	13 気候変動に 具体的な対策を	15 海の豊かさ を守ろう
------------------	------------------------	-----------------------------	------------------------	---------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係 課	農政課	
施策名	2号 地球温暖化対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地球温暖化対策の取組を計画的・総合的に推進し、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図ります。
また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなど再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
218		地球温暖化対策事業	2,209	5,241					やや高い	B
		生活環境課								
		事業の 取組内容	省エネルギー啓発、新エネルギー利用促進、カーボン・オフセット事業等の温暖化防止の取組を行う。							
253		環境保全型農業直接支払交付金事業	2,415	3,300					低い	B
		農政課								
		事業の 取組内容	環境保全に資する農業の取組を行う者に対し交付金を支出する。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	再生可能エネルギー機器設置件数	18 (R1実績)	目標値	30	30	40	50	55	件/年
			実績値	10					
			達成率	33.3%	%	%	%		
2	バイオマスの利用率	83.0 (R1実績)	目標値	85	87	89	91	92	%
			実績値	85					
			達成率	100%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

- ・地球温暖化対策の普及や啓発を目的にエコチャレンジ事業を実施しました。（夏の子どもエコチャレンジ：114名参加、冬のエコチャレンジ2021：40名参加）
- ・CO2削減や夏の節電対策としてグリーンカーテンプロジェクトを実施し、希望者及び希望団体へのゴーヤの種の配布や、グリーンカーテンに関する市民向け講座等を実施しました。
- ・市内小学生を対象として地球温暖化対策ワークショップを4回実施しました。
- ・カーボンオフセット事業を実施し、環境に関心のある自治体や事業所から購入いただきCO2削減に貢献していただきました。（2021年度販売実績304t-CO2）
- ・クールチョイスの賛同に取り組みました。
- ・市環境フェアで温暖化防止の普及・啓発を行いました。

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>市内へのバイオマスエネルギーの普及効果が一定程度表れているものと評価します。また「再生可能エネルギー機器設置件数」については目標値には達しなかったものの、当事業を活用して設備を導入された方を対象とした事後調査において「電力の消費が見えるようになった（太陽光パネル）」、「部屋全体が暖かい（ペレットストーブ）」とご意見をいただいております。今後の施策に活用可能な知見を得られたものと評価しています。</p> <p>また、成果指標外ではありますが、エコチャレンジに参加した子どもたちから「資源を大切にしたいと思った」「二酸化炭素を減らさないと、地球温暖化の原因になるので、これからも続けたい」といった前向きな感想が見られ、地球温暖化対策に関する若い世代への啓発活動として一定の成果を挙げられたものと評価しています。</p>
課題	<p>地球温暖化対策の取組を計画的・総合的に推進するため、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発に向けた効果的な周知方法や取組内容を検討し、ブラッシュアップしていく必要があります。</p> <p>また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなど再生可能エネルギーの普及拡大、特に事業所、家庭における再生可能エネルギー機器の普及を図るため、事業の周知や情報提供を行う必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	「バイオマスの利用率」については一定の効果が出ているものと評価しますが、「再生可能エネルギー機器設置件数」については目標と開きがある状態です。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	再生可能エネルギー機器設置件数は目標値に及んでいないものの、事業所、家庭における再生可能エネルギー機器導入の動機付けとして必要な補助と考えます。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。		改善・見直し	
今後の方向性	地球温暖化対策に関しては、長期的に取り組んでいくことが必要です。国・県及び関係機関と連携しながら、実行計画の見直しに向けて市民や事業者を巻き込むための仕組みを構築していく必要があります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価に加え、脱炭素社会に向けた住宅の省エネルギー改修など、ほかの事業の取組も含めて推進を図って行くこと。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	小林 淳
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係課		
施策名	3号 公害の抑制と生活環境の保全			

2. 施策目的(目指すがた)

公害発生を未然に防ぎ、身近な生活環境を良好に保つために監視活動や環境意識向上のための啓発活動に努めます。
また、市民が中心になった環境美化運動を推進し、ごみのないきれいなまちづくりをめざして生活環境の保全に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
214		環境衛生管理事業	3,308	4,522					やや高い	C
		生活環境課								
		事業の取組内容	環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。							
216		環境監視員設置事業	1,040	1,128					やや高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	環境監視員による巡回監視活動を実施し、公害の発生抑制と不法投棄を防止する。							
217		公害対策事業	4,326	4,814					高い	B
		生活環境課								
		事業の取組内容	騒音、振動、悪臭等の苦情処理及び調査、河川水質検査、広報等の未然防止活動を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	環境美化運動の参加者数	目標値	8,200	9,300	10,400	11,500	12,700	12,700	人/年
		実績値	7,737						
		(R1実績)	119.1%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

<p>環境美化運動参加団体数は、実数団体延べ346団体です。新潟県の環境美化運動実施期間(春・夏・秋の3回)の実績から算出しています。</p> <p>悪臭：臭気測定を6月～10月にかけて、12試料を採取し、その結果に基づき指導面談を実施しています。</p> <p>水質汚濁：市内8河川11か所で水質検査を行い、その結果をHPで公開しています。</p> <p>騒音：騒音測定を、市直営で規制地域で6箇所、高速道路3箇所を環境騒音調査し、自動車騒音常時監視(専門機関へ委託)を3箇所で行っています。また、県から新幹線沿線と高速道路沿線各1箇所ずつ環境調査を実施しています。この結果に基づきNEXCOやJR東日本に申入れを行っています。</p>

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>市民が中心となった環境美化運動や花いっぱい運動により、身近な生活環境は良好に保たれています。また、環境監視員による不法投棄やポイ捨てなどの監視活動により、環境悪化の抑止と市民への環境保全意識の意識啓発を進めることができました。</p> <p>公害に関する苦情や相談に対しては、発生原因の早期把握と適切に対応により問題解決に努めました。河川水質検査においては、「大腸菌数」と「糞便性大腸菌群数」を重点的に検証し、河川水質の安全性に問題ない結果となっています。</p>
課題	<p>生活環境の維持保全は市民直結の課題であり、悪臭問題など問題解決に至っていない事案については関係機関との連携して改善に向けた取組を進めるとともに、未然防止対策となる周知徹底が必要と考えています。</p>

6. 施策に対する評価(担当課の評価：一次評価)

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
アの達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	環境美化運動に関して、新型コロナウイルス感染が危惧され十分な美化活動ができない中、参加者数は前年度と比較して1,540人増加し、指標の達成率が119.1%であったためです。
イの貢献度	施策目標達成のための手段(事務事業)の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民と行政等が協力しながら効果的に施策を実施しており、公害抑制と生活環境保全に貢献していると考えます。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	生活環境の維持保全並びに改善については、成果が直ぐには表れないところであり、特に長期化している案件に関しては、市民の協力や理解を得ながら関係機関と連携し、効果的な改善策を見極めながら取り組んでいく必要があります。			

7. 施策に対する評価(行政評価会議：二次評価)

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
アの達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イの貢献度	施策目標達成のための手段(事務事業)の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	岡部 忍
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係 課	企画政策課	生涯学習課
施策名	1号 健康づくりの推進			

2. 施策目的(目指すすがた)

市民一人ひとりが、自らの健康について考え、自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、各年代に適した栄養・食生活・身体活動・こころの健康・休養などに関する情報の発信や動機付け(インセンティブ)を提供します。また、加齢に伴う心身の機能低下の予防に関して若い世代から取り組めるよう普及啓発を行います。

からだの健康とともにこころの健康について、悩みを抱えた人の孤独を防ぐため、保健・医療・福祉だけでなく、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つなぎ・見守りができるネットワークの充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
185		心の健康づくり推進事業	274	963					やや高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	心の健康についての普及啓発、ハイリスク者対策、支援ネットワークの構築等を行う。							
203		電話健康相談事業	2,040	2,612					高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	急病の対処法、家庭内の応急手当、受診の目安等の電話相談に24時間対応する。							
207		保健対策事業	1,026	1,700					やや高い	B
		健康増進課								
		事業の取組内容	健康教育・個別訪問指導・健康情報の発信等を行う。							
208		歯科保健事業	5,429	7,858					高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	乳幼児歯科保健、成人歯科保健、フッ化物洗口等を実施する。							
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業	2,891	5,727					やや高い	B
		企画政策課								
		事業の取組内容	「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。							
211		健康づくり支援事業	1,042	1,573					やや高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	健康ポイント制度を実施する。							
460	○	市民スポーツ普及事業	12,582	14,472					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	スポーツフェスティバルや各種運動教室を開催し、市民の健康増進や生きがいつくり、スポーツ実施率の向上を図る。							

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自分が健康であると感じている人の割合	79.8 (R1調査)	目標値	—	—	—	85	85	%
	総合計画市民アンケートより(次回はR6に実施)		実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		
2	5年間平均の自殺死亡人数	11.2 (H26~H30平均)	目標値	10.6人				10以下 (R3~R7平均)	人
			実績値	8.8人					
			達成率	120.4%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>新型コロナ感染症の影響により、対面での事業の実施はありませんでしたが、市報・FMうおぬま・ケーブルTV・DVD等、あらゆる機会を活用して健康づくりに関する情報を提供しました。</p> <p>元気ポイント事業では、昨年度と比較して1割程参加者が増加していることから運動をはじめの動機づけと運動習慣の定着に一定の役割を果たしていると考えます。</p> <p>電話相談事業は、前年度と比べて相談件数が増えました。事業の継続により気軽に相談できる市民の身近な相談窓口として定着しています。</p>
課題	<p>各世代に向けて、情報の発信をしていますが、各事業の参加者数やワクチン接種率等をみると20歳代から50歳代の働き盛り世代が低い状況にあり、この世代に対する啓発の方法等を見直す必要があります。</p> <p>こころの健康については、50歳から60歳代男性は、相談することにためらいを感じる割合が多いというアンケート結果もあり、相談への抵抗感を下げる必要があります。コロナ禍で不安を抱える人も多いことから、悩みを抱えた時に早期に相談につながるよう、相談先の周知や地域での相談体制の強化が必要です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	「自分が健康であると感じている人の割合」は指標を取ることはできませんでしたが、構成事業の評価指標において、健康づくりに取り組んでいる状況があり、達成できたと評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	コロナ禍において、悩みを抱えた人が様々な相談先につながる必要があるとあり、相談件数の増加や健康づくりへの参加数も増えていることから貢献度は高いと評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	各年代において、自主的に健康づくりに取り組むことができる動機付けが必要であることから、SNSを活用した情報提供の方法を世代ごとに工夫していきます。また、悩みを抱えた時に早期に相談につながるよう相談先の周知や地域での相談体制の強化を図ります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	岡部 忍
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係 課		
施策名	2号 疾病予防と重症化防止対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

病気の予防、早期発見及び生活習慣病の重症化を防止するため、特定・基本健診及び各種がん検診の受診率向上を図ります。また、健（検）診結果をはじめとする各種データを活用し、疾病の予防と重症化防止のための健康相談・健康教育の内容を充実します。
 新型インフルエンザ等をはじめとする各種感染症について、正しい知識の普及と感染予防に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
204		基本健診事業	3,183	5,151					やや高い	C
		健康増進課								
		事業の取組内容	健康増進法に基づく健康診査や保健指導を実施する。							
206		がん検診事業	44,942	78,680					高い	C
		健康増進課								
		事業の取組内容	各がん検診の実施、個別受診の勧奨、がん予防のための普及啓発等を行う。							
519		予防接種事業	419,989	356,885					高い	B
		健康増進課								
		事業の取組内容	予防接種により疾病に対する免疫を保有し、感染症の発生及びまん延を予防する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	特定健康診査受診率	52.0 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	%
			実績値	45.8 (速報値)					
			達成率	79%	%	%	%		
2	特定保健指導実施率 (市集団検診実施分)	48.4 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	%
			実績値	35					
			達成率	60.3%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>ナッジ理論（自らの意思でより良い選択ができるように、小さなきっかけをつくること）を活用した住民健診未受診者への再勧奨通知を送付しました。その結果、受診率が向上した検診もありました。</p> <p>乳幼児健診時や就学前等、節目、節目に接種状況を確認し、未接種の予防接種の接種勧奨を行いました。麻しん風しん(MR)2期の接種率は、目標値の95%以上を維持できました。また、新型コロナワクチンの接種率は、1回目92.6%、2回目92.2%、3回目78.8%（R4.5.30時点 対象者12歳以上）で、感染症対策に一定の効果があつたと考えます。</p>
課 題	<p>健診の受診控えが続いており、コロナ禍以前の水準まで回復していません。予約制の導入や3密回避のための広い会場での実施など感染対策を徹底していますが、市民が安心して受診できる環境づくりのほか、総合健診や医療機関での個別健診等受診しやすい体制についても関係機関と検討していく必要があります。</p> <p>予防接種について、有効性と副反応などリスクを市民へのわかりやすく周知していく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価		評 価 の 理 由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	特定・基本健診及びがん検診では、目標値まで至りませんでした。予防接種では、達成できた指標項目が多く、重症化を防止することができたと評価しました。	
イ	貢 献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	基本健診・がん検診事業や新型コロナワクチン接種を含めた予防接種事業は、疾病の重症化予防には優先して取り組むべき事業であり、貢献度は高いと評価しました。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の 方向性	病気の予防、早期発見及び重症化の防止は、予防接種や健診を受診し健康状態を知ることから始まります。そのため、医療機関での個別健診・総合健診など、受けやすい体制を整える必要があります。また、健診データをもとに個別の健康相談や市の健康課題を分かりやすく、市民へ情報提供を行っていく必要があります。					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価		評 価 の 理 由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	各種がん検診の受診率や成果指標が目標値に達しなかったため「やや低い」と評価した。	
イ	貢 献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の 方向性	保健師の積極的な訪問などを通じ、各種がん検診の受診率向上に努めること。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	関 祐樹
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	関係 課	企画政策課	地域創生課
施策名	1号 子育て支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、すべての保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられるよう、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。

妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターと子育て世代包括支援センターとの連携を強化し、情報の発信と相談・支援体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
36	○	男女共同参画事業	73	166					低い	C
		企画政策課								
		事業の取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。							
47	○	うおぬま出会いサポート事業	695	2,975					やや低い	A
		地域創生課								
		事業の取組内容	婚活イベント、結婚セミナー、結婚サポーター研修等を実施する。							
139	○	ひとり親家庭等医療費助成事業	15,449	17,423					やや高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	ひとり親世帯の保険診療の自己負担金の一部（児童は全額）を助成する。							
172	○	要保護児童相談・支援事業	2,669	5,985					やや高い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	要保護児童及び要支援妊婦相談支援の実施等により児童虐待の防止を図る。							
194	○	母子健康相談・教育事業	3,339	3,939					やや高い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	妊娠期から幼児期に関する正しい知識の普及、発達段階に応じた子育て教室等を実施する。							
195	○	乳児家庭全戸訪問事業	394	691					やや高い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	生後4ヶ月までに訪問し、子育て支援の情報提供と養育環境の把握を行う。							
196	○	妊産婦医療費助成事業	9,114	10,854					高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	妊産婦の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。							
197	○	妊産婦・新生児訪問事業	1,041	1,511					やや高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	助産師等による新生児と産婦訪問を実施する。							
198	○	不妊・不育治療費助成事業	3,236	4,450					高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	不妊・不育治療に要する費用の一部を助成する。							
199	○	妊婦健診助成事業	17,468	28,163					やや高い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	妊婦健診について、一人当たり16回分を助成する。							

事業No.	重点事業	事業名 (上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課 (下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
200	○	子ども医療費助成事業 子ども課		87,689	94,885					やや高い	A
		事業の 取組内容	児童の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。								
201	○	乳幼児健診事業 子ども課		6,301	8,774					やや高い	B
		事業の 取組内容	法定以外にも健診の機会を設け、疾病予防や育児相談を行う。								
511		産後ケア事業 子ども課		32	-					やや高い	B
		事業の 取組内容	出産直後の母子に対する保健指導、育児相談及び指導を行う。								
512	○	産婦健診助成事業 子ども課		780	-					やや高い	B
		事業の 取組内容	産後1か月の産婦に対する健診費用を助成する。								
515	○	子育て世代包括支援センター管理事業 子ども課		399	6,898					高い	A
		事業の 取組内容	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。								
518	○	養育支援訪問事業 子ども課		481	-					やや高い	B
		事業の 取組内容	保健師等が家庭訪問により、養育に関する指導や助言等を行う。また、ヘルパー等による育児や家事等の支援を行う。								

4-1. 成果指標の達成状況 (※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績			
1	子育てが楽しいと感じる人の割合		4か月 89.2 (R1調査)	目標値	91	92	93	94	95	5ポイント増加	%
	4か月児健診時のアンケート調査での割合			実績値	95.8						
2	子育てが楽しいと感じる人の割合		1歳6か月 84.9 (R1調査)	目標値	86	87	88	89	90	5ポイント増加	%
	1歳6か月児健診時のアンケート調査での割合			実績値	87						
3	子育てが楽しいと感じる人の割合		3歳児 82.5 (R1調査)	目標値	83.5	84.5	85.5	86.5	87.5	5ポイント増加	%
	3歳児健診時のアンケート調査での割合			実績値	82.2						
4	ハッピー・パートナー企業登録数		12 (R1実績)	目標値	16	19	22	26	30	30	社
				実績値	13						
				達成率	81%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>妊娠期から幼児期までの育児不安解消のため、妊産婦を対象とした教室や産後ケアを行い、正しい子育て知識の普及を図るとともに、子に対しては新生児訪問から乳幼児健診等を通じ、健康管理や発達相談等を定期的に行い、健診等を受けていない家庭については個別に連絡し受診を勧めるなど、金銭的な支援も含め、細やかな対応を行いながら、保育園等の入所につなげています。</p> <p>このような支援を継続することで、子育てが楽しいと感じる人の割合について、4か月児、1歳6か月児の時点では、前年度実績を上回る成果が出ています。</p>
課 題	<p>育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないようにするためには、きめ細かい検診や教室等を行うことも大切ですが、子育てに関しての相談が気軽にできる身近な相談窓口の存在と、相談を受けた際の適切な助言や支援が重要です。現在も各課等において連携を強化し、情報の発信と相談・支援体制の充実に努めていますが、これまで以上の取組が必要であり、市内に住所を有する全ての子ども及びその家族並びに妊産婦を対象に、相談や連絡調整・指導などの総合的な支援の機能を持った「子ども家庭総合支援拠点」を、令和4年度から子育て支援センターに置くことで、相談窓口の一元化と総合的な支援体制の強化を図っていきます。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>成果指標のうち、子育てが楽しいと感じる人の割合の上昇がみられるものの、全項目までに至っていないことから、「やや高い」と評価しました。</p>
イ	貢 献 度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>各事業において「高い」、「やや高い」が多数ですが、今後は更なる事業間の連携構築が必要と考え、やや高いと評価しました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の機能は維持した上で、国の新たな動向に注視しながら、すべての妊産婦、子育て支援、子どもへの一体的に相談支援を行う体制の充実に努めていきます。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢 献 度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>移住・定住と結びつけるために、対外的なPRに関する取組も進めること。</p>		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	1 貧困をなくそう 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう
------------------	------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課 関係 課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	関 祐樹
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築			
施策名	2号 子育て環境の充実			

2. 施策目的(目指すすがた)

保護者の就業状況など社会の変化による保育ニーズの多様化に対応するため、多面的な保育サービスの提供や、公立保育園の運営のあり方について検討します。
乳児期から健やかな発達を支援するため、子育て支援センターや子育て駅かたつくりの体制整備や施策の充実に加え、保護者や地域が共に学び、育ち、支え合えるよう情報提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
142		児童福祉施設整備事業 子ども課	9,735	86,625					高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。							
169		地域療育支援事業 子ども課	8,782	11,952					やや高い	A
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。							
173	○	子ども・子育て支援事業 子ども課	1,084	1,084					やや高い	A
		事業の取組内容	子ども・子育て新制度の推進に向けて計画策定、進捗管理を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	ファミリーサポートセンター会員数	30 (R1調査)	目標値	40	50	60	70	70	人
			実績値	67					
			達成率	167.5%	%	%	%		
2	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合(4か月健診)	96.9 (R1調査)	目標値	97.5	98	98.5	99	100	%
			実績値	93.4					
			達成率	95.8%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>魚沼市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育サービスの提供や公立保育園運営を行ってきました。また、魚沼市児童福祉施設長寿命化計画を令和3年度に策定し、長寿命化及び解体を含めた施設の再編を進める道筋ができました。</p> <p>地域で支える子育て環境については、ファミリー・サポート・センター会員数が大幅に増加するとともに依頼件数も増加したことで、子育て環境の充実につながりました。</p>
課題	<p>ファミリー・サポート・センターの会員数は大幅に増加しているものの、多くは依頼会員であり、提供会員数は伸び悩んでおり、今後希望しても受け取ってもらえない状況が懸念されることから、提供会員の増加に向けた取組を加速させていく必要があります。</p> <p>また、地域における子育てサークルは現在市内に3団体あり、子育てサポーターの派遣などの支援を行っていますが、子どもの減少等により活動も活発とはいえない状況であることから、今後の支援体制等について検討を行っていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度	高い やや高い やや低い 低い	高い	成果指標は目標を大きく上回っており、保育サービスも予定どおり進んでいることから、高いと評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施策の成果は出ていますが、更なる子育て環境の充実に向けて、既存事業を含めたなかでの取組事業を増やしていく必要があると考え、やや高いと評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	
今後の方向性	更なる子育て環境の充実に向けて、保育ニーズの把握を更に行いながら、既存事業を含めたなかでの取組メニューを増やしていく必要があります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
L
S

3
すべての人に
健康と福祉を

11
住み続けられる
まちづくりを

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当課	部課名	市民福祉部 福祉支援課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名	戸田 千穂子	
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係課	介護福祉課	
施策名	1号 すべての市民が自立できる環境の構築			

2. 施策目的(目指すすがた)

障害のある人が、住み慣れた地域の中で、自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、相談体制を強化するとともに、一人ひとりに合った適切な福祉サービスの提供や、地域生活支援拠点等の整備をすすめます。
また、地域における自立と社会参加の実現に向けて、市民一人ひとりが相互に尊重し支え合い、障害のある人もない人も安心して暮らせるよう地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
104		精神障害者医療費助成事業 福祉支援課	28,900	28,200					やや高い	A
		事業の取組内容	精神障害(児)者の医療費の一部を助成し、疾病の早期治療及び発病の予防を促進する							
116	○	地域生活支援事業 福祉支援課	97,393	110,610					やや高い	B
		事業の取組内容	障害者等の総合的な相談業務、権利擁護、日常生活用具の給付、障害福祉サービス(訪問入浴、日中一時支援等)の給付等の事業							
129	○	高齢者生活支援事業 介護福祉課	73,136	63,747					やや高い	B
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	自立し安心して生活できる環境の整備施策の満足度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	40.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	50	50	%
			実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		
2	就労支援により就労した人の数 (生活保護受給者+生活困難者)	3	目標値	4	4	4	5	5	人/年
			実績値	4					
			達成率	100%	%	%	%		
3	就労継続支援事業所における平均月額工賃(B型)	21,118 (R1調査)	目標値	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	円
			実績値	19,397					
			達成率	102.1%	%	%	%		
4	障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思う人の割合 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	20.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	40	40	%
			実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

- ・障害のある人の権利擁護（成年後見制度）に関する講演等を開催し、市民へ広報・啓発を行うことができました。
- ・手話奉仕員講座の継続実施を行い、参加者からはおおむね理解できたという意見をいただきました。

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>精神障害者医療費助成制度の周知を、市内の精神科病院及び医院等へ積極的に行いました。精神科の治療は、長期間にわたる場合が多いため、医療費助成による治療の継続と早期治療を促すことで、障害者の自立支援と社会生活の継続を支援することができたと考えます。</p> <p>障害への理解を深めるための普及啓発事業を実施するほか、障害者本人が地域社会で自立した生活ができるよう就労支援を行い、その家族も安心して社会生活を送ることができるよう、相談支援体制の構築や障害者の特性に応じた障害福祉サービスの提供、生活に必要な用具の給付を行うことができました。</p>
課 題	<p>困難事例が多くなり相談業務体制を強化するとともに、ケースに対応できる人材育成が急がれています。しかし、相談支援専門員などの人材不足が大きな弊害となっています。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 策 成 成 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>令和3年度「地域生活支援拠点等」の一部運用が開始しました。これにより、障害者の緊急時対応や相談支援体制などが整ったため「やや高い」と評価しました。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>いずれも障害のある人が、地域で自立して生活するために必要な事業であり、医療費の助成や障害者の特性に応じた障害福祉サービスの提供、生活に必要な用具の給付などができたことから「やや高い」と評価しました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充 ○</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>「地域生活支援拠点等」の整備について、未設定の項目（専門的人材確保と地域体制づくり）解消に向けて検討を進めます。</p> <p>重層化する相談業務について対応できるような、基幹相談支援センターの設置について検討を進めます。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 策 成 成 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充 ○</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	齊藤 嘉文
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係 課	生活環境課	建設課
施策名	2号 安心して暮らせる公共空間の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害の有無にかかわらず、市民の誰もが安全で快適に暮らすことができる地域社会を実現するため、公共建物のバリアフリー化、交通機関や道路のユニバーサルデザイン化をすすめることにより、全ての人にやさしいまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
39	○	公共交通総合連携事業	114,124	124,087					高い	A
		生活環境課								
		事業の取組内容	路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。							
314		市道整備事業	216,230	251,200					やや高い	B
		建設課								
		事業の取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。							
329		都市計画策定事業	0	8,300					やや高い	B
		都市整備課								
		事業の取組内容	都市計画マスタープランの更新に向け基礎調査等を行う。							
342		公営住宅整備事業	6,582	17,360					やや高い	A
		都市整備課								
		事業の取組内容	建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【段差等】 総合計画市民アンケートより（次回はR6に実施）	目標値	—	—	—	20以下	—	20以下	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		
2	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【経費等】 総合計画市民アンケートより（次回はR6に実施）	目標値	—	—	—	15以下	—	15以下	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

<p>運転免許証の自主返納者に乗合タクシー等の共通回数券を交付することにより自主返納制度の認知度が高まり、運転免許証の自主返納者増加に効果を上げています。</p> <p>【魚沼市乗合タクシー等回数券交付事業】令和3年度交付件数：206件（前年度：191件）</p> <p>指標については、3年ごとに策定する「魚沼市障害者計画」策定時の資料数値を使用するため、3年ごとの実績報告となります。</p>
--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>公共施設では、小出ボランティアセンターにエレベーターを設置したことで、2階の会議室等の利便性が向上しました。</p> <p>また、七日市地内と吉水地内の国県道の歩道整備が進み、歩行者の安全性が向上しました。</p>
課題	<p>誰もが使いやすい公共施設にしていくためには、老朽改修と同時にバリアフリー化も検討する必要があります。</p> <p>また、道路改良においては、段差のない構造にすることはもとより、案内表示においても全ての人に配慮したものとする必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成成果	<p>高い</p> <p>やや高い</p> <p>やや低い</p> <p>低い</p>	<p>やや高い</p> <p>路線バスと乗合タクシーに対する助成により自動車以外の交通手段を維持できました。市道の拡幅、歩道整備により安全な歩行空間を確保できました。</p>
イ	貢献度	<p>高い</p> <p>やや高い</p> <p>やや低い</p> <p>低い</p>	<p>やや高い</p> <p>乗合タクシー及びコミュニティバス（入広瀬地域）の運行によって、少ない移動需要への対応が可能になり、更には交通空白地域の解消によって、高齢者を中心とした生活の足を確保することができました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>（仮称）生涯学習センターについては、全ての人が快適に利用できるように、ユニバーサルデザインの考えのもと整備を進めます。また、今後老朽改修が必要な施設については、高齢者や障がい者も快適に利用できるように、バリアフリー化の検討も行います。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成成果	<p>高い</p> <p>やや高い</p> <p>やや低い</p> <p>低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢献度	<p>高い</p> <p>やや高い</p> <p>やや低い</p> <p>低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
S

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		評価担当課 関係課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	茂野 孝
主要施策	4項	高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築			
施策名	1号	暮らしの支援体制の推進			

2. 施策目的(目指すがた)

住み慣れた地域の中で、高齢者が安心して自分らしい生活を送ることができ、また、介護者の負担も軽減できるようにするため、地域資源を活用した地域ネットワークの整備をすすめ、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスが切れ目なく提供されるよう「地域包括ケアシステム」を推進し、在宅医療と介護の連携強化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
127	○	介護人材確保支援事業 介護福祉課		882	87,035					やや高い	A
		事業の取組内容	介護分野を支える人材育成マネジメントの支援を行う。								
129	○	高齢者生活支援事業 介護福祉課		73,136	63,747					やや高い	B
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う。								
130	○	生きがい活動支援通所事業 介護福祉課		22,271	24,842					やや高い	C
		事業の取組内容	人との交流や日常動作訓練などを通じて、高齢者の生きがい活動と社会参加を促進し、要介護状態になることを予防する。								
介4	○	認知症総合支援事業 介護福祉課		16,500	16,900					やや高い	B
		事業の取組内容	認知症理解のための普及・啓発活動及び発症予防の推進、早期診断・早期対応のための体制整備を行う。								
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業 介護福祉課		9,000	9,600					高い	B
		事業の取組内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。								
介6	○	総合相談支援事業 介護福祉課		78,000	-					やや高い	A
		事業の取組内容	地域包括支援センターを主軸に高齢者やその家族に対する総合的な相談支援を行う。								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3実績					最終目標値	単位
			R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績		
1	地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合 魚沼市地域福祉推進計画策定時のアンケート調査	15.3 (R1調査)	目標値	-	45	-	-	45	%
			実績値	-					
			達成率	%	%	%	%	%	
2	介護予防事業参加者の割合 第1号被保険者のうち、介護予防事業(若トレ等)参加者の割合	6.6 (R1調査)	目標値	8	8.5	9	9.5	10	%
			実績値	5.8					
			達成率	72.5%	%	%	%	%	
3	要介護認定者の割合 介護保険事業状況報告(3月末の第1号被保険者の認定者の割合)	19.0 (R1実績)	目標値	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	%
			実績値	18.7					
			達成率	107%	%	%	%	%	

4	市で実施する介護に関する 入門的研修修了者数	24 (R1現在)	目標値	34	38	42	46	50	50	人
			実績値	36						
	研修修了者数		達成率	105.9%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>介護人材の育成のための研修会を開催し、目標を上回る人数の研修修了者となりました。各種高齢者生活支援サービスの利用者は目標を達成しており、住み慣れた地域での高齢者の生活の維持に寄与しました。</p> <p>生きがい活動支援通所事業は、コロナ禍の影響もあり、利用者が減少傾向にありますが、他者との交流や日常生活訓練等を通じ、利用者の介護予防につなげることができました。</p> <p>支援を要する高齢者に対しては、関係機関と連携し、3か所に設置した地域包括支援センターを中心に必要な支援を実施しました。</p>
課題	<p>高齢化率が上昇している現状に対し、介護人材は不足しているため、新規就業者の人材確保と離職防止を図る必要があります。</p> <p>住み慣れた地域で、高齢者が安心して暮らし続けられるよう高齢者が利用しやすく、地域の実情に合ったサービスを提供していくため、関係機関と連携を密にして取り組んでいく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の 達成 成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するには、介護予防が重要であり、その成果により要介護の認定者の割合が目標を達成したと判断したため、やや高い評価としました。	
イ	貢献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	「地域包括ケアシステム」の推進や在宅医療と介護の連携強化のためには、事務事業の構成は妥当と判断したため、やや高いと評価しました。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				現状維持	
今後の 方向性	<p>今後は、ますます高齢化率の上昇が予測されます。高齢者が安心して住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができるよう「地域包括ケアシステム」を推進していく必要があります。また、要介護状態になった場合でも、安心して暮らせるように、介護人材の確保に積極的に取り組む必要があります。</p>					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の 達成 成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
イ	貢献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				現状維持	
今後の 方向性	特別養護老人ホームの入居待機者解消及び介護人材確保に力を入れ、取組を進めること。					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	茂野 孝
主要施策	4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係 課	生涯学習課	
施策名	2号 高齢者の社会参加の推進			

2. 施策目的（目指すがた）

価値観が多様化する中で、高齢者が社会の重要な一員として、これまで培ってきた高い技術や知識を活かし、生きがいを持って活躍できる場や生涯学習の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
120		シルバー人材センター助成事業	10,300	10,300					やや高い	B
		介護福祉課								
		事業の取組内容	魚沼市シルバー人材センターの活動支援を行う。							
124		老人クラブ助成事業	9,860	10,100					やや高い	B
		介護福祉課								
		事業の取組内容	魚沼市老人クラブ連合会の活動支援を行う。							
444	○	地区公民館講座教室事業	654	3,145					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	各種公民館講座教室、講演会等を開催する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	地域活動に参加している高齢者の割合 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時実施の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	目標値	—	25	—	—	40	40	%
		実績値	—						
		達成率	%	%	%	%			
2	シルバー人材センター会員数	目標値	510	520	530	540	550	550	人
		実績値	463						
		達成率	90.8%	%	%	%			

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>シルバー人材センターや各老人クラブへの助成により、高齢者がこれまで培ってきた経験や技術を活かす場を創出していくことにより、高齢者が多様化する社会の重要な一員として、健康で、生きがいを持ち、生き生きと暮らしていくことのできる仕組みづくりと高齢者の社会参加の推進等に寄与しました。</p>
課題	<p>シルバー人材センターや各老人クラブの活動において、入会者の減少及び会員の高齢化の傾向が生じてきており、今後も定年年齢と年金支給年齢の引上げ等により、ますますその傾向が現れ、各組織において長期的な人材確保と組織運営のあり方について課題が生じてくることが想定されるため、それらを踏まえた市の取組を考えていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 達成 成果 達成 成果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="text-align: center;">やや高い</p>	<p>コロナ禍もありシルバー人材センター会員数は目標の90%にとどまりましたが、意欲的に参加する高齢者は多く、また地域においては「身近な頼れる存在」として高いニーズがあることから「やや高い」と評価しました。</p>
イ	貢献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="text-align: center;">やや高い</p>	<p>シルバー人材センターの各種事業や老人クラブの各種活動によって、高齢者の社会参加、就労支援、生きがいづくりの場が提供されていることから「やや高い」と評価しました。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p style="text-align: center;">○</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の 方向性	<p>シルバー人材センターは、就業機会の確保と会員のスキルアップに積極的に取り組んでおり、高齢者の就労支援と社会参加の推進に果たす役割は非常に大きいことから、引き続き助成を実施していきます。 老人クラブの加入者数は減少傾向にありますが、高齢者の健康づくりやボランティア活動を通じて生きがいづくりにも寄与しており、また、身近な地域コミュニティとしての意義も大きいことから、引き続き助成を実施していきます。</p>		

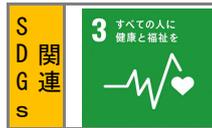
7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 達成 成果 達成 成果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="text-align: center;">やや高い</p>	<p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="text-align: center;">やや高い</p>	<p>一次評価のとおり。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p style="text-align: center;">○</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の 方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	岡部 忍
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係 課		
施策名	1号 健康管理システムの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が地域で安心して暮らし続けられ、初期医療から高度医療まで、地域内で対応できるよう魚沼基幹病院及び市内診療所との連携の強化を図ります。
医療機関等がそれぞれの役割を分担するなかで、病院、診療所及び在宅医療・在宅介護に関わる職種間での連携や患者情報を共有し、必要な医療及び介護へスムーズにつなげるため「うおぬま・米ねっと」の加入促進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
189	○	地域医療対策事業	355	50,554					高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	基幹病院を含めた市内医療提供体制の満足度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	75	—	75	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		
2	うおぬま・米ねっと 加入率	目標値	30	35	40	45	60	60	%
		実績値	37						
		達成率	123.3%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	「うおぬま・米ねっと」については、医療機関と介護施設との連携が本格的に始まったことにより、介護サービス利用者の加入が増えたことから加入率が伸びています。
課題	地域包括ケアの充実のためには、医療、介護の連携を進める必要があります。うおぬま・米ねっとは医療機関と介護施設が利用者の情報を共有できる重要なツールであることから、さらに加入を進める必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	高い	医療、介護の連携が進み加入率が目標を達成していることから「高い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	うおぬま米ねっとの活用で医療、介護の連携が進んでいることや、地域完結型医療の推進により、市内診療所、小出病院、魚沼基幹病院との連携強化が図られていることから、「高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	限られた資源で効果的な医療を提供するため、地域内の診療所及び病院がそれぞれの役割を分担しながら連携し、急性期から回復期までを地域全体で支える体制づくりを進める中で、今後、在宅医療の需要が増えることが予測されることから、医療、介護の連携をさらに進め、地域包括ケアシステムの実現に向けた医療体制の整備が必要です。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	岡部 忍
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係 課	介護福祉課	
施策名	2号 医療資源の育成			

2. 施策目的(目指すすがた)

医師・看護師などの地域内に不足する医療資源を充実させるため、修学資金の貸与事業を継続するほか、小出病院地域医療教育・研修センター、地域医療魚沼学校と連携し医療従事者の育成に取り組みます。
医療及び介護サービス資源の把握や課題等を共有し、住み慣れた地域で生活できる在宅医療・介護の連携の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
189	○	地域医療対策事業	355	50,554					高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業	9,000	9,600					高い	B
		介護福祉課								
		事業の取組内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明								
1	家庭で血圧を測っている人の割合	34.7 (R1調査)	目標値	—	—	—	40	40	%
	総合計画市民アンケートより(次回はR6に実施)		実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		
2	かかりつけ医がある人の割合	61.9 (R1調査)	目標値	—	—	—	80	80	%
	総合計画市民アンケートより(次回はR6に実施)		実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		
3	市立小出病院の常勤医師人数	9 (R1現在)	目標値	9	9	9	9	9	人
			実績値	9					
			達成率	100%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>在宅医療と介護を一体的に提供するために、ワーキングチームによる課題の抽出と対応策についての検討や医療機関や介護事業所等の多職種連携研修や事例検討会を行いました。これにより関係者間での情報共有が図られました。また、市民に対しても、講演会や講座を開催することで普及啓発に努めています。</p> <p>医師等修学資金貸与者数については、近隣の学校訪問を行ったことにより新たに7人に対しての貸与を開始することで、未来の医療人材の確保に向けて前進しています。</p>
課題	<p>医療機関及び介護施設の関係機関との連携は取れてきていますが、市民への普及啓発が不足しています。</p> <p>看護師確保においては、修学資金貸与者が看護学校等を卒業することにより一定数確保ができていますが、返還債務免除後も働き続けてもらえるよう魅力ある環境づくりやキャリアアップ等の方策を魚沼市医療公社とともに取り組んでいく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	多職種連携研修や、講演会や講座を開催し、市民への普及啓発に努めました。また小出病院の常勤医師を最低限確保できていることから「やや高い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	限られた医療資源のなかで、医療と介護の連携を図り、効率的にサービスが提供できるよう取り組んでいるため施策に貢献しています。また将来のための医療従事者の育成、確保は地域医療の継続につながることから施策に貢献しており「高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。			改善・見直し	
今後の方向性	<p>今後さらに高齢化が進み在宅医療の需要が増えていく見込みであることから、小出病院を拠点とした地域包括ケアシステム作り及び多職種連携は継続して取り組む必要があります。また医療資源の充実については引き続き医療人材の確保を継続するほかICTの活用も積極的に取り組む必要があります。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。			改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

2 自然を
中心に

3 持続可能な
健康と福祉を

6 気候変動に
適応する

11 自然環境の
保全を図る

12 資源の
有効利用

14 海の豊かさ
を増やす

15 陸の豊かさを
保つ

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 農政課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	関係課	担当課長名	大羽賀 勤
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興		地域創生課	企画政策課
施策名	1号 新たな特産品づくり、ブランド化の推進			

2. 施策目的 (目指すがた)

本市には魚沼産コシヒカリや山菜をはじめとした豊かな農林水産物や魅力ある食文化があります。これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりをすすめ、食のまちづくりの推進により魚沼ブランドの積極的な情報発信や高付加価値化を図り、販路の開拓及び拡大に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名 (上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課 (下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
46	○	ふるさと結基金事業 地域創生課		1,439,761	1,113,719					高い	S
		事業の 取組内容		ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。							
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業 企画政策課		2,891	5,727					やや低い	B
		事業の 取組内容		「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。							
245	○	農産物ブランド力強化事業 農政課		5,609	15,972					やや高い	B
		事業の 取組内容		地産地消の啓発、魚沼ブランド推奨品の普及、6次産業化支援、販路拡大支援を行う。							
256	○	畜産振興事業 農政課		2,434	2,487					やや低い	B
		事業の 取組内容		臭気対策支援を行うと共に、家畜診療所の運営費助成、関係機関等の連絡調整を行う。							
284	○	錦鯉生産流通活性化事業 農政課		377	377					やや高い	B
		事業の 取組内容		品評会などの支援を行い、錦鯉生産の振興を推進する。							
		事業の 取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況 (※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	魚沼ブランド推奨品の数		目標値	60	60	65	65	70	70	品
			実績値	68						
			達成率	113.3%	%	%	%	%		
2	市内直売所年間販売額 市内直売所の年間販売額		目標値	216,000	223,250	230,500	237,750	245,000	245,000	千円/年
			実績値	210,987						
			達成率	97.7%	%	%	%	%		
3	ふるさと納税額 寄附金額		目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円/年
			実績値	2,806,187						
			達成率	133.6%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>コロナ禍による事業実施制限がある中、ブランド力向上のため、ふるさと結基金事業では、専用サイトを3サイトから5サイトに増やし広く寄附を募ったことや、県外の物販への出店をはじめ、郷土料理伝承レシピ動画の作成、ブランド農産物等の新たな認定制度を構築するためプレミアム認定協議会の立ち上げ準備、J A と共に令和4年度に付加価値米の取り組みを行うための準備を進めました。</p>
課題	<p>魅力ある農林水産物等地域資源を活用した特産品づくりをすすめるため、プレミアム認定協議会による魚沼産コシヒカリ食味コンテストの開催やプレミアム製品の認定、付加価値米への取組みなどを通じ、ふるさと納税、効果的な物販等イベントへの参加により、より積極的な情報発信と高付加価値化を図り販路の開拓及び拡大に取り組む必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の達成成果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p>	高い やや高い やや低い 低い	高い	<p>ブランド推奨品数及びふるさと納税額においては、目標を達成するとともに、直売所年間販売額は、目標に近い実績となっています。</p>	
イ	貢献度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p>	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	<p>豊かな農林水産物や魅力ある食文化、これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりを進めるうえで、各事業が成果を発揮し貢献していると言えます。</p>	
総合評価	<p>目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。</p>				拡充	○
	<p>目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。</p>				現状維持	
今後の方向性	<p>引き続き、魅力ある農林水産物等地域資源を活用した特産品づくりをすすめ、食のまちづくりの推進により積極的な情報発信と高付加価値化を図り、新たな制度の構築と併せてPRを行い、販路の開拓及び拡大に取り組めます。</p>					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の達成成果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p>	高い やや高い やや低い 低い	高い	<p>一次評価のとおり。</p>	
イ	貢献度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p>	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	<p>一次評価のとおり。</p>	
総合評価	<p>目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。</p>				拡充	○
	<p>目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。</p>				現状維持	
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度		区分	事後(決算)
------	--	----	--------

S
D
G
S
関連

8
働きがいも
経済成長も

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名	吉田 英樹	
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興	関係課	農林整備課	
施策名	2号 新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の豊富な食材、森林資源、雪や水などの資源を活用した新製品の開発や新技術の確立、新分野への進出や新産業の創出に向けた企業の取組を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
276	○	魚沼市産材活用促進事業 農林整備課	15,240	22,224					やや高い	B
		事業の 取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
288	○	地域産業活性化事業 商工課	4,860	12,826					やや高い	B
		事業の 取組内容	産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績			
1	新製品の開発支援事業による 事業化件数	5 (H28~R1累 計)	目標値	2	4	6	8	10	10 (R3~R7累計)	件
			実績値	2						
			達成率	100.0%	%	%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>昨年度はコロナ禍により自粛傾向が強かったものの、業種、企業によっては徐々に活動意欲も高まりを見せ、建設業では近年実績のなかった「産業技術支援事業」で1件採択することができ、企業の生産性向上に繋がりました。また、複数の地元産の木材を組み合わせた椅子を魚沼ブランド推奨品に登録し、新たな商品開発への取組の支援に貢献できました。</p>
課 題	<p>新製品・新技術開発は競争力強化に必要不可欠ですが、コロナ禍を差し引いても利用実績が低迷しており、要件の見直しが必要と思われます。また、新製品開発や新技術の確立が企業業績に結び付いていくことが次の開発に繋がるという好循環を生んでいけるよう企業への聞き取りを強化したいと考えます。</p> <p>市産材を活用した木製什器や玩具について、魚沼ブランド推奨品への登録やふるさと納税返礼品に出品していますが販売実績が伸びないため、販路拡大に向けてのさらなる取組が必要です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 達 成 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>新製品の開発支援事業による事業化件数が目標値を達成し、建設業においては近年実績のなかった「産業技術支援事業」で1件採択することができたことから「高い」と評価しました。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>新製品開発や新技術の確立は企業にとってハードルが高いものの、目標達成に向けては企業の主体的な取組を支援することが重要なことから、貢献度は「やや高い」と評価しました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>新たな取組みが企業業績に結び付いていくために何が必要か、個別企業だけでなく市内商工団体を含め聞き取りを強化していくこととします。</p> <p>魚沼市産材の家づくり事業補助金の活用促進や市産材木工製品の販路拡大を進め、地元産木材の消費を促進し地域林業の活性化に繋げていきます。</p>		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 達 成 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	2 県産を ゼロに	4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	-----------------	----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農政課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	大羽賀 勤
主要施策	2項 魅力ある農林業の振興	関係 課	農林整備課	学校教育課
施策名	1号 力強い農業経営の構築と地域農業の活性化			

2. 施策目的（目指すがた）

生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進します。

農産物の品質向上と生産拡大をすすめ、6次産業化、農商工連携、ブランド化により商品開発や販売活動を支援し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。

農村環境と調和した農業生産と食の安全性向上の取組をすすめ、安心安全な農産物の生産と地産地消の取組を推進します。

新たな就農・就業者が、地域で培った技術や経営資産を円滑に事業継承が行えるように、受入体制や経営開始時の負担軽減の支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
241		農林水産業総合振興事業 農政課	7,624	8,000					やや高い	B
		事業の 取組内容	県の事業認定を経て単独事業を実施する団体へ間接的に県補助金を交付する。							
243		中山間地域等直接支払交付金事業 農政課	193,273	195,197					高い	S
		事業の 取組内容	耕作条件の劣る中山間地域の営農活動の維持全般に対して財政支援等を行う。							
244	○	生産調整対策事業 農政課	58,033	73,282					高い	B
		事業の 取組内容	米の生産調整や経営所得安定対策を実施・推進する。							
247		多面的機能支払交付金事業 農政課	180,342	185,883					高い	B
		事業の 取組内容	地域共同による農村環境の保全向上の取組を支援する。							
248	○	人・農地プラン事業 農政課	34,060	10,171					やや高い	B
		事業の 取組内容	農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援する。							
250		経営体育成支援事業 農政課	3,128	3,900					やや高い	A
		事業の 取組内容	人・農地プランに位置づけられた中心経営体の農業用機械等の導入に対し補助を行う。							
251	○	農業者育成支援事業 農政課	14,329	39,652					やや高い	B
		事業の 取組内容	国県補助事業を利用して施設整備を行う農業者等に上乗せ補助を行う。							
254	○	新規就農者援助事業 農政課	1,200	1,500					やや高い	A
		事業の 取組内容	新規就農者に補助金を交付し経営が軌道に乗るまでの間を支援する。							
255		地域バイオマス施設整備事業 農政課	0	40,546					やや高い	B
		事業の 取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。							

259	○	農地農業施設整備事業	87,406	74,600					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の取組内容	農業用施設の整備により生産コストの縮減を図り、持続可能で力強い農業経営の構築を推進する。							
482		学校給食支援事業	3,768	3,986					やや高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。							

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績					最終目標値	単位
			R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績		
1	農業担い手数 認定農業者、認定新規就農者	362 (R1末)	目標値	360	360	360	360	360	経営体
			実績値	326					
			達成率	90.6%	%	%	%		
2	担い手への農地利用集積面積 農地中間管理機構を通じて担い手へ集積した面積	2,404 (R1末)	目標値	2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	ha
			実績値	2,608					
			達成率	96.6%	%	%	%		
3	新規就農者数 新規就農者実態調査に計上される人数	34 (H28～R1累計)	目標値	42	49	56	63	70 (H28～R7累計)	人
			実績値	44					
			達成率	104.8%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	高齢化が進む状況下、中山間地域等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業の活用により営農活動の維持発展と耕作放棄地の増加を抑制することができ、コロナ禍により米価下落が懸念されておりましたが、生産調整対策事業を通じて支援を行ったことにより魚沼産コシヒカリの価格は維持されています。また、人・農地プラン事業により、地域集積協力を活用することによりほ場整備を契機とした農地集積も進んでいます。新規就農者については、人・農地プラン事業の農業次世代人材投資資金の活用や、新規就農者援助事業により、10名が就農しました。
課題	後継者（担い手）不足や高齢化が加速されることが考えられ、耕作放棄地など増加が懸念されることから、営農活動の継続や、新たに農業に取り組む者を絶やさないため、中山間地域等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業の更なる活用や、ほ場整備等による基盤整備を起因とした農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成が必要となります。さらに、地域等において活動している農業に携わる小さな組織等にも目を向け支援することも必要となってきています。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 担い手不足が深刻化する中で、一定程度の農業担い手数を確保し、農地集積も行われています。また、新規就農者についても確保が図れている状況です。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 高齢化による事業継続に課題があるが、担い手数、農地集積、新規就農者数など力強い農業経営の構築と地域農業の活性化のため各事業は有効であると判断しています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
			現状維持
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	引き続き、有効な現行事業を活用し生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。さらには、各地域で活動しているそれぞれの農業経営体、営農組織などの支援拡充を図り魚沼市農業の維持発展に取り組めます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の施策 達成 成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	農業担い手数が大きく減少していることから「やや低い」と評価した。	
イ	貢献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				現状維持	○
今後の 方向性	農業の担い手対策について取組を強化すること。					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	6 安全な水とトイレ を世界中に	8 働きがいも 経済成長も	15 緑の豊かさも つらう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	------------------------	---------------------	---------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	渡辺 一彦
主要施策	2項 魅力ある農林業の振興	関係 課		
施策名	2号 森林・里山を活用した地域の活性化			

2. 施策目的(目指すすがた)

地域産業である林業の活性化と森林・里山の健全化をめざして、地元産木材の需要拡大と低質材の有効活用及び生産基盤の整備による生産コストの縮減を図るとともに、人財の育成及び安定供給体制の整備により雇用の創出、所得の向上を図ります。
また、農林業体験と観光を融合し、交流人口の拡大に向けた取組を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
268		林業振興事業	545	690					やや高い	C
		農林整備課								
		事業の 取組内容	林業及び環境保全のPR等を行い、森林・里山に対する意識を高める。							
270	○	森林整備事業	17,828	36,555					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の 取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。							
271	○	里山整備事業	22,081	26,000					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の 取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
276	○	魚沼市産材活用促進事業	15,240	22,224					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の 取組内容	地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
277	○	魚沼市伝統技能継承支援事業	3,245	5,832					やや高い	B
		農林整備課								
		事業の 取組内容	炭焼き、紙すき、木工の技能の継承希望者に対し、就業に向けた支援を行う。							
280	○	林道整備事業	63,373	46,300					やや高い	A
		農林整備課								
		事業の 取組内容	林道改良・舗装工事、橋梁等の長寿命化により、林業の生産基盤を整備する。							
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績			
1	森林・里山整備新規従事者数の増加	59 (H28~R1累 計)	目標値	64	68	72	76	80	80 (H28~R7累 計)	人
			実績値	69						
			達成率	107.8%	%	%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	森林・里山の健全化を図るため、森林整備事業及び里山整備事業を実施し、指標である新規従事者数については目標値を上回りました。併せて、林道整備事業の実施により林業の生産基盤を整備し、材の搬出作業の効率化を図りました。
課 題	コロナ禍の影響で森林体験イベント等が昨年度は実施できませんでしたが、今後は感染症対策を取りながら実施し、交流人口の拡大に向けた取組を行う必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	森林、里山整備新規従事者数が年々増加し、市民の森林や里山への関心が徐々に高まりつつあるため、成果指標の達成度は「やや高い」と評価しました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地元産材の販路拡大に取り組むことで、木材の需要拡大が図られ、林業の活性化に貢献しています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	地元産材を活用した木工製品等の販路拡大についての検討を進め、需要拡大を図ります。また、林道整備や小規模森林所有者の集約化を促進し、林業の低コスト化や安定供給体制の整備を進め、雇用創出、所得向上を図ります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度		区分	事後(決算)
------	--	----	--------

S
D
G
S
関連

8
働きがいも
経済成長も

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名	吉田 英樹	
主要施策	3項 商工観光業の競争力強化	関係課		
施策名	1号 競争力強化に向けた商工業者への支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

商業においては商店街における賑わい創出による活性化をめざし、地域コミュニティ機能の向上に向けた取組を支援するとともに、製造業においては産学官連携の推進や関係団体との協力体制の強化に向けた活動を支援します。

また、地域のリーダー的な役割を担う人財育成に取り組むとともに、創業や新事業、高度な技術を持つ人財育成を支援します。あわせて、円滑な企業経営、事業承継に必要な資金調達時の負担軽減と相談窓口の充実に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段） 担当課（下段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価		
			決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価	
234	○	企業人材確保・育成支援事業 商工課	9,174	18,025					高い	B	
		事業の取組内容	企業の人材確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。								
288	○	地域産業活性化事業 商工課	4,860	12,826					高い	B	
		事業目的と取組内容	産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。								
289	○	商業活性化事業 商工課	9,083	15,779					やや低い	C	
		事業目的と取組内容	店街販売促進イベント助成、アーケード改修助成、個店魅力向上セミナーを実施する。								
290		金融対策事業 商工課	339,164	272,515					やや高い	C	
		事業目的と取組内容	市内中小企業者の経営基盤の安定化を支援し、比較的低金利の制度融資と信用保証料補給の実施する。								
		事業目的と取組内容									
		事業目的と取組内容									
		事業目的と取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	製造業付加価値額	20,809 (H30実績)	目標値	20,934	21,060	21,186	21,313	21,440	21,433 (3%増)	百万円
			実績値	22,299						
			達成率	106.5%	%	%	%	%		
2	製造品出荷額等	52,280 (H30実績)	目標値	52,860	53,441	54,022	54,603	55,184	55,184	百万円
			実績値	56,477						
			達成率	106.8%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>コロナ禍で疲弊する市内商店等の消費拡大に向けて、うおぬまポイントカード会や各商店街が実施するイベント等を支援し、商工団体への支援を行いました。</p> <p>包括連携協定を締結している新潟工科大学及び（一社）魚沼ものづくり振興協議会と定期的な打合せを行い、将来の人財確保に向けた取組など産官学連携の協力体制の強化を図ることができました。</p>
課題	<p>商店街の賑わい創出には、うおぬまポイントカード会加盟店での利用者の拡大が必要ですが、利用できる加盟店が少ないことから加盟店増加に向けて検討、協議をしていく必要があります。</p> <p>新製品・新技術の開発は競争力強化に必要不可欠ですが、それらを支援する産業活性化支援事業の利用実績が低迷しており、事業者ニーズの把握及び制度の見直しを含めた検討が必要です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の施策達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	現行施策を継続して行うことで、広く市内企業に対し支援してきた結果が、成果指標の数値に表れていているものと考え、目標をおおむね達成していると評価しました。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	現行施策の利用実績は概ね堅調に推移しており、市内企業の景況回復の後押しとして機能していることから、構成事務事業は妥当であり貢献度は「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	現行制度を継続しつつも日々変化する状況の中で国県等の制度も注視しながら、支援のあり方について各企業や市内商工団体からの聞き取りを強化し、支援の見直しを含め検討していくこととします。					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の施策達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G 連 結	4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう
-----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	------------------------	---------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 観光課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	鈴木 智博
主要施策	3項 商工観光業の競争力強化	関係 課	生涯学習課	
施策名	2号 地域資源を最大限に活かした観光の振興			

2. 施策目的(目指すすがた)

尾瀬・奥只見をはじめとした魚沼の自然を活かした体験型観光や外国人観光客などの誘客促進に向けた体制整備、友好都市との交流、来訪者をおもてなしする人財の育成などを推進し、地域資源を最大限に活かした観光をめざして観光の振興を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
301	○	誘客宣伝事業 観光課	93,733	89,455					やや高い	B
		事業の 取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。							
302	○	体験型観光推進事業 観光課	20,521	22,326					やや高い	B
		事業の 取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。							
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業 生涯学習課	0	1,090					やや高い	B
		事業の 取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績			
1	観光客の入込数	1,645,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	人/年	
			実績値	1,174,284						
			達成率	71.2%	%	%	%			%
2	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	人/年	
			実績値	7,092						
			達成率	72.4%	%	%	%			%
3	観光ガイド利用者数	2,026 (R1実績)	目標値	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	人/年	
			実績値	1,611						
			達成率	57.5%	%	%	%			%
4	宿泊者数	176,612 (R1実績)	目標値	145,000	158,250	171,500	184,750	198,000	人/年	
			実績値	108,424						
			達成率	74.8%	%	%	%			%

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>受入体制の強化としては、教育旅行の受入主体である「魚沼市地域づくり振興公社」と誘客PRに強みを持つ「魚沼市観光協会」が統合に向けた調整が進みました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響があるなかでも、地域資源の活用につながる各種誘客キャンペーン等を実施したことや、春から秋にかけての自然景観（雪流れ・雪上桜・滝雲）への観光客が増加したことにより、入込数等で目標の約7割を達成することができました。</p>
課題	<p>紅葉時期に観光入込数は伸びるものの日帰客が中心であったり、尾瀬に来訪するも本市は通過点であるケースも多くあり、地域経済への波及効果は薄いものとなっています。</p> <p>単なる自然景観の鑑賞に留まらず、宿泊や食事、お土産購入など、周辺観光等により滞在時間を増やし観光消費を生み出す必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

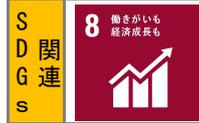
評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	観光協会と地域づくり振興公社の統合に向けた調整により、誘客と受入の体制強化が図ることができました。また、コロナ禍で行動制限がある中でも、ある程度の成果指標が達成できました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	コロナ禍で行動制限がある中でも、春から秋にかけての自然景観への観光客が増加したことから、地域資源を活かした観光振興に貢献できたと判断し、「やや高い」と評価しました。
総合評価			拡充	
			現状維持	○
				改善・見直し
今後の方向性	<p>目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。</p> <p>魚沼市観光振興計画により、受入人数に限りのある本市の目指すべき観光は「量」でなく「質」であることを観光関係者で共有し、地域消費を増加させる「滞在志向」・「リピート志向」をメインターゲットに据えた、戦略的な事業を展開します。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	コロナ禍とはいえ、令和3年度の目標値に大幅に届かなかったため「やや低い」と評価した。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価			拡充	
			現状維持	○
				改善・見直し
今後の方向性	<p>アフターコロナを見据えた取組を今後加速させていくこと。</p>			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	産業	評価担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名	吉田 英樹	
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施策名	1号 起業の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

起業や新分野進出にチャレンジしやすい環境を整備するため、相談窓口の充実に努めるとともに、国県等の支援制度についても積極的に情報提供や活用支援を行い、商工会や金融機関等と連携しながら、起業の支援に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
295	○	新規起業・事業承継支援事業 商工課	2,280	5,033					やや高い	B
		事業の取組内容	新規起業から事業承継まで一貫して事業者の持続可能な経済活動を支援し、新規起業、事業承継セミナー等の実施、補助金の交付を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
	指標の説明		実績	実績	実績	実績				
1	新規起業支援事業による 起業件数	22 (R1実績)	目標値	27	32	38	44	50	50	件
			実績値	27						
	H25からの累計		達成率	100%	%	%	%	%		
2	新規起業支援事業による 就業者数	40 (R1実績)	目標値	52	64	76	88	100	100	人
			実績値	45						
	H25からの累計		達成率	86.5%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	新規起業数は創業塾や個別相談会開催のタイミングにより年度間のバラツキがあるものの、市内商工会と連携しながら起業希望者へのフォローを行い、コロナ禍でもゼロになることなく継続して起業者を出すことができました。
課題	起業したいタイミングが制度利用要件と合致しない状況が見受けられ、単独で起業する未利用者がいることから、要件の見直しを含め検討する必要があります。また、起業後のフォローアップについて、これまでも課題として認識しつつ、コロナ禍で休業状態にある対象者もおり進展していません。起業は全て個人経営で、雇用を生み出していないことが課題です。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	創業塾や個別相談会を開催したほか市内商工会等と連携した支援を行うことで、指標に達しないものの継続して起業者を出していることから「やや高い」と評価しました。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	創業塾の開催時期など検討を要する部分はあるものの、市内商工会等と連携した取組など、目標達成に向けて貢献度は「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	施策の効果を高めるために、商工会等と連携し起業希望者の初期の相談時から情報共有を図り、相談体制を構築し創業に結び付けていくとともに、起業後のフォローアップなどの支援体制を検討していく必要があります。			改善・見直し	○

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	新規起業件数は令和3年度の目標に達したものの、就業者数は令和元年度実績から12人の増を目指したところ5人の増で留まり、半分に満たなかったことから「やや低い」と評価した。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	新規創業に加え、事業承継を含めた取組を進めること。			改善・見直し	○

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	----------------------	------------------------	---------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	吉田 英樹
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係 課		
施策名	2号 定住人口確保のための取組の強化			

2. 施策目的(目指すすがた)

定住人口を増やすためには、雇用の場の確保と市内企業の周知が重要です。事業者への各種支援策の拡充に努めるとともに、市内への就職希望者に対して、市が主催する就職相談会等の開催や、ハローワークとの連携による職業紹介の取組をすすめることにより、定住人口の確保に努めます。また、次世代を担う若者の本市への定着に向け、市内小中高校及び企業等と連携しキャリア教育の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
233	○	雇用対策事業 商工課	61,103	82,555					高い	A
		事業の 取組内容	就職活動等を行う新規学卒者及びU・Iターナー者等に対する支援や中高生に対するキャリア教育等を実施する。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	実績		実績	実績	実績	実績			
1	市企業ガイドブック掲載企業(57社)で 新卒・中途採用があった企業数	38 (R1実績)	目標値	57	57	57	57	57	社
			実績値	43					
			達成率	75.4%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>コロナ禍であったものの、南魚沼・魚沼・湯沢就職ガイダンスに加え、市独自でオンラインによる就職説明会を開催し、三条テクノスクールの協力のもと授業の一環として学生が参加したことから、参加者数等目標を大幅に超える成果を得られました。また、若者定住就職奨励金やU・Iターン促進住宅支援事業は、申請者本人だけでなく、事業者側においても制度の認知が進んだこともあり、市内事業所の雇用に結びついています。</p>
課題	<p>令和4年度から若者定住就職奨励金を増額し、企業側の採用意欲及び就職希望者の市内企業選択の動機付けの高まりを期待する一方で、離職や転出防止を図るため、支援後に勤務、生活の中で感じたことなどフォローアップ調査を行い、職場定着に向けた施策を考えていく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	<p>達成成果の</p> <p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p>	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="background-color: #ffffcc;">やや高い</p>	<p>ガイドブック掲載企業の中でも事業規模によって毎年度の採用が難しい企業もあるものの、各種施策を活用してもらいコロナ禍からの回復を含め、定住人口の確保に一定程度の成果を得られていると評価しました。</p>
イ	<p>貢献度</p> <p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p>	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="background-color: #ffffcc;">高い</p>	<p>目標達成に向けて、企業向け、求職者向けに様々な支援策を講じることで、市内企業の人材確保ひいては定住人口確保に繋がっていることから、貢献度は「高い」と評価しました。</p>
総合評価	<p>目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。</p>		<p>拡充</p>
	<p>目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。</p>		<p>現状維持</p> <p style="text-align: center;">○</p>
今後の方向性	<p>市内商工団体やガイドブック掲載企業からのヒアリングを通じて、支援制度のあり方を常に検討しつつ、現行施策を推進していくものとします。</p>		

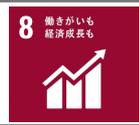
7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	<p>の達成成果</p> <p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p>	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="background-color: #ffffcc;">やや低い</p>	<p>指標が目標値に届かなかったことから「やや低い」と評価した。</p>
イ	<p>貢献度</p> <p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p>	<p>高い やや高い やや低い 低い</p> <p style="background-color: #ffffcc;">高い</p>	<p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	<p>目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。</p>		<p>拡充</p>
	<p>目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。</p>		<p>現状維持</p> <p style="text-align: center;">○</p>
今後の方向性	<p>発信、周知方法を工夫するなど、首都圏から人を呼べるよう事業に取り組むこと。</p>		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	産業	評価担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名	吉田 英樹	
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施策名	3号 戦略的な人財確保・企業誘致の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

本市の豊かで良質な水など、地域資源を活用した産業おこしをすすめます。あらゆるネットワークを活用し、重点的に企業誘致活動を行っている食品・健康・医療・環境ビジネス分野での広がりをめざして、地域の特性を活かすことのできる優良企業の立地に向けて、県や関係団体と連携しながら戦略的な企業誘致活動を展開します。

また、地域産業の人財確保に向けて、新卒者の確保とU・I・Jターン者の増加に向けた取組の強化を移住定住施策と一体となって取り組み、働きやすい職場環境等、企業の魅力向上の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
234	○	企業人財確保・育成支援事業 商工課	9,174	18,025					やや高い	B
		事業の取組内容	企業の人財確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。							
291	○	企業誘致対策事業 商工課	45,662	92,865					高い	B
		事業の取組内容	立地促進補助金の交付、企業誘致推進員の配置を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	水の郷工場団地及び旧湯之谷 庁舎立地企業の就業者数	209 (R1実績)	目標値	320	350	390	410	440	人
			実績値	288					
			達成率	90%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

企業誘致に向け、市内不動産業者等と連携した空き工場等の有効活用に向けた取組や、コロナ禍で企業への直接訪問が制限される中、ウェブによるオンライン相談会を開催するなど、様々な手法により活動を行ってきました。新たな企業誘致には至らなかったものの、今後につながる誘致活動ができました。

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>水の郷工業団地の残る1区画の売却はできなかったものの、分譲済みの2区画の工場建設支援に取り組む、それぞれ令和4年度と令和5年度に操業開始予定となり、新たな雇用の場の創出につながりました。</p> <p>新卒者の確保とU・I・Jターン者の増加に向けて、若者定住就職奨励金やU・Iターン促進住宅支援事業などの制度のほか、事業者側へも支援制度による企業の魅力向上の取組をすすめてきた結果、令和2年度より申請件数が伸び、市内事業所の人財確保につながることができました。</p>
課 題	<p>新型コロナウイルスの影響に加え、ロシア・ウクライナ情勢による先行き不透明感が強まり、企業側が新たな設備投資に慎重になっており、企業誘致は困難を極めますが、粘り強く交渉を継続していく必要があります。</p> <p>新卒者及びU・I・Jターン者の確保に向けて、移住定住施策と一体となった取組を強化するとともに、将来の人財確保に向けて、子どもたちへのキャリア教育を関係団体等と連携し推進していく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 策 成 成 度 果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや高い</p> <p>目標値には届かなかったものの、今後の雇用の場の創出となる企業支援を行うことができたこと及び企業の人材確保につながることができたことから「やや高い」と評価しました。</p>
イ	貢 献 度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>水の郷工業団地進出企業の操業開始や基盤強化に向けた支援及び企業の人材確保に向けた取組を支援することで、新たな雇用の場の創出と企業の人材確保につながることから貢献度は「高い」と評価しました。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の 方向性	水の郷工業団地は区画完売に向け継続交渉を行うとともに、テレワークの普及等社会情勢の変化に対応できるようコワーキングスペースや支援制度の充実、PRに取り組めます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の 施 策 成 成 度 果	<p>施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>やや低い</p> <p>目標値には届かなかったため「やや低い」と評価した。</p>
イ	貢 献 度	<p>施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。</p> <p>高い やや高い やや低い 低い</p>	<p>高い</p> <p>一次評価のとおり。</p>
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		<p>拡 充</p> <p>現状維持</p>
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		<p>改善・見直し</p>
今後の 方向性	企業の人材確保に関して、ニーズ調査や実態に応じた事業の改善を図り、取組を進めること。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	 4 質の高い教育を みんなに	 13 気候変動に 具体的な対策を	 15 陸の豊かさも 守ろう
------------------	--	---	---

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	1項 生涯学び続ける仕組みの充実	関係 課		
施策名	1号 誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実			

2. 施策目的(目指すすがた)

子どもから高齢者までの社会参加や生涯学習を支援し、学習機会の充実を図るため、多様な交流の促進や発表の機会を確保するとともに優れた地域資源の活用を図り、地域課題解決に貢献する人財の発掘を推進します。また、生涯学習関係団体との事業連携を推進するとともに、インターネットなどを活用した効果的な学習情報の提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)		決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
434		生涯学習推進事業		316	1,442					やや高い	C
		生涯学習課									
		事業の取組内容 生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する。									
435		うおぬま市民大学事業		251	676					やや高い	B
		生涯学習課									
		事業の取組内容 年2回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る。									
455		宮柵二記念館運営事業		15,436	15,187					やや高い	B
		生涯学習課									
		事業の取組内容 魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柵二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。									
456		エコ・ミュージアム運営事業		6,047	8,992					やや高い	B
		生涯学習課									
		事業の取組内容 県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。									
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業		0	1,090					やや高い	B
		生涯学習課									
		事業の取組内容 首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	公民館事業、図書館事業の講座の参加者数		目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	人/年
			実績値	2,411						
			達成率	16.1%	%	%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	生涯学習体験ひろばの開催によるステージ発表や作品紹介、サークル体験の実施や活動を紹介する広報紙の発行により、生涯学習団体の学習成果発表の機会と学習情報の発信に貢献しました。また、市民の学びのきっかけと学習意欲向上を目的にうおぬま市民大学では只見線全線開通50周年記念式典事業と連携実施し、より多くの方への学習機会の提供につなげることができました。宮柵二記念館では、ホームページへの講座動画掲載など広報・事業周知に力を入れ、学習機会の充実と来館者数の増加につなげることができました。
課 題	生涯学習関連事業は幅広い分野に関わるため、あらゆる分野の関係団体等と連携や協働を促進していく必要があります。市内の生涯学習団体の中では、会員の高齢化等による減少を理由に活動ができなくなっている団体も増えてきており、対策を講じる必要があります。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第2回うおぬま市民大学講演会の中止等もあったことから、市民が安心して参加できる開催方法を検討し、実施する必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった事業や講座などがあり、参加者数が伸びなかったことから、「やや低い」と評価しました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各事業を通して生涯学習の機会を確保するとともに、取組の成果を広報紙で周知したり、講座の開催状況を動画掲載するなどして、効果的な学習情報の提供を行っているため、「やや高い」としました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
			現状維持	○
目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し
今後の方向性	子どもから高齢者までの生涯学習の普及促進、学習機会提供の充実を図るため、各事業の充実や各分野・団体との連携を推進します。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
			現状維持	○
目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	1項 生涯学び続ける仕組みの充実	関係 課		
施策名	2号 生涯学習推進体制の充実			

2. 施策目的(目指すすがた)

生涯学習の普及促進と、図書館や公民館事業の充実を目的に、市民主体の活動や保育園等と学校を支援し、行政各分野の連携と様々な生涯学習事業の活用など市民ニーズに合わせた生涯学習推進体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
434		生涯学習推進事業	316	1,442					やや低い	C
		生涯学習課								
		事業の取組内容	生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する							
435		うおぬま市民大学事業	251	676					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	年2回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る							
437		青少年教育事業	1,951	別事業と 統合					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	青少年が地域社会の中で健全に成長するために、うおぬまわくわくキッズ事業等を行う。R4年度より同事業と「家庭教育事業」を統合し「学校・家庭・地域の連携協働事業」とする。							
444	○	地区公民館講座教室事業	654	3,145					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	住民の教養向上、生活文化の振興のため、各種講座教室、講演会等を開催する							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	公民館事業、図書館事業の講座の数	142 (R1実績)	目標値	150	150	150	150	150	件/年
			実績値	150					
			達成率	100%	%	%	%		
2	文化協会、生涯学習連絡協議会の加盟団体数	158 (R1実績)	目標値	158	158	158	158	158	団体
			実績値	141					
			達成率	89.2%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	生涯学習体験ひろばの開催によるステージ発表や作品紹介、サークル体験の実施や活動を紹介する広報紙の発行により、生涯学習団体の学習成果発表の機会と学習情報の発信に貢献しました。地区公民館講座教室事業では、コロナ禍での活動の企画や運営を検討し、各団体等との連携・交流を図ることができました。市民の学びのきっかけと学習意欲向上を目的にうおぬま市民大学では只見線全線開通50周年記念式典事業と連携実施し、より多くの方への学習機会の提供につなげることができました。また、学校・家庭・地域の連携協働の推進により、生涯学習成果の活用場として、地域ボランティアなどに関心が高まりつつあります。
課題	生涯学習関連事業は幅広い分野に関わるため、あらゆる分野の関係団体等と連携や協働を促進していく必要があります。市内の生涯学習団体の中では、会員の高齢化等による減少を理由に活動ができなくなっている団体も増えてきており、対策を講じる必要があります。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第2回うおぬま市民大学講演会や各公民館講座等の中止もあったことから、市民が安心して参加できる開催方法を検討し、実施する必要があります。 令和4年度から家庭教育事業と青少年教育事業を統合し新設する「学校・家庭・地域の連携協働事業」については、令和4年度に市内全校で導入となるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）と連携し、活動を推進する必要があります。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	生涯学習関連団体等の数は目標値を上回りましたが、講座の参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった事業などがあり、参加者数が伸びなかったことから、「やや低い」と評価しました。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	公民館講座参加者の満足度について、目標を上回っていることや、生涯学習成果の活用場として、地域ボランティアに関心が高まっていることから、「やや高い」としました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持
今後の方向性	生涯学習の普及促進のために、関係団体との連携が必要ですが、近年会員の高齢化等により、活動できなくなってきた団体もあるため、継続できるための支援等が課題です。 また、市民ニーズに合わせた生涯学習推進体制の充実のため、関係団体とのかかわり方が課題です。		改善・見直し

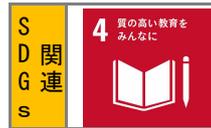
7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持
今後の方向性	一次評価のとおり。		改善・見直し

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	1項 生涯学び続ける仕組みの充実	関係 課		
施策名	3号 効率的・効果的な施設運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効率的な利用と利用しやすい施設運営に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
446		図書館管理運営事業	41,085	43,633					やや高い	C
		生涯学習課								
		事業の取組内容	図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。							
455		宮柵二記念館運営事業	15,436	15,187					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柵二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	社会教育・体育施設の利用者数	356,034 (R1実績)	目標値	360,000	400,000	400,000	400,000	400,000	人/年
			実績値	309,106					
			達成率	85.9%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>堀之内公民館屋上防水等改修工事など、施設の大規模修繕を実施し、利用しやすい施設整備を進めることができました。</p> <p>小出公民館・小出郷福祉センター・小出郷図書館の機能を集約した生涯学習センター（仮称）の建設へ向けて施設の再編計画が進展しました。</p>
課題	<p>施設の老朽化等により大規模修繕が必要な施設が増えていく中で、再編計画に沿った計画的な修繕を進めていく必要があります。</p> <p>効率的・効果的な施設運営を図るため、建設される新施設も踏まえた運営体制の見直しを行う必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設の利用制限などを行ったことから、利用者数は目標に届かなかったため、「やや低い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 社会教育施設の再編及び機能整備を図り効率的に管理するため、老朽施設の解体や、機能を集約した複合施設建設等の計画を進めたことから貢献度は「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充 ○ 現状維持
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	社会教育施設の計画的な再編及び機能整備を図るため、計画した老朽施設の解体及び機能集約した複合施設の建設に着手し、市民が利用しやすい効率的且つ機能的な施設整備に努めます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い 一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充 ○ 現状維持
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
結

1
貧困をなくそう

3
すべての人に健康と福祉を

4
質の高い教育をみんなに

5
ジェンダー平等を実現しよう

10
人や国の不平等をなくそう

17
パートナーシップで目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	関 祐樹
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係 課	企画政策課	地域創生課
施策名	1号 明るくのびのびとした子育て			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・地域・保育園等が一体となり、社会全体で子育てを支えていく機運を醸成し、明るくのびのびとした子育てができるよう支援し、思いやりや挑戦の心を育むとともに、規則正しい生活のリズム、基本的な生活習慣の獲得をめざして乳幼児期の教育の充実を図ります。
また、人や自然と関わり、遊びを通して多くの体験から、好奇心や社会性のある子供に育つよう支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段) 担当課(下段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
			決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
36		男女共同参画事業 企画政策課	73	166					低い	C
		事業の取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。							
169		地域療育支援事業 子ども課	8,782	11,952					やや高い	A
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。							
170	○	子育て支援センター管理運営事業 子ども課	7,416	9,198					やや高い	B
		事業の取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。							
171	○	地域子育て活動支援事業 子ども課	4,148	3,092					やや高い	B
		事業の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。							
514	○	子育ての駅運営事業 地域創生課	15,368	26,011					高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたつくりの管理運営を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	生活習慣がきちんと整っている子どもの率 保育園等在園児の保護者へのアンケート調査	目標値	90	90	95	95	95	95	%
		実績値	87.9						
		達成率	97.7%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>子育て支援センターでの親子ふれあい広場や各保育園での園開放及び子育ての駅かたっくりなどの施設開放を通じ、親子が楽しんだりリフレッシュしたりすることで、明るくのびのびした子育ての広がりにも貢献しています。</p> <p>また子育て支援センターやファミリー・サポート・センターで相談された際は、保育士等から生活習慣についての助言もするなど、生活面での支援も行っています。</p>
課題	<p>地域全体で子育てを支えていくためには、地域における保育人材の確保が重要ですが、そのためには研修や養成講座をはじめとした人材をどのように確保していくかが課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	<p>成果指標は目標値に達していないため、「やや低い」と評価しましたが、施策を構成する事業以外にも本施策の成果に関わる事業があることから、そういった事業と更に連携した取組が必要と考えます。</p>
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	<p>子育て支援センターで行う各事業においては、教室や育児相談等で保護者等に生活習慣に関する助言や指導も行っているなかで、事業評価の貢献度が「やや高い」となっていることから、「やや高い」と評価しました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	<p>社会全体で子育てを支えていく機運を醸成しながら乳幼児期の教育の充実を図っていくためには、構成事務事業以外の取組とも連携協調していくとともに、地域における保育人材確保のための研修や養成講座等への取組をさらに進めていきます。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	<p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	<p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	関 祐樹
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係 課	生涯学習課	
施策名	2号 乳幼児教育の仕組みづくり			

2. 施策目的（目指すすがた）

乳幼児期の相談支援、子育てサークル支援、親子の交流の場の提供などを行い、子どもの個々の発展に即した支援に努めます。
 保育園等と学校が連携し、情報共有することによって、切れ目のない支援と保育・教育の質の向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
170	○	子育て支援センター管理運営事業	7,416	9,198					やや高い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。							
171	○	地域子育て活動支援事業	4,148	3,092					やや低い	B
		子ども課								
		事業の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。							
436		家庭教育事業	401	3,968					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	子ども育み講座、ありがとう作文、PTA保護者会学習支援等の各種事業を実施する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	子育て相談窓口利用者数 子育て世代包括支援センターや子育て支援センター及び各保育園等の子育て相談窓口利用者数	目標値	160	180	200	200	200	200	人/年
		実績値	311						
		達成率	194.4%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>子育て支援センターや子育ての駅かたつきり及び子育て世代包括支援センター等において、就園前の子どもと親の交流の場の提供、子育て相談及び育児情報の提供等を行い、個々の子どもの成長に即した支援を行いました。</p> <p>また、子育て世代包括支援センターが相談しやすい体制整備に努めたことで、相談件数も大幅に増加し、子育ての相談をしやすい仕組みづくりが進んでいます。</p>
課題	<p>子ども子育て会議において、「保育園でどのような教育内容で、どの程度できるようになっているのか等、子ども達の発達の状態が、小学校によく伝わるように連携をしてもらいたい。」「保育園から小学校に提供した児童の情報について、1年生の時は確認をしていると思うが、進級した後も入園時の情報が活かされるようにしてもらいたい。」旨の意見があったことから、保育園と学校との連携のあり方について検討していく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施設開放等で就園前の子どもと親の交流の場の提供、子育て相談及び育児情報の提供等を行ったことで、子どもの個々の発展に即した支援がおおむねできたものと判断し、「やや高い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	保育園等と小学校の連携に課題はあるものの、子育て支援センター利用者等からの育児相談に保健師、栄養士等が連携して助言・支援するなど、子どもの個々の発展に即した支援に貢献できたと判断し「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	地域で子どもを育てていくための機運を醸成しながら、地域における保育人材確保のための研修や養成講座等への取組をさらに進めていく必要があります。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	関 祐樹
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係課	地域創生課	
施策名	3号 子育て環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

保育園等と学校、放課後児童クラブの連携と地域との関わりを深め、情報共有することで切れ目のない支援と教育環境の充実を図ります。
 また、各年代における子育てニーズの多様化や少子化などの社会情勢の変化に応じ、地域の子育て人財の育成と民間活力の導入による持続可能な子育て環境の整備をすすめます。
 子育ての駅については、安心安全で、自由に利用できる子育て支援施設としての環境づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
142		児童福祉施設整備事業 子ども課	9,735	86,625					高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
166		放課後児童クラブ再編事業 子ども課	11,000	133,561					高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
514	○	子育ての駅運営事業 地域創生課	15,368	26,011					高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたつくりの管理運営							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
	指標の説明								
1	子育て支援センターを利用している乳幼児の割合 年度末時点で市内6歳までの子どもに対するセンター登録者の割合	目標値	30	32	35	38	40	40	%
		実績値	25						
		達成率	83.3%	%	%	%	%		
2	子育ての駅「かたつくり」市内利用者数	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人/年
		実績値	15,410						
		達成率	48.9%	%	%	%	%		
3	放課後児童クラブに満足している人の割合	目標値	98	98	98	98	98	98	%
		実績値	97.1						
		達成率	99%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>多面的な保育サービスの提供及び持続可能な子育て環境の整備につなげるため、魚沼市児童福祉施設長寿命化計画を策定し、安全安心な施設整備をすすめるための指針ができました。</p> <p>子育ての駅について、新型コロナウイルス感染防止対策のため、前年度に引き続き利用できる対象を市民に限定しながら、子育て支援の交流の場を提供しました。</p>
課題	<p>老朽化した公立保育園等の整備について、再編・統合に向けた必要な資金調達や民営化による民間活力の導入等、持続可能な保育環境の整備が課題となっています。</p> <p>子育ての駅の施設の維持管理について、老朽化による不具合箇所が見られることから、利用者が安全で安心な施設利用ができるための修繕を行わなければならないほか、令和5年度に予定する指定管理者制度移行に伴う様々な事柄についても、解決していかなければなりません。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	施設の再編に関する事業は計画どおりに進めることができ、施設利用者の満足度も目標値に近かったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用者数は目標値に達しなかったため、「やや低い」と評価しました。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	子育ての駅において、コロナ禍でも利用者を限定しながら子育て支援の交流の場を提供することができたことや魚沼市児童福祉施設長寿命化計画を策定したことから安全安心な子育て環境の整備に貢献できたと判断し「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○	
今後の方向性	<p>保育園等と学校、放課後児童クラブの連絡会議等を開催し、情報共有を更に進めていく必要があります。公立保育園の統合・再編及び民営化によって、持続可能な保育環境を計画的に整えていく必要があります。</p> <p>子育ての駅について、自由に利用できる子育て支援施設として引き続き環境整備に努めます。</p>			改善・見直し	

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○	
今後の方向性	一次評価のとおり。			改善・見直し	

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G 連 s	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレ を世界中に	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナシップで 目標を達成しよう
-----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	森山 文順
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進	関係 課	農林整備課	生涯学習課
施策名	1号 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進			

2. 施策目的(目指すすがた)

魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を活かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。
また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。なお、地球規模で考え行動するグローバル人材育成の取組もすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
274	○	森林体験・環境学習事業	321	1,141					やや低い	C
		農林整備課								
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。							
371		教育支援事業	113,639	146,347					やや高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	介助員・学習補助員の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。							
372		不登校・いじめ問題対策事業	19,519	20,853					やや高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	適応指導教室、別室登校支援、保護者等相談を実施し、教室への復帰を目指す。							
376	○	総合学習支援事業	4,437	8,622					やや高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。							
377	○	自然環境学習推進事業	2,774	5,768					高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	小学校5年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う							
379		学級づくり支援事業	4,256	4,905					高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	学力向上と不登校発生率低減を目指し、親和的な学級集団づくりを進める							
382		ひきこもり対策支援事業	180	379					やや低い	C
		学校教育課								
		事業の取組内容	実態調査を行い地域の実情を把握し、引きこもり対策全般についての調整を行う							
436		家庭教育事業	401	3,968					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	子ども育み講座、ありがとう作文、PTA保護者会学習支援等の各種事業を実施する。							
482		学校給食支援事業	3,768	3,986					やや高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する							
516	○	コミュニティスクール推進事業	2,220	6,078					高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める							

517	○	グローバル人材育成事業	21,840	24,554					高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって、地域の活性化及び持続的発展に貢献する人材の育成を行う							

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	学力テスト結果 (NRT偏差値)	小学校 50.8	目標値	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小52.0 中52.0	小学校 52.0 中学校 52.0	-
		中学校 50.5	実績値	小50.2 中50.2						
		(R1実績)	達成率	小96.5% 中96.5%	%	%	%	%		
2	学級満足度	小学校 67.6	目標値	小75中70	小75中70	小75中70	小75中70	小75中70	小学校 75 中学校 70	%
		中学校 67.7	実績値	小63.8中75						
		(R1実績)	達成率	小85.1% 中107%	%	%	%	%		
3	不登校率	小学校 0.47	目標値	小0.25 中2.0	小0.25 中2.0	小0.25 中2.0	小0.25 中2.0	小0.25 中2.0	小学校 0.25 中学校 2.00	%
		中学校 2.01	実績値	小0.28中4.86						
		(R1実績)	達成率	小89% 中41%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

※指標No.3 不登校率のR1年度県平均値については、小学校：0.7%、中学校：3.6%

※指標No.3 不登校率のR2年度県平均値については、小学校：0.9%、中学校：3.9%

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>森林体験や総合学習及び自然環境学習の取組によって子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成が図られました。学級づくり事業では、温かい学級づくりを基盤として、教育実践を行っています。小中9年間の取組の継続により、中学校では学級満足度が上がっています。</p> <p>コミュニティスクールの全校導入に向けてモデル校を設置し推進体制の整備を行いました。</p> <p>幼小中の教育現場における英語力向上事業として、小中学校にALTを派遣して英語の授業を支援しました。</p>
課題	<p>学力向上と不登校の低減について一定の成果を上げましたが、学校現場の多忙化を踏まえ、取組内容の見直しが必要となっています。学校での学習に加え、家庭教育における子どもたちの「生きる力」を育むための取組や、登下校時などにおける安全確保が課題となっています。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
アの 達成 成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	目標達成に至らなかったものの、小学校の不登校率が国・県が上昇傾向にある中で、減少しているため「やや高い」と評価しました。
イ 貢献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	将来を担う子どもたちの「生きる力」として、基礎学力、心身の健康、地域への愛着を育むため、教育環境整備、教育体制の充実を推進する本施策への貢献度は「高い」と評価しました。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
			現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の 方向性	不登校からひきこもりへ問題が長期化することから、児童生徒の居心地の良い居場所づくりを行い、教育環境の整備とともに、不登校を発生させない教育環境づくりに努めます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 達成 成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	小学校の不登校率が減少していることは評価できるが、その他の指標においても目標達成に至っていないことから「やや低い」と評価した。
イ	貢献 度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。			拡充	
				現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。			改善・見直し	
今後の 方向性	一次評価のとおり。				

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
S
関連

4
質の高い教育を
みんなに

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	森山 文順
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進	関係 課	生涯学習課	
施策名	2号 市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり			

2. 施策目的(目指すすがた)

地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクールの指導や教育ボランティア活動等の充実を図り、保護者や地域の意見を反映できる学校の運営をすすめていきます。幼保小中高の連携や外部との相互交流を積極的に推進し、地域の伝統文化に親しみながら、社会性の向上や社会を生き抜く知恵を磨きます。また、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するため、地域と連携しながら将来を見据えた適正な通学区域の再構築に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
371		教育支援事業	113,639	146,347					やや高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	介助員・学習補助員の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。							
375		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	974	1,234					やや高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	スクールガードによる登下校時の見守り、防犯パトロール、緊急通報メールの運用を行う。							
376	○	総合学習支援事業	4,437	8,622					やや高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。							
437		青少年教育事業	1,951						やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	うおめまわくわくキッズや中学生広島平和記念式典派遣事業等を行う。							
516	○	コミュニティスクール推進事業	2,220	6,078					高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	コミュニティ・スクールの普及率 全14校	-	目標値	7	100	100	100	100	%
			実績値	7					
			達成率	100%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>小出小学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の制度導入のモデル校として、推進体制の整備を行いました。また、令和4年度の本格始動に向け、研修会を実施しコミュニティ・スクールがスムーズに開始できるようにしました。</p> <p>ふるさとの魅力を知る重要な事業であることが学校職員にも十分周知され、学習内容等の工夫、充実が図られました。</p>
課 題	<p>コミュニティ・スクールが各校に定着するまで、研修会を開催するなど委員や学校教職員、コーディネーター等の制度理解を向上させる必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	コミュニティ・スクール導入の足掛かりとしてモデル校の設置をし、全校導入に向けて推進されました。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	学校を核とした地域ネットワークが形成され、学校や地域に対する相互理解が深まり、地域に開かれた学校づくりに貢献できました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクール導入の推進体制や教育ボランティア活動等の充実を図り、外部との相互交流を積極的に推進します。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G 関 連 s	 4 質の高い教育を みんなに	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 17 パートナシップで 目標を達成しよう
----------------------------	--	---	--

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	森山 文順
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進	関係 課	子ども課	
施策名	3号 安全・安心な学校施設の整備			

2. 施策目的(目指すすがた)

老朽化対策、大規模改修などによる施設整備をすすめるとともに、情報化対策など、近年の学習内容や形態に合った環境への改修を行い、子どもたちが快適に学ぶことができる、安全・安心な学校施設の整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
166		放課後児童クラブ再編事業	11,000	133,561					高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。							
373		通学対策事業	83,359	101,273					やや高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	学校から遠隔地の児童生徒の確実な通学手段を確保する。							
381		ICT機器整備・情報教育推進事業	75,083	115,116					高い	A
		学校教育課								
		事業の取組内容	児童生徒の基礎的な情報活用能力を育成するために情報教育を推進する							
391	○	小学校施設整備事業	554,534	22,800					高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	各小学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。							
415	○	中学校施設整備事業	307,215	363,920					高い	B
		学校教育課								
		事業の取組内容	各中学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。							
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	建物の大規模改修率	98.1 (R1改修率)	目標値					100	%
			実績値						
			達成率	100%	%	%	%		
2			目標値						%
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		
3			目標値						%
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>小中学校の大規模改修を計画的に進めるとともに、学校側と連絡を密にすることで教育活動に及ぼす影響を最小限に抑えることができました。また、電子教材の利活用・ICT支援員による学校におけるICT機器の利活用サポートなど授業環境を整備しました。</p> <p>通学対策については、登下校、学校行事、総合学習など教育活動に係るバスの運行を行い、教育活動を充実することができました。</p>
課題	<p>文部科学省が示すICT環境整備計画に基づき、小中学校のICT機器の環境整備を行う必要があり、「魚沼市立学校情報教育推進計画」の見直しを行い、国の方針や他自治体の動向に基づいた機器の整備や情報教育の推進を図る必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度	高い やや高い やや低い 低い	高い	大規模改修工事を計画的に進めることができたため「高い」と評価しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	改修等の施設整備により、ICT機器を利用した学びの実践に有効であり、学習意欲や学習効率の向上に貢献しています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	子どもたちが快適に学び、過ごすことができるように、安全・安心な学校施設の大規模改修や老朽化対策を実施し、情報化対応など学習内容に対応した環境への改修を行います。また、通学路の危険箇所点検を計画的に実施し、通学対策を強化します。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の達成度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
L
S

4
質の高い教育を
みんなに

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	1号 芸術・文化活動の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が心豊かな生活を送るために、多様な芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、芸術文化を支える人材の育成と活動支援を行います。また、次世代の担い手である子どもたちを育成する文化体験の場を拡充します。

さらに、市民が芸術文化に広く関わっていくため、教育、商工観光、福祉など各種団体と連携を深め、新しい文化活動を創出します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
72	○	文化振興事業	2,941	4,830					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。							
73		小出郷文化会館管理運営事業	132,574	339,272					高い	A
		生涯学習課								
		事業の取組内容	小出郷文化会館の大規模改修を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	文化会館年間利用者数	76,756 (R1実績)	目標値	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	人/年
			実績値	41,374					
			達成率	53.7%	%	%	%		
2	各種催し物の参加者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人
			実績値	3,877					
			達成率	51.7%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>今年度は、魚沼市美術展、各地域文化祭を開催することができました。魚沼市美術展では、書道部門で高校生7名の出品があり、1名が新潟日報美術振興賞を受賞しました。また、各地域文化祭では、今年度より新しく、県ジュニア展の絵画入賞作品を展示しました。観覧者から、とても好評でした。各地域芸能祭は、感染症の影響により、開催することができませんでした。</p> <p>文化会館年間利用者数では、昨年度と比較すると約1.8倍増加しました。事業については、3事業中止となりましたが、着実にコロナ禍前に戻ってきています。</p>
課題	<p>感染症対策の徹底と、コロナ禍以前の開催方法の改善・見直しが課題です。文化芸術活動者の高齢化、コロナ禍により発表の場がなかったことによる活動意欲の低下、会の解散がみられます。新しい開催方法や、規模の縮小、発表の場の増加が求められます。また、子どもの事業参加者数の増加に向けて、子どもが参加しやすい環境づくり、文化体験の場づくりが必要です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	昨年度、開催できなかった美術展、各地域文化祭の開催や小出郷文化会館の大規模改修を行い安全性と利便性を向上させることはできたものの、成果指標が目標値に達していないことから「やや低い」と評価しました。
イ	貢献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種催し物では、感染症対策を徹底することで、安全に開催することができました。また、大規模改修では、計6件の工事を、計画的に行うことができました。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の 方向性	<p>新型コロナウイルス感染拡大以前のように各種事業が開催できるよう今後も感染症対策を行い、また、事業の見直しや簡素化も検討し、子どもたちを育成する文化体験の場を増やし、参加しやすい環境づくりを行う必要があります。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の 方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	2号 地域文化の振興と発信			

2. 施策目的（目指すすがた）

市内文化施設の特徴を活かし、家庭・地域・学校が連携し、伝統的生活文化に触れる機会を創出し、地域文化活動の促進を図ります。
また、ふるさと伝統文化を継承し活用するために、子どもたちの地域文化活動への参加を促進します。
国内外の都市・団体などと連携を図りながら文化交流を行い、あわせて地域文化活動の振興と情報の発信を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
72	○	文化振興事業	2,941	4,830					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。							
444	○	地区公民館講座教室事業	654	3,145					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	各種講座教室、講演会等を開催する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	芸術文化の事業件数	42 (R1実績)	目標値	75	75	75	75	75	件
			実績値	41					
			達成率	54.7%	%	%	%		
2	美術展・地域文化祭・地域 芸能祭の観覧者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人/年
			実績値	3,877					
			達成率	51.7%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	魚沼子ども芸能祭の出演や、各地域文化祭への作品出品により、子どもたちの地域文化活動への参加を促進しました。また、今年度から、県ジュニア展覧会の入賞作品を各地域文化祭で展示しました。魚沼市美術展では、高校生の作品が、書道部門で新潟日報美術振興財団賞を受賞しました。
課題	家庭・地域・学校が参加しやすい環境づくり、体制を整えることが課題です。事業が同日開催、集中していると、参加が減少する恐れがあります。時期や開催方法の見直し、他事業の担当者との連携が必要です。地域文化活動の促進のため、今後も魚沼市美術展、各地域文化祭・芸能祭への参加を広く促します。また、地域や学校によっては、文化活動に積極的な団体と、消極的な団体があります。積極的に参加している団体については参加を継続し、消極的な団体については、団体の負担にならない範囲で今後も積極的に参加を促します。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	美術展、各地域文化祭は、開催することができましたが、各地域芸能祭を開催することができなかったことから、「やや低い」と評価しました。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	開催することができた事業については、感染症対策を徹底して安全に開催し、地域文化に触れる機会を創出することができたことから、「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	改善・見直し	
今後の方向性	引き続き、感染症対策を徹底し、安全に開催することが必要です。また、参加者の高齢化が見受けられます。事業の簡素化や、新しい開催方法など、事業の見直しが必要です。事業を見直すには、参加する市民の理解が得られるかが重要となります。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成度 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。	拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。	改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

SDGs
関連

4 質の高い教育を
みんなに

17 パートナシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	3号 文化財の保護と活用			

2. 施策目的（目指すがた）

市内に存在する文化財を地域資源として広く公開し、施設整備を含め、子どもたちが接する機会や、市民が学ぶ機会を積極的に設けるなどの有効な活用を図り、郷土の歴史・文化に関する認識を深め、市民全体で保護・継承し、発信していく意識を高めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価		
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価	
451		埋蔵文化財調査活用事業 生涯学習課	110,182	90,463					やや高い	B	
		事業の 取組内容	埋蔵文化財保護のため、記録・保存を行い、成果物を公開し、地元の歴史への理解と関心を高めていく。								
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明								
1	文化財を活用した講座や体験教室等の参加者数	目標値	500	500	500	500	500	500	人/年
		実績値	342						
		達成率	68.4%	%	%	%	%		
2	企画展等の見学者数	目標値	800	800	800	800	800	800	人/年
		実績値	1,365						
		達成率	170.6%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>開発に伴う試掘確認調査、発掘調査については完了し、上原遺跡については報告書を刊行しました。黒姫洞窟遺跡については、黒姫洞窟遺跡調査指導委員会は1回開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により現地調査が行えませんでした。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ企画展などは開催できませんでした。令和3年度は「歴史の道八十里越」企画展、遺跡発掘報告会等を開催し、多くの参加者を集めました。</p>
課題	<p>県によるほ場整備事業など広大な面積を伴う緊急開発により試掘確認調査が増加傾向にあることから、効率的な調査を行うための手法等が課題となっています。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	講座等への参加者数は目標値に達しませんでした。企画展等の見学者数は増加したためです。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業はできませんでしたが、八十里越企画展や講演会などを開催し、市民が学ぶ機会を積極的に設け、発信したためです。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
					現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	旧広神庁舎を活用した文化財の展示施設の設置を進めていくことにより、市民はもとより市外へも市内文化財を広くPRしていきます。					

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価		評価の理由	
ア	の達成成果	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
イ	貢献度	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。				拡充	○
					現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。				改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。					

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
S
関連

3
すべての人に
健康と福祉を

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課	健康増進課	
施策名	1号 誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

子どもから高齢者まで、スポーツ活動やレクリエーションに参加でき、仲間との交流などを通して、健康増進や生きがいづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
211		健康づくり支援事業	1,042	1,573					やや高い	A
		健康増進課								
		事業の取組内容	市民一人ひとりが主体的に行う健康づくりへの動機づけとして、楽しみながら運動習慣を継続できるようポイント制度により支援する。							
460	○	市民スポーツ普及事業	12,582	14,472					やや高い	B
		生涯学習課								
		事業の取組内容	スポーツフェスティバルや各種運動教室を開催する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	各種スポーツ教室等の参加者数	7,700 (R1実績)	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	人/年
			実績値	8,608					
			達成率	105%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>各種スポーツ教室の参加者数は目標値を上回る結果となりました。オリンピックが夏季・冬季ともに令和3年度の開催であったため、スポーツへの関心が高くなったことが要因と考えます。また、各種スポーツ教室やスキーリフトシーズン券購入補助事業は、例年に比べ、参加者・申請者が多く、想定を上回る結果となりました。</p>
課題	<p>新しい生活様式に基づきながら、市民が安心して参加できるように工夫しましたが、まん延防止等重点措置により、いくつかの事業が中止になりました。昨年度開催された夏季・冬季オリンピック・パラリンピックによって、新しい競技や障がい者スポーツへの関心が高まっているため、関係団体との共催で体験会などのイベントを行い、市民のニーズを把握し、新しい取り組みを定期的な委託事業に組み込みたいと考えます。コロナ禍よりも体育施設利用者数は増加していますが、目標値には達していないため、さらなる工夫が必要と考えます。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い スキーリフトシーズン券購入補助事業、各種スポーツ教室参加者は目標値を上回りました。子どもや高齢者だけでなく、幅広い世代の運動の実施率の向上が求められます。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 各種スポーツ教室や各種スポーツフェスティバルを実施することにより、定期的な運動習慣を身につけ、病気や怪我の予防ができ、地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ることができるためです。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充 現状維持
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	各種スポーツ教室運営業務委託については、幅広い年齢層の市民から参加してもらうことを目標としていますが、実施者が固定されていたり年齢層が高くなっているのが現状です。幅広い年齢層から誰でも参加できるようにするためにすべての世代のニーズを把握し、運動習慣の定着を図り、健康づくりの推進へ貢献したいと考えます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充 現状維持
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G S	3 すべての人に 健康と福祉を	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	-----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課		
施策名	2号 スポーツ活動推進のための体制強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

夢に向かってスポーツに挑戦していく人々や関係者への支援を充実させるため、各スポーツ団体と連携・協働しながら、各組織の自立と体制強化を推進します。
また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といったかかわり方に応じて、スポーツに接する機会を創出し、それぞれが支えあい、連携するシステムの整備を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
461	○	競技スポーツ支援事業	2,087	4,636					高い	C
		生涯学習課								
		事業の取組内容	競技スポーツの選手、指導者の育成を図るとともに、各種スポーツ大会の開催により、競技スポーツ活動の普及、促進を図る。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	スポーツ協会の会員数	2,069 (R1実績)	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	人/年
			実績値	1,692					
			達成率	67.7%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>コロナ禍により練習が思うようにできなかつたり、大会が延期になるなど、難しい状況に置かれる中であって、優秀な成績を収めたり、複数の高位大会に出場する選手を輩出するなど、競技者の育成につながる指導体制が図られました。</p>
課 題	<p>指導者養成事業として、講演会や講習会の開催を計画していますが、令和3年度に開催した講演会では、受講者が少なく、指導者養成に関心のある指導員と関心のない指導者の差が大きいと感じました。まずは、部活動を段階的に地域へ移行する部活動改革が行われるにあたり、地域指導者がどのような講演会や講習会を求めているのか、ニーズを把握する必要があると考えます。それを基に人材確保や環境整備などのシステムづくりなどの指導者養成事業の拡充を行っていく必要があると考えます。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	低い	<p>スポーツ協会員数が目標値には達しませんでした。地域指導者養成事業は優先度が高いですが、講演会等を開催することができませんでした。指導者への周知を含め、拡充が必要であると考えます。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	高い	<p>ジュニア世代の競技スポーツを活発にするには、指導者の養成が求められ、その環境づくりが必要であるため、地域指導者養成事業は優先して拡充すべき事業であると考えます。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	令和5年度から部活動改革が段階的に開始するため、地域指導者養成事業は優先して拡充すべき事業であると考えます。地域指導者がどのような講演会や講習会を求めているのか、ニーズを把握する必要があると考えます。それを基に人材確保や環境整備などのシステムづくりなどの指導者養成事業の拡充を行っていく必要があると考えます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 策 成 果 度 果	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	低い	<p>一次評価のとおり。</p>
イ	貢 献 度	<p>高い やや高い やや低い 低い</p>	高い	<p>一次評価のとおり。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	○
今後の 方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
S
関連

3
すべての人に
健康と福祉を

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	青柳 洋介
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課		
施策名	3号 スポーツにおける広域連携の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

様々なスポーツに接する機会の拡大、スポーツの普及、推進、競技力向上を図るには、近隣市町と連携した取組も重要となります。既存施設の活用を図りながら、施設整備や相互利用など、スポーツの振興や推進にかかる全ての分野において、広域的な連携をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
459	○	社会体育管理事業	7,176	7,529					やや低い	C
		生涯学習課								
		事業の取組内容	社会体育推進体制の充実を図るための取組や方針の協議を行うとともに、スポーツ関係団体に対する運営支援を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	体育施設利用者数	218,508 (R1実績)	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人/年
			実績値	196,917					
			達成率	76.9%	%	%	%		
2			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	広域連携（当市と南魚沼市湯沢町）の会議において、サイクルツーリズムを通じた広域サイクリングルートを活用したスポーツの普及に関する検討が行われ、広域的な連携につながりました。
課 題	スポーツ施設の有効活用を図るための広域的な相互利用事業は、自治体ごとの料金の成り立ちや採算性、規模の大小等で利用料金の統一は非常に困難とされています。近隣市町とのスポーツ施設の相互利用のニーズがほとんどない状況であり、今後、どのように進めて行くか課題となっています。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	広域連携については、新型コロナウイルス感染症対策もあり、サイクルツーリズムを通じた会議のみの開催であったことから、「やや低い」と評価しました。	
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	広域的な共通課題（競技スポーツ人口の減少、体育施設の整備等）について、連携して実施する取組までに至らず、貢献度は「やや低い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	広域連携は、サイクルツーリズムを通じた広域サイクリングルートを活用したスポーツの普及のほかに、広域的な大会の支援やそれをきっかけにした連携を進めていきます。			改善・見直し	○

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充		
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持		
今後の方向性	一次評価のとおり。			改善・見直し	○

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G 連 s	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 人や国の不平等 をなくそう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
-----------------------	----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	五十嵐 央
主要施策	1項 市民参画と行政との協働の推進	関係 係課	市民課	地域創生課
施策名	1号 まちづくりへの市民参画の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、お互いの人権・人格を尊重し合って、自らがまちづくりの重要な担い手であることを自覚し、発言と行動に責任を持って参画できるよう意識の高揚を図ります。
また、情報を市民と共有し、男女・世代を問わず多くの市民が参画し、その意見が反映されるまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
13		人権啓発事業 市民課	1,657	1,251					高い	B
		事業の 取組内容	市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。							
36		男女共同参画事業 企画政策課	73	166					やや高い	C
		事業の 取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。							
48	○	うおめま未来人財育成事業 地域創生課	610	1,168					やや高い	C
		事業の 取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績			
1	市政やまちづくりへの関心度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	85	—	85	%
		実績値	—	—	—	—			
		達成率	%	%	%	%			
2	地域活動への参加割合 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	75	—	75	%
		実績値	—	—	—	—			
		達成率	%	%	%	%			
3	市民提案型事業の件数 (市民自ら企画立案し、地域の課題解決 や活力ある地域を実現するための事業)	目標値	4	4	5	5	5	23 (R3~R7累計)	件
		実績値	4						
		達成率	100%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	各種研修等のアンケート結果から、人権や偏見・差別に関する問題に関心がある参加者の割合が増加しつつあることから、互いの人権を尊重し合える社会へ向けて進んでいます。
課題	魚沼若者会議が以前のような活発な活動ができていないことや、各種審議会等への女性の登用率が伸び悩んでいることなどから、若者や女性がまちづくりに参加できるような仕組みづくり、広報啓発が課題です。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 本年度測定可能な指標である市民提案型事業の実施件数が、目標に到達しているためやや高いとしました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い アンケート結果において、偏見や差別に関する問題に関心がある参加者が増えていることから、やや高いとしました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
			現状維持
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	女性がまちづくりに参画できるよう、男女がともに働きやすい職場づくりや家事・育児の分担について、情報提供や啓発活動を行います。また、若者のまちづくり参画については、これからの地域を担う人材の育成を中心に進めます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
			現状維持
総合評価	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
今後の方向性	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

1 高齢者の生活の安定と健康

3 次世代の自立と健康

5 女性の活躍

8 働き手と雇用の確保

9 産業と地域振興の推進

10 人口の減少と高齢化

11 社会福祉の充実

17 パワースタンプの活用

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	小島 勉
主要施策	1項 市民参画と行政との協働の推進	関係 課		
施策名	2号 協働体制の充実			

2. 施策目的（目指すがた）

まちづくりの主体である市民と行政が、お互いに対等な立場で意見交換を行いながら施策を推進する体制を充実するとともに、市民が主体となった活動が行えるように地域の人財育成や活動をコーディネートするなど人的支援を行います。

また、市民の自主的主体的な活動と行政が連携、連帯を強め、魅力ある地域づくりを実践し、各地域の今後の振興や課題の解決に向けた取組が行えるように財政的支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
37		市民協働推進事業	513	1,175					やや低い	C
		地域創生課								
		事業の取組内容	魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。							
48	○	うおぬま未来人財育成事業	610	1,168					やや低い	C
		地域創生課								
		事業の取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。							
61	○	地域活動支援事業	51,757	65,131					やや高い	B
		地域創生課・北部事務所								
		事業の取組内容	連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。							
63	○	コミュニティ活動支援事業	11,030	18,516					やや高い	C
		地域創生課・北部事務所								
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。							
65	○	地域との「絆」推進事業	32,780	40,490					やや高い	C
		地域創生課・北部事務所								
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市民と行政との協働推進の 充実度 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	50	—	50	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		
2	市民参画と行政との協働を理 解している人の割合 総合計画市民アンケートより (次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	75	—	75	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	協働体制の充実のために重要な存在であるまちづくり委員会が運営体制及び規約の見直しを行い、市や関係団体と協働したまちづくりのさらなる推進に向けて新たな一歩を踏み出しました。新たに若い人材を獲得することにも成功し、今後の新たな活動を展開していくための足がかりを構築することができました。
課題	まちづくり委員会は新たな一歩を踏み出したものの、新たな活動方針及び活動内容の検討が急務となっています。今後、まちづくり委員会が順調に活動できるようにするためにも、新たな運営体制が軌道に乗るように支援します。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	やや低い	コロナ禍によりまちづくり委員会や自治会等の活動が縮小しています。市民が主体となった活動が行えていない場面も見受けられることなどから、「やや低い」と評価します。
イ	貢献度	やや高い	まちづくり委員会やコミュニティ協議会の活動は、地域課題の解決や地域活動の活性化につながる取組であり継続して必要なことから、貢献度は「やや高い」と判断します。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
			現状維持
今後の方向性	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
	市民の参加意識を高めるとともに地域課題へ取り組めるよう、引き続き地域づくりに関わる各種団体への活動支援や財政的支援を行います。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
ア	の達成成果	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充
			現状維持
今後の方向性	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し
	一次評価のとおり。		

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を實現しよう

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナシップで目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	小島 勉
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係 課	北部事務所	
施策名	1号 支え合う地域づくりの支援			

2. 施策目的(目指すすがた)

地域内の若者や子育て世代と高齢者など、世代間を越えた市民の交流を推進し、人財の発掘と活用を図るとともに、次代を担う人財の育成や活力ある地域づくりを支援します。
また、少子高齢化に伴う社会情勢の変化に対応して、地域の事情に応じた支え合い、助け合う地域づくりを支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
37		市民協働推進事業	513	1,175					やや低い	C
		地域創生課								
		事業の取組内容	魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。							
48	○	うおぬま未来人財育成事業	610	1,168					やや低い	C
		地域創生課								
		事業の取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。							
52	○	農村文化創生事業	0	1,245					低い	C
		地域創生課								
		事業の取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。							
63	○	コミュニティ活動支援事業	11,030	18,516					やや高い	C
		地域創生課/北部事務所								
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。							
65	○	地域との「絆」推進事業	32,780	40,490					やや高い	C
		地域創生課/北部事務所								
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
521		地域活動活性化事業	1,486	2,000					やや高い	A
		地域創生課								
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。							
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	暮らしやすいまちと感じる市民の割合 総合計画市民アンケートより(次回はR6に実施)	目標値	—	—	—	75	—	75	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>魚沼若者会議を通じて、フリーペーパーの発行や様々な人とのつながりを構築することができ、若者目線から市の魅力発見及び情報発信を行いました。また、まちづくり委員会との意見交換を行うことにより、お互いの活動について意見交換を行い、今後の連携に向けたきっかけ作りを行うことができました。</p> <p>集落支援員が自治会活動のサポートを行うことにより、市民の交流や話し合いの促進が図られ、活動の活性化につながる支援ができました。</p>
課 題	<p>魚沼若者会議の参加者が年々減少しており、活動が縮小していることが課題です。活動の活性化のためには、活力ある人材確保や地域人材の担い手育成などの支援を行う必要があります。また、まちづくり委員会との連携などの検討も今後必要です。</p> <p>また、農村文化創生事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、連携予定の各大学において学外での団体活動を制限・自粛しており、事業が実施できていないことから、引き続き事業実施のタイミング及び実施方法を各大学・地域と調整する必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	支え合う地域づくりのためには、諸団体の活動が相互に連携して活動する必要がありますが、コロナ禍もあり、取り組みが十分だったとはいえないため、「やや低い」と評価します。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域を担う人財育成は一朝一夕ではできないため、継続した人的・財政的な支援を行い、地域活動の活性化を図る必要があることから「やや高い」と評価します。
総 合 評 価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現 状 維 持	○
今 後 の 方 向 性	魚沼若者会議の活動の活性化を始め、次代を担う人材の育成や活力ある地域づくりのための支援を行います。また、市内の多様な主体が連携した取り組みが進むように支援していく必要もあります。農村文化創生事業については、引き続き事業実施のタイミング及び実施方法を各大学・地域と調整します。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
ア	の 施 達 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総 合 評 価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現 状 維 持	○
今 後 の 方 向 性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
s

1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を
実現しよう

10 人や国の不平等
をなくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	小島 勉
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係 課	北部事務所	
施策名	2号 地域づくりの活性化			

2. 施策目的(目指すすがた)

「地域の課題は地域で話し合い解決する」という本来の住民主体型の地域づくりを推進しながら、「地域づくりから始まるまちづくり」をめざし、地域づくりの活性化を図ります。
また、広範な地域課題への対応や活力ある地域活動をすすめるために設立されたコミュニティ協議会について、市民の関心を高め、参加する市民の輪が広がるように制度の周知と人的支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
61	○	地域活動支援事業 地域創生課・北部事務所	51,757	65,131					やや高い	B
		事業の取組内容	連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。							
63	○	コミュニティ活動支援事業 地域創生課・北部事務所	11,030	18,216					やや高い	C
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。							
65	○	地域との「絆」推進事業 地域創生課・北部事務所	32,780	40,490					やや高い	C
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
521		地域活動活性化事業 地域創生課	1,486	2,000					高い	A
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	地域活動への参加割合	67.0 (R1調査)	目標値	—	—	—	75	75	%
	実績値		—	—	—	—			
	達成率		%	%	%	%	%		
2	コミュニティ協議会数	15	目標値	15	15	16	17	18	団体
	実績値		15						
	達成率		100%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>集落支援員を9人配置し、コミュニティ協議会の運営をサポートすることにより、住民の話し合いの促進が図られ、また先進事例の紹介や情報提供を行うことにより、活動の活性化につながる支援ができました。</p>
課題	<p>住民による広範な地域課題への対応や活力ある地域づくりを進めるためには、人的支援が継続的に必要です。また、地域づくりに関わる地域の担い手も固定化していることから、地域人財の掘り起こしを行い、地域の活性化に向けて新たな担い手の育成を支援する必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	まちづくり委員会や自治会、コミュニティ協議会等の活動を横断的に結びつけ、世代を超えた市民の議論を推進する必要があることから、「やや低い」と評価します。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	住民主体型の地域づくりを推進するには、地域を担う人財育成が必要不可欠であり、継続した人的・財政的支援を行う必要があることから、「やや高い」と評価します。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	
今後の方向性	<p>通信技術を活用した情報発信により自治会やボランティア等の地域活動の見える化を図るとともに、市民が地域活動に参加しやすい環境を整える必要があります。</p> <p>また、地域づくりに関わる地域の担い手も固定化していることから、地域人財の掘り起こしを行い、地域の活性化に向けて新たな担い手の育成を支援する必要があります。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価とおおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価とおおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		現状維持	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
結

2 県旗を
ゼロに

8 働きがいも
経済成長も

10 人や国の不平等
をなくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナリシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	小島 勉
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係 課	北部事務所	
施策名	3号 地域づくりに向けた移住・定住の促進			

2. 施策目的 (目指すすがた)

地域外との交流や地域おこし協力隊の拡充による豊かな地域資源の発掘、積極的な情報発信、雪国・田舎暮らし体験、空家の有効活用などを通じて、活力ある地域づくりに向けた移住者・定住者の増加を図るとともに、関係人口の拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段) 担当課(下段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
			決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
34	○	地域交流推進事業 地域創生課・北部事務所	492	4,577					やや低い	C
		事業の取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。							
42	○	田舎暮らし体験事業 北部事務所	9	1,083					やや低い	C
		事業の取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。							
43	○	地域おこし協力隊受入事業 地域創生課・北部事務所	17,145	34,609					高い	B
		事業の取組内容	地域おこし協力隊を受入れ、地域への定住・定着を図るとともに、地域の活性化を推進する。							
45	○	移住定住促進事業 地域創生課	1,588	11,831					やや高い	C
		事業の取組内容	移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。							
46	○	ふるさと結基金事業 地域創生課	1,439,761	1,113,719					やや高い	S
		事業の取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。							
52	○	農村文化創生事業 地域創生課	0	1,245					低い	C
		事業の取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。							
346	○	住宅リフォーム支援事業 都市整備課	62,958	70,111					高い	A
		事業の取組内容	個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。							

4-1. 成果指標の達成状況 (※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名 指標の説明	現状値						最終 目標値	単位	
			R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績			
1	地域おこし協力隊の受入者数	13 (H28~R1累計)	目標値	16	19	22	25	29	29 (H28~R7累計)	人
			実績値	14						
			達成率	87.5%	%	%	%	%		
2	空き家バンクの登録件数	21 (H28~R1累計)	目標値	24	28	32	36	40	40 (H28~R7累計)	件
			実績値	21						
			達成率	87.5%	%	%	%	%		
3	転入時アンケート把握による移住者の数(転入者の内数)	265 (R1実績)	目標値	270	280	290	295	300	300	人/年
			実績値	221						
			達成率	81.9%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>新たな地域おこし協力隊の募集を行い、田中・金ヶ沢地域に新規の隊員を1人受入することができました。また、継続隊員として、福山新田、横根及び須原コミュニティ協議会に各1人受け入れ、地域おこしの活動を行っています。</p> <p>地域おこし協力隊の受け入れにより、受入自治会等が地域の魅力を再発見することができ、活気ある地域づくりに向けた活動を促進するとともに、地域内で住民のコミュニケーションの活性化を図ることができました。</p> <p>ふるさと結基金事業については、ふるさと納税制度の認知度向上及び専用サイト増設等の効果により、寄附額実績は順調に推移しています。</p>
課題	<p>地域おこし協力隊の任期満了に伴う補充及び退任後の定住が課題です。新たに受入れを希望する自治会等と、協力隊の希望者との活動内容の整合をとる必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	地域おこし協力隊の新規受入数の目標が達成できなかったことや、協力隊の活動により関係人口や交流人口が増加したとまでは言えないため、「やや低い」と評価します。
イ	貢献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域おこし協力隊の新規隊員の受け入れにより、事業継承を主とした新たな取組に着手できたことや、継続隊員の取組により地域コミュニティの活性化が図られていることなどから、「やや高い」と評価します。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の 方向性	活力ある地域づくりに向けた移住定住者の増加を図るために、引き続き魚沼市の魅力発信を行うとともに、地域おこし協力隊の受入希望自治会等のニーズの再確認を行い、協力隊希望者が考える活動と整合を図りながら、地域おこし協力隊員を活用したまちづくりを行います。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施策 達成 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合 評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 現状維持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の 方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S D G s	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナシップで目標を達成しよう	
------------------	--	---	--

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	五十嵐 央
主要施策	3項 市民に信頼される開かれた行政運営	関係 課		
施策名	1号 効率的で効果的な行政運営			

2. 施策目的（目指すがた）

持続可能な行政運営を確立するため、優先的、重点的に取り組むべき施策を中心に事業を展開し、効率的で効果的な行政運営をすすめます。そのために施策や事業について行政評価を行うとともに、その結果をわかりやすく公表します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名（上段）	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課（下段）	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
41		行政効率化推進事業	39	81					やや高い	B
		企画政策課								
		事業目的と取組内容	効率的で効果的な行政運営の推進を図る							
		事業目的と取組内容								
		事業目的と取組内容								
		事業目的と取組内容								
		事業目的と取組内容								
		事業目的と取組内容								
		事業目的と取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	効率的で効果的な行政運営の満足度	目標値	—	—	—	75	—	75	%
		実績値	—	—	—	—	—		
		達成率	%	%	%	%	%		
2		目標値							
		実績値							
		達成率	%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	第二次総合計画の前期基本計画の総括を行い、各施策において達成できたこと、できなかったことを明らかにし、後期基本計画及び令和4年度事業での取組につなげることができました。
課題	令和3年度からは後期基本計画期間に入りましたので、施策評価シート及び事務事業評価シートの見直しを行いました。シート作成における職員負担は以前として大きいため、負担を軽減し、事業実施において、市民にとってより実効性のあるものにしていくことが課題です。

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	今年度において、評価できる指標はありませんが、前期基本計画の総括を実施し、今後の取組にいかすことができたため、やや高いと判断しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各施策や事務事業の評価を行う中で、効率化や見直しに役立っているため、やや高いと判断しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
今後の方向性	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性		行政評価において、各事務事業が市民生活に実効性のあるものとなるよう、近隣市の例を参考にしながら改善を進めていきます。		

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成成果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
			現状維持	○
今後の方向性	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性		一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

SDGs	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を實現しよう 	10 人や国の不平等をなくそう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう
------	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 秘書広報課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	山田 庸子
主要施策	3項 市民に信頼される開かれた行政運営	関係 課	総務人事課	市民課
施策名	2号 わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上			

2. 施策目的(目指すすがた)

行政と市民との情報共有及び市民が参加しやすい行政運営のため、広報誌、ホームページのみならず、SNSやコミュニティFMなど様々な媒体を活用し、理解しやすい内容での情報提供に努めるとともに、「市民の想い」を行政に反映させる広聴活動を行います。
また、質の高い行政サービスを提供するには、市民が充実した生活をおくるためのニーズの把握に努め、今後も更なる職員の能力向上等を推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
9		職員研修事業	2,395	3,477					やや高い	B
		総務人事課								
		事業の取組内容	職場内研修や、新潟県市町村総合事務組合等に委託して職場外研修を行う。							
12		広報広聴事業	29,517	51,426					やや高い	B
		秘書広報課								
		事業の取組内容	市報の発行、魚沼市ホームページ・SNS等による情報発信、「市長の手紙」等の広聴、出前講座の実施等を行う。							
13		人権啓発事業	1,657	1,251					高い	B
		市民課								
		事業の取組内容	市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。							
58		ケーブルテレビ運営事業	31,178	31,912					やや高い	C
		秘書広報課								
		事業の取組内容	ケーブルテレビ施設の運用管理、利用料徴収、自主放送番組の制作委託による番組提供等を行う。							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	情報・行政サービスの提供の満足度	54.6 (R1調査)	目標値	—	—	—	75	75	%
	実績値		—	—	—	—			
	達成率		%	%	%	%	%		
2	出前講座の参加者数	706 (R1実績)	目標値	860	1,020	1,180	1,340	1,500	人/年
	実績値		75						
	達成率		8.7%	%	%	%	%		
3	ホームページ記事アンケートでの「わかりやすかった」の回答割合	77.8 (R1実績)	目標値	78	79	81	83	85	%
	実績値		78.2						
	達成率		100.3%	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>広報事業としては、わかりやすい情報発信を目指し、市報、各種SNSなどの媒体に加え、ケーブルテレビやYouTube等を利用した映像による情報発信にも取り組み、広く行政情報を届けました。</p> <p>広聴事業としては、市長が市民と直接対話をする機会として「移動市長室」を実施しました。また「市長への手紙」は投函箱の配置箇所を増加するなどし、手紙の件数が増加しました。</p> <p>職員の能力向上としては、職員の役職に応じた階層研修、専門研修といった外部研修への参加を促すとともに、人権問題、人事評価制度、公務員倫理についての内部研修を実施し、能力向上を図りました。</p>
課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座など対面的な取組への参加者が減少しましたが、感染状況を勘案しながら、市民への広聴機会の拡大を図って行く必要があります。また、予定しているホームページの切替について、課題を整理し更新する必要があります。</p> <p>ケーブルテレビ事業については、設備更新の時期を迎えており方向性について市民のニーズを聴取したうえで決定していく必要があります。</p> <p>職員が参加しやすくするために、オンラインなど研修の実施方法を検討する必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	<p>広報広聴事業では市報やホームページ、SNSなどによる情報発信に加えて、移動市長室を設けるなど、公聴機会を拡大し幅広く市民の声を聴取できました。</p> <p>なお、広報の取組に関しては、ホームページの分かりやすさに係る数値は上昇しましたが、出前講座についてはコロナ禍であり参加者数は伸びませんでした。</p>
イ	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	<p>若者向けの新たな情報発信ツールとして、市公式インスタグラムを開設し情報発信に務めることができました。</p> <p>市報及びCM大賞などでの受賞により、話題性の向上と魚沼市の魅力発信に寄与しました。</p> <p>人権問題や人事評価制度などの内部研修により職員の能力向上を図りました。</p>
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進します。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。		現状維持	○
今後の方向性	<p>市民と双方向での情報のやり取りを行い、市民からの聴取した意見を市政に反映していくなど、市民から満足いただける行政サービスの提供に取り組んでいく必要があります。</p> <p>ケーブルテレビ事業については、設備更新費用の問題や、サービス提供地域が限定されていること等課題が山積していることから、今後の在り方について市民のニーズを聴取したうえで判断していく必要があります。</p>			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要があります。		現状維持	○
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	五十嵐 央
主要施策	4項 選択と集中による財政運営	関係 課	子ども課	
施策名	1号 行政改革の継続をデジタル化の推進			

2. 施策目的(目指すすがた)

公共施設においては、複合的に施設を活用するなど、施設の再編を計画的にすすめ、維持管理経費の節約と将来負担の縮減を図ります。
また、業務内容の見直しを続けていくとともに、行政のデジタル化の取組を積極的にすすめることにより、窓口業務等の効率性を向上させ、人員の削減と財政負担の軽減を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価
41		行政効率化推進事業	39	81					やや高い	B
		企画政策課								
		事業の取組内容	効率的で効果的な行政運営の推進を図る。							
57		ICT推進事業	423	1,583					やや低い	C
		企画政策課								
		事業の取組内容	市内のあらゆる場所でICTを活用できる環境を整備する。							
142		児童福祉施設整備事業	9,735	86,625					やや高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
166		放課後児童クラブ再編事業	11,000	133,561					高い	A
		子ども課								
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								
		事業の取組内容								

4-1. 成果指標の達成状況(※成果を判断する客観的根拠)

No.	成果指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明		実績	実績	実績	実績	実績		
1	行政の組織機構や行政改革についての満足度	36.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	75	75	%
	総合計画市民アンケートより(次回はR6に実施)		実績値	—	—	—	—		
			達成率	%	%	%	%		
2	行政手続きのオンライン化	16 (R2時点)	目標値	21	28	35	42	49	種類
	(国が定めた優先的にオンライン化を推進すべき手続き)		実績値	16					
			達成率	76%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成果	<p>公共施設の再編では、旧小出庁舎、旧堀之内庁舎及び旧広神庁舎の今後の整備方針を決定し、中心地の賑わいづくりや複合施設として利活用について決定することができました。また、児童福祉施設長寿命化計画を策定し、今後の維持管理経費削減に役立てることができました。</p> <p>また、申請書等の押印見直しについては、全様式の約8割において実施し、メール送信のみでの申請も可能となったため、市民の利便性が向上しました。</p>
課題	<p>公共施設の再編においては、関係者等へ再編する目的や理由を丁寧に説明していくことが課題です。また、将来負担の縮減においては、人員適正化計画や財政計画の早期の見直しが課題です。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	今年度において、新たにオンライン化した手続きがなかったことと、公共施設再編による経費削減効果が大きくないことから判断しました。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	行政改革及びDXの推進に必要であるため、やや高いと判断しました。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
			現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	公共施設再編については、維持管理経費削減と複合化の観点で進めます。また、DXについては、推進方針を策定し進めていきます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の施策達成度 成果	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
イ	貢献度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡充	○
			現状維持	
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改善・見直し	
今後の方向性	一次評価のとおり。			

【様式2】

第二次総合計画 後期基本計画 令和3年度事業 施策評価シート

作成年度	R3	区分	事後(決算)
------	----	----	--------

S
D
G
S
関連

16
平和と公正を
すべての人に

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり		担当課長名	五十嵐 央
主要施策	4項 選択と集中による財政運営	関係 課		
施策名	2号 健全な財政運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域資源を活かした産業の振興や企業誘致・企業支援などにより、地域経済の活性化をすすめ、ふるさと納税や市税など自主財産の確保を図ります。
また、行政評価による事務事業の見直しを常に行うとともに、人口減少問題や地域経済の活性化などの課題に対して積極的に投資することにより、限られた財源を有効に活用します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名(上段)	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価		
		担当課(下段)	決算	予算	予算	予算	予算		貢献度	総合評価	
41		行政効率化推進事業	39	81						やや高い	B
		企画政策課									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4-1. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3(R2) 実績	R4(R3) 実績	R5(R4) 実績	R6(R5) 実績	R7(R6) 実績	最終 目標値	単位
1	実質公債費比率	7.1 (R1実績)	目標値	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	%
			実績値	7.9					
			達成率	%	%	%	%		
2	将来負担比率	34.0 (R1実績)	目標値	150未満	150未満	150未満	150未満	150未満	%
			実績値	24.6					
			達成率	%	%	%	%		

4-2. その他指標で表すことが困難な効果・成果

--

5. 施策目的達成のための構成事務事業の成果と課題

成 果	<p>財政面では、ふるさと寄付金について、ポータルサイト契約先を追加したこともあり、対前年度比で約3億4,000万円の増加がみられ、自主財源に乏しい本市にとって貴重な財源の確保につながりました。</p> <p>また、行政評価については、新年度予算要求時に事前評価を実施して事業・施策の目標達成状況を確認するとともに、事後評価において事業実施後の検証を行うことによって、（職員の）目的と成果を意識した事業の執行につなげ、行政運営の効率化と事業の実効性向上が図られました。</p>
課 題	<p>本市では、平成16年の町村合併以降、事務事業の再構築をはじめ、職員数の削減、公共施設の統廃合・民営化など行政改革を進めながら、歳出構造の見直しを進めてきたところでありますが、人口減少に歯止めがかからない状況にあって、社会保障費関係・民生費関連支出の増額や財源の大半を地方交付税に依存し自主財源比率が低い現状では、将来への不安と硬直化傾向にある財政状況が大幅に改善される状況に至っておりません。このため、将来にわたって持続可能な財政運営を目指して、人口流出の歯止めに向けた若年層の定住促進とともに地域経済活性化策を進めつつ、職員定数の適正化とともに過去から積み残してきた課題を早めに解決していく必要があります。</p>

6. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	普通建設事業の財源に交付税措置のある有利債を充当するとともに、経常的経費縮減などの取組が、実質公債費比率と将来負担比率といった財政指標に反映されています。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	選択と集中による事務事業のスクラップ&ビルドを進めるうえで、行政評価の取組は有効な手段となっています。また、各種計画の策定において、現状の分析とともに将来予測を立てながら、安定した財政運営と施策の進展に向けた検討を進めることとしています。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 現 状 維 持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改 善 ・ 見 直 し	
今後の 方向性	将来にわたって持続可能な財政運営を目指して、人口流出の歯止めに向けた若年層の定住促進とともに地域経済活性化策を進めることとします。また、公共施設の統合や民間利用の促進と併せて未利用・低利用施設の解体を進めるなど、次世代への負担の先送りを回避する取組を進めるとともに職員定数の適正化を進めながら、過去から積み残してきた課題の解決に取り組みます。			

7. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
ア	の 施 策 成 成 度 果	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
イ	貢 献 度	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって順調に進捗しているため、引き続き施策を推進する。		拡 充 現 状 維 持	○
	目標を達成するためには、事務事業を改善する必要がある。		改 善 ・ 見 直 し	
今後の 方向性	一次評価のとおり。			